

SAGA UNIVERSITY
GUIDEBOOK 2026

S A G A

U N I V .

人生に差がつく4年間

そのサガ、 サガ大。

人生の中で、大学生活はたった4年間。

けれど、この4年間でどう過ごすかが、あなたの未来を変える鍵。

今はまだ、やりたいことが見つかっていなくても大丈夫。

多くの選択肢の中で、あなたらしく輝ける場所が必ずあるから。

さあ、まずは飛び込んでみよう。

4年後のあなたは、きっと今より大きく成長しているはず。

人生に差がつく4年間は、ここ、佐賀大学に準備されています。

佐賀大学憲章

佐賀大学は、これまでに培った文、教、経、理、医、工、農等の諸分野にわたる教育研究を礎にし、豊かな自然溢れる風土や諸国との交流を通して育んできた独自の文化や伝統を背景に、地域と共に未来に向けて発展し続ける大学を目指して、ここに佐賀大学憲章を宣言します。

<魅力ある大学>

目的をもって生き活きと学び行動する
学生中心の大学づくりを進めます

<創造と継承>

自然と共生するための人類の「知」の
創造と継承に努めます

<教育先導大学>

高等教育の未来を展望し、
社会の発展に尽くします

<研究の推進>

学術研究の水準を向上させ、佐賀地域独自の
研究を世界に発信します

<社会貢献>

教育と研究の両面から、地域や
社会の諸問題の解決に取り組みます

<国際貢献>

アジアの知的拠点を目指し、
国際社会に貢献します

<検証と改善>

不断の検証と改善に努め、
佐賀の大学としての責務を果たします

CONTENTS

- 002 佐賀大学のこれから -ビジョン2030-
- 004 身につく、サガつく、
佐賀大学の教育への取り組み
- 006 TOPICS コスメティックサイエンス学環
- 010 TOPICS 教育学部 共同教員養成課程
- 012 特集 起点。the origin
～君の可能性がここからはじまる～
- 030 佐賀大学の研究
- 036 数字で見る佐賀大学
- 038 佐賀大学で資格・免許をとる
- 040 教育学部
- 048 芸術地域デザイン学部
- 056 経済学部
- 066 医学部
- 076 理工学部
- 090 農学部
- 098 大学院
- 100 キャリアサポート
- 102 就職データ
- 104 学生生活サポート
- 106 相談窓口・大学生生活協同組合
- 108 キャンパスライフ・キャンパスカレンダー
- 110 佐賀大生の生活・サークル活動
- 112 2026年度入学者選抜概要
- 118 入試情報
- 122 キャンパスマップ
- 124 ロケーション／アクセス
- 125 佐賀大学だけの入試POINT／
入学前教育アドミッションセンタープログラム

2030年に向けて佐賀大学が目指すこと

志、挑戦、そして未来へ。

ここから10年先。第4次産業革命やSociety5.0といった新しい時代がやってくる時、
 はたして社会はどうなっているのでしょうか？私たちは、そんな予測困難な時代が続く中で、社会や地域のために、みんなのために、
 佐賀大学がどういった役割を果たしていけるかを考えました。来るべき2030年を新たな希望の時代にするために、
 佐賀に住む皆さまと佐賀大学みんなで「志」を持って挑戦し、ともに未来へと発展し続ける大学を目指します。

さあ、未来に向かって

佐賀大学のこれから -ビジョン2030-

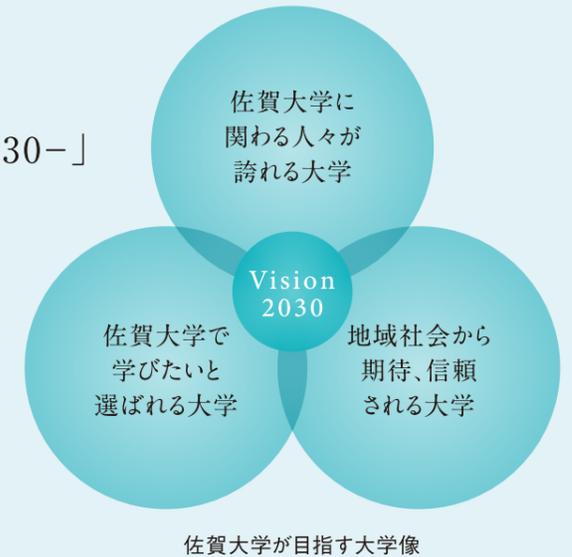


佐賀大学の将来構想

「佐賀大学のこれから -ビジョン2030-」

佐賀大学では2030年に向けた将来構想として、教育、研究、社会貢献、大学運営の4領域からなるビジョンを2020年4月に策定しました。

第4次産業革命やSociety5.0といった新しい社会、予測困難な時代の中で、今後10年間高等教育機関として本学が進むべき方向性を位置づけ、3つの大学像の実現を目指し活動していくこととしています。



2030年に向けた取組例

1. 次世代型研究



世界注目の海洋エネルギー開発など 未来と世界を見据えた研究を拡大

急激に変化する時代に対応するために、社会に応える分野横断的な研究に取り組んでいます。世界最高水準の出力を可能にし、カーボンニュートラルの実現にも寄与する「ダイヤモンド半導体デバイス」の開発をはじめ、海洋エネルギー研究所では次世代のクリーンエネルギーとして地位確立を目指すなど佐賀大学の立地や特性を活かし、多分野・多方面で研究を進めています。



海洋エネルギー研究所(伊万里サテライト)

2. 地域活性



今の、そして未来の佐賀のために 佐賀大学の持ち味をいかに発揮

県内唯一の国立総合大学として、地方自治体や産業界と連携しつつ地域課題の解決に取り組んでいます。県内で様々な取組を開始しており、鹿島市において「鹿島プログラム」を立ち上げ、「町並み再生保存」などの4つの研究テーマで、伝統的町並みの保存・活用などに地域と連携して取り組んでいます。



理工学部・三島伸雄教授と平瀬有人准教授の設計による鹿島市の肥前浜駅舎

3. 生涯学習社会



いつでもだれでも学べる環境を整え 「学びたい」「やりたい」を応援

学生向けの正規科目の一部を、学生と共に一般の方が学ぶ「授業開放」や、佐賀大学の「知」を地域に還元する「公開講座」、潜在助産師の学び直しや働きを支援する「佐賀県助産師リカレント教育プログラム」など、誰もがいくつになっても、主体的に興味を持って学び続けられる場を提供しています。また、オンラインと対面のハイブリッド授業を充実させるなど、より良い学びのカタチを追求しています。



ハイブリッドで開催した公開講座「都市の防災・減災」

4. 先端医療



地域医療を先端技術と地道な研究で支え 健やかなる人生100年時代を目指す

県内唯一の医師養成機関である佐賀大学の役割は重要であり、地域医療の発展に大きな期待が寄せられています。人工股関節置換術や眼科手術用染色剤の開発が国内外で注目を集める一方、佐賀市民を対象としたコホート研究など地域に寄り添った取組も実施しています。さらにIoTも積極的に導入しており、眼底画像のAI診断プログラムや術前中止薬管理Webアプリの開発など、未来型医療を推進しています。



わずか15分ほどで県内全域に到着可能なドクターヘリ

身につく、サガつく、佐賀大学の教育への取り組み

佐賀大学は6学部を有する国立総合大学で、佐賀が育んできた独自の文化や伝統を背景に、基本的な学びや独自の研究活動に取り組んでいます。本学での多彩な学び・活動により、教養と専門知識を兼ね備えた「佐賀大学学士力」を培い、社会の持続的発展を支えることができる人材を養成します。



大学機関別認証評価の全基準を満たしています

佐賀大学は、2021年度に大学改革支援・学位授与機構による大学機関別認証評価を受審し、学生支援、学生の受入、教育課程と学習成果など6つの領域で定められた27の基準すべてを満たし、大学評価基準に適合していると認定されました。

国立大学法人 佐賀大学

教育学部

- 共同教員養成課程(仮称 設置申請中)
- ▶ 教育支援探究コース
 - ▶ 小中連携教育コース
- ・附属幼稚園
 - ・附属小学校
 - ・附属中学校
 - ・附属特別支援学校
 - ・附属教育実践総合センター

P40▶▶

芸術地域デザイン学部

- 芸術地域デザイン学科
- ▶ 芸術表現コース
 - ▶ 地域デザインコース

P48▶▶

経済学部

- ▶ 経済学科
 - ▶ 経営学科
 - ▶ 経済法学科
- ・社会課題研究センター

P56▶▶

医学部

- ▶ 医学科
 - ▶ 看護学科
- ・附属病院
 - ・附属看護学教育研究支援センター
 - ・附属地域医療科学教育研究センター
 - ・附属先端医学研究推進支援センター
 - ・附属再生医学研究センター

P66▶▶

理工学部

- 理工学科
- ▶ 数理サイエンスコース
 - ▶ データサイエンスコース
 - ▶ 知能情報システムコース
 - ▶ 化学コース
 - ▶ 物理学コース
 - ▶ 機械工学コース
 - ▶ 電気電子工学コース
 - ▶ 都市基盤工学コース
 - ▶ 建築環境デザインコース

P76▶▶

農学部

- 生物資源科学科
- ▶ 生物科学コース
 - ▶ 食資源環境科学コース
 - ▶ 生命機能科学コース
 - ▶ 国際・地域マネジメントコース

P90▶▶

NEW コスメティックサイエンス学環(仮称 設置申請中)

P6▶▶

教養教育センター

大学院

- ▶ 学校教育学研究科
- ▶ 地域デザイン研究科
- ▶ 先進健康科学研究科
- ▶ 医学系研究科
- ▶ 理工学研究科
- ▶ 農学研究科
- ▶ 鹿児島大学大学院連合農学研究科

P98▶▶

佐賀大学の求める入学者 アドミッション・ポリシー

佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術の修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。

佐賀大学の教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根差した活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。

佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探求・解明し、社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めています。



学部のアドミッションポリシーはこちら

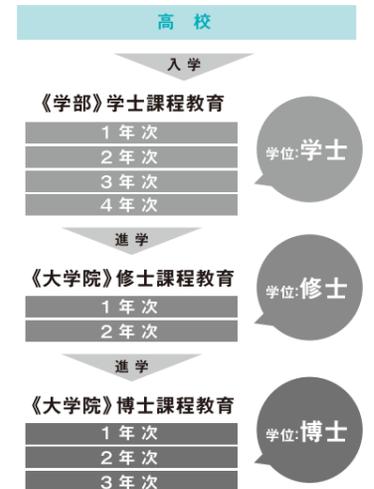
佐賀大学の学士課程教育「佐賀大学学士力」

佐賀大学の学士課程で身に付けさせるべき能力は、「佐賀大学学士力」として定められています。卒業時に、「佐賀大学学士力」が身に付くように、学士課程教育のカリキュラムが組まれています。

■佐賀大学 学士課程教育のイメージ



■大学・大学院における教育(一般的なイメージ図)



佐賀大学学士力のコンセプト

佐賀大学の学士課程では、基礎的および専門的な知識と技能に基づいて課題を発見し解決する能力を培い、個人として生涯にわたって成長し、社会の持続的発展を支える人材を養成することを目的としています。

基礎的な知識と技能

市民社会の一員として共通に求められる基礎的な知識と技能

様々な学問分野(自然、文化、社会)における基本概念や思考方法を理解し、現代社会の諸問題を自らの力で合理的かつ論理的に推論し判断することができる。

市民社会の一員として思考し活動するための技能

①日本語による文書と会話で他者の意思を的確に理解し、自らの意思を表現し、他者の理解を得ることができる。

②英語を用いて知識を修得し、グローバル社会に向けて自らの考えを発信することができる。

③情報を収集し、その適正を判断し、適切に活用・管理することができる。

専門分野に必要とされる基礎的な知識・技能

専門分野について、基本概念や原理を理解して説明ことができ、一般的に用いられている重要な技法に習熟している。

課題発見・解決能力

現代的課題を見出し、解決の方法を探る能力

現代社会における諸問題を多面的に考察し、その解決に役立つ情報を収集し分析することができる。

プロフェッショナルとして課題を発見し解決する能力

専門分野の課題を発見し、その解決に向けて専門分野の知識と技法を応用することができる。

課題発見につながる協調性と指導力

課題解決のために、他者と協調・協働して行動ができ、また、他者に方向性を示すことができる。

個人と社会の持続的発展を支える力

多様な文化と価値観を理解し共生に向かう力

歴史や文化・伝統などの違いを踏まえて、平和な社会の実現のために、自己と同時に他者の立場に立って物事を考えることができ、また自然環境や社会的弱者に配慮することができる。

地域や社会への参画力と主体的に学び行動する力

地域や社会の様々な問題に関心を持ち、地域や社会における自らの役割を主体的に選択・決定し、課題に向けて、主体的に学び行動することができる。

高い倫理観と社会的責任感

高い倫理観によって社会生活で守るべき規範を遵守ことができ、社会の健全な維持・発展に主体的に寄与する姿勢を身に付けている。

コスメティックサイエンス学環 (仮称・設置申請中)



佐賀大学だからできる環境で 化粧品をサイエンスの視点から学ぶ。

コスメティックサイエンスとは、化粧品やその原料に含まれる化学物質が、体にどのように関わるのかを研究する分野です。理学系、農学系などの分野を超えた学際的な視点で、化学物質の有効性や安全性を幅広く学びます。

そのコスメティックサイエンスを学べる学環が、2026年4月に日本の国公立大学において初めて佐賀大学に誕生します。大学と自治体や企業が協力して、学びの環境を整え、成長を続ける化粧品市場を支える人材を養成します。

コスメティックサイエンス学環

本学環は、学部相当の教育研究組織であり、教育課程は複数の学部の教育資源を結集して、学部と同じく学士の学位を授与する教育課程です。履修方法、学位、学生の身分などについては、学部と同じです。

コスメティック構想とは？

佐賀県では、コスメティック構想の一環として、次のような取り組みを積極的に行っています。

▶ スタートアップ創業・成長支援

「誰でも気軽にコスメビジネス」をテーマに異業種との交流を促し、創造的なスタートアップを支援することで、地元企業との協業や県内への立地を促進しています。

▶ 研究開発・人材育成

大手企業で最先端の技術開発に携わってきた“コスメ研究の第一人者”をプロジェクトマネージャーに迎え、大学と連携し、国内トップメーカーや県内企業との共同研究を展開しています。

学環長メッセージ



コスメティックサイエンスという 新たな分野へのチャレンジを佐賀から。

学環長予定者 鯉川 雅之 教授

コスメティックサイエンスは、国外では化粧品やその原料に含まれる化学物質に関する研究領域として認知されています。しかし日本では、化粧品輸出額が世界第3位の立場にありながら、学問として専門的に学べる教育組織が非常に少ないのが現状です。これを受け、コスメティックサイエンス分野を横断的に学べる場として本学環が設置されます。本学が総合大学としてコスメティックサイエンスに必要な教育リソースを有していること、佐賀県が「コスメティック構想」を推進していることが大きなポイントとなりました。

学環というのは、各学部から専門教員や研究設備などを集めて作られる新しい教育の仕組みのことです。本学環では理工学部(理学系科目)、農学部(農学系科目)を中心に、医学部(皮膚科学等)、経済学部(マーケティング等)、芸術地域デザイン学部(パッケージデザイン等)などと連携して総合的に学んでいきます。

[養成する人物像]

化粧品産業を担う人材

コスメティックサイエンス分野における包括的な専門性を身につけ、開発・製造に貢献できる技術者を養成します。



化学物質の安全管理・適正利用を担う人材

科学的根拠に基づき、化学物質の品質・安全性を正確に評価できるスペシャリストを養成します。



学際的な素養を持ち、グローバルに活躍できる人材

理学系、農学系などの分野を超えた学際的な視点で、コスメティックサイエンス分野を中心とした地域産業に貢献し、地域から世界へ羽ばたく人材を養成します。



■ 教員紹介(予定)

長田 聡史 教授
生物有機化学

北垣 浩志 教授
グローバルヘルス教育学

鯉川 雅之 教授
無機・錯体化学

徳留 嘉寛 教授
化粧品科学・薬剤学

川口 真一 教授
有機化学

梅木 辰也 准教授
分析化学

※本学環には、上記の教員のほか、理工学部、農学部をはじめ医学部、経済学部、芸術地域デザイン学部、教育学部から28人の兼任の教員が授業を行います。

学びの特長

学内の6学部を横断しながら、多角的な知識や着眼点を育む

化学・生物学を中心に、化学物質の安全性や有効性、化粧品の歴史・文化、マーケティングやデザインなど、化粧品をテーマとして分野を横断しながら幅広いカリキュラムを学べるのは、6学部を有する総合大学ならではの強み。学問領域を超えた学びが新たなシナジーを生み、学生の独自の着眼点や豊かな発想力を育てていきます。

理系分野を統合的に学び、コスメ業界をリードする人材に

本学環では化学、生物学、皮膚科学、薬学をはじめとする理系分野を統合的に学びます。化粧品開発には科学的な成分への理解や生物学的な反応への予測能力、また皮膚科学に基づく安全性評価などが不可欠なためです。卒業後は、化粧品産業や食品産業、化学関連産業などで、技術者、品質管理者など幅広い職種での活躍が期待されています。

コスメティック産業が盛んな佐賀だからかなう産学官連携の学び

化粧品の原料となる植物や海産物をはじめ豊かな自然、アジア圏との輸出入に適した地理的優位性を持つ佐賀地域。佐賀大学でも佐賀県や唐津市と連携協定を締結し、化粧品関連企業と活発な共同研究を行っています。さらに、このような産学官連携の学びを加速させ、化粧品関連企業等と連携したインターンシップなど実践的な学びを展開します。

カリキュラムマップ

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
教養教育科目	大学入門科目I 英語 基本教養科目 情報基礎概論		インターフェース科目					
基礎科目	物理学概説 化学概説 生物学概説 微分積分学 線形代数学	情報・統計学			学術英語	化学物質演習 化学情報処理		
理学系		無機化学 物理化学 分析化学I	分析化学II	量子化学 溶液化学	生物無機化学 化学熱力学	有機機器分析化学		
コア科目	コスメティックサイエンス実験	有機化学I コスメティックサイエンスPBL 生化学I	有機化学II コスメ開発論I コスメティックサイエンス実験I 生化学II	コスメティックサイエンス実験II 天然物化学 皮膚科学	機器分析学 コロイド・界面化学 コスメ開発論II コスメティックサイエンス実験III 微生物学	コスメ製造学 コスメティックサイエンス実験IV 生理学	卒業研究	
農学系			植物資源学 植物生理学	分子生物学 栄養化学 食品衛生学	酵素化学 遺伝学	植物育種学		
学環周辺科目		コスメ文化論	食物学	分子薬理学 科学技術者倫理	体内動態論 知的財産法	毒性学 マーケティングマネジメント デザインプロジェクト演習		

※2025年6月現在。変更の可能性があります。

ピックアップカリキュラム



▶ コスメティックサイエンス概論

人々の生活における化粧品の役割、生活者のQOLと化粧品の関係などを社会背景とともに考察。また化粧品の健康被害についても理解を深め、適正な使用法や基本的知識を身につけます。

▶ コスメ開発論I

実際の化粧品市場を学びながら、化粧品関連企業における化粧品の開発・製造・販売の実態を理解します。消費者と企業の架け橋となるような人材への成長が目標です。

▶ コロイド・界面化学

コロイドと界面の定義や、界面活性剤の種類や性質を学びます。また、化粧品の製造において多く用いられているエマルジョンやサスペンションなどとの関わりについても理解を深めます。

▶ 天然物化学

化粧品の原料には、化学合成された成分だけでなく天然物由来の有効成分も多く含まれています。これらの天然物を資源として理解し、成分の抽出法などを学びます。

▶ 皮膚科学

健康な肌とそうでない肌の違いを学びます。皮膚の構造や機能、老化や環境要因による変化、皮膚疾患の基礎も学び、適用部位としての皮膚への理解を深めます。



▶ コスメティックサイエンスPBL

化粧品はどのような成分で構成されているのか調査研究し、指定された化粧品を、与えられた素材のみを用いて作成することを課題研究テーマとした、少人数のグループワークを実施する。

▶ 機器分析学

化粧品およびその原料の開発・品質管理において分析機器の使用は不可欠です。本講義では、分光分析やクロマトグラフィーなどの各種分析機器の原理と装置構成について学びます。

▶ 卒業研究

個別に卒業研究テーマを設定し、自主的に研究を進めます。研究状況を定期的に指導教員や学生と協議し、実験計画を点検・修正しながら1年間継続した研究を行います。

予想される進路

化粧品メーカーや原料メーカー、スタートアップ企業、自治体の産業振興部門、さらには食品・飲料メーカーなどで、研究開発、品質管理、マーケティング、商品企画、地域産業の振興など多岐にわたる業務でその専門知識とスキルを活かして活躍することを想定しています。

- 化粧品産業(化粧品メーカー)
業務内容: 研究開発、製品開発、品質管理、マーケティング
- 化粧品産業(化粧品関連のスタートアップ企業)
業務内容: 新製品の企画・開発、マーケティング、ビジネス開発
- 食品・飲料産業(食品・飲料メーカー)
業務内容: 食品添加物の開発、品質管理、製品の安全性評価
- 化学関連産業(原料メーカー、化粧品専門商社など)
業務内容: 原料の開発、品質評価、安全性試験
- 公務員(自治体の産業振興部門)
業務内容: 地域産業の振興、地元企業との連携、地域ブランドの開発
- 大学院進学

入学定員(30名)

選抜区分	前期日程	後期日程	総合型選抜II	計
募集人員	18名	5名	7名	30名

※詳細は、P112~113、P116~117に掲載

教育学部 共同教員養成課程 (仮称 設置申請中)



国立大学2校が連携し さらに充実した教育環境を実現。

実践的指導力に優れた佐賀大学教育学部と、産学官連携を探究する熊本大学教育学部。両教育学部の教育研究資源を集結した新たな共同教員養成課程が、2026年4月に始まります。多様なバックグラウンドを持つ両大学の教授陣の講義を受けることで知見を広め、大学を超えた交流により協働力を身につけます。複雑で多様な現代の教育現場で伸びやかに能力を発揮できるよう、「強靱な思考力」と「柔軟な対応力」を兼ね備えた教員の育成を目指しています。



佐賀大学の強み

実習が多く、
実践力が高い

大学附属の幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校があります。また、佐賀県と連携した学校支援活動なども行い、学生は1年次より実際の教育現場に足を運び、即戦力となる実践力を身につけます。

免許取得数が
平均3.43種

小学校の教科担任制など、変化する教育現場に柔軟に対応するため、異なる学校種の複数免許取得を卒業要件にしています。免許取得数の平均は3.43種で、日本トップクラスの取得数となっています。

特別支援免許
取得率が約50%

普通学級においても支援を必要とする子どもが増加していることを踏まえ、特別支援学校教諭の免許取得を推奨。免許を取得する学生は毎年約50%にのぼり、高い取得率を誇ります。

熊本大学の強み

英語で授業ができる
教員の養成

産学官連携の探究

連携することで見識を深め、 熱意のある人材を育成

複雑化する教育現場に向き合うには、より多くの経験と幅広い知識が必要です。両大学の特色を活かすことで、更に質の高い教育を目指します。



共同教員養成課程のポイント

構成大学は、一の大学が開設する
授業科目を、その他の大学の教育
課程の一部とみなして、
同一内容の教育課程を編成

学生はそれぞれの構成大学に
おいて共同教育課程の開設した
授業科目の単位をそれぞれ
31単位以上取得(卒業要件)

共同学科等の課程を修了した
学生に構成大学による
連名の学位(共同学位)を授与

共同教員養成課程のメリット

両大学から多彩な指導を受け、 多様な価値観を学べる

佐賀大学の教員の授業は主に対面で、熊本大学の教員の授業は主にオンラインです。多彩な教員の講義を受けることで、多様な価値観を育み、幅広い知見を持つ教員を養成します。

専門知識×実践的指導で クオリティの高い授業を受けられる

佐賀大学の強みである異校種どうしの連携や特別支援教育の実践的な学びに、熊本大学の産学官連携によるICT教育などの実践的な学びを加え、質の高い学びができます。

様々な交流により教職への 意欲や協働力を醸成できる

両大学の学生がともに受ける授業では、協働のグループワークやプレゼンテーションを行います。大学を超えた交流を行うことで教職への意欲を高め、教育現場に欠かせない協働力を身につけます。

共同教員養成課程の学び方イメージ

共同教員養成課程の科目には、次の3つの学び方があります。佐賀大学と熊本大学の両方の授業を受けられることが大きな特長です。

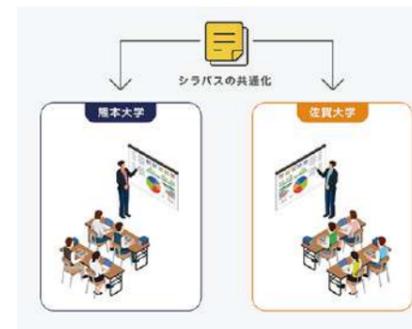
▶ 共同科目

一方の大学の教員が、両大学の学生に向けて授業を開講します。学生はオンラインでの遠隔授業や教員の移動による対面授業にて受講します。



▶ シラバス共通科目

両大学でシラバス(授業内容)を共通化させた科目です。基本的に同じ内容の授業を両大学で行います。



▶ 独自科目

一方の大学のみで開講する科目です。実技・実習・演習などがこれにあたります。



「持続可能な教員養成に向けた 佐賀大学・熊本大学の共同改革」

教育学部
小野 文慈 学部長

現代社会の急速な変化に伴い、高等教育機関の在り方が大きく問われています。これまで大学や専門職大学などは、知識の習得、専門性の向上、研究活動を通じた知の創出、さらには市民としての教養や倫理観の育成など、多様な役割を果たしてきました。しかし現在は、少子化の進行やグローバル化、デジタル技術の発展などによって、その役割の再定義が求められています。特に、地方大学を中心とした定員割れや経営の不安定化、知識偏重の教育からの脱却、大学での学びと実社会との接続不全といった課題が顕在化しています。佐賀大学教育学部は設置当初から複数免許の取得の必須化と特別支援免許の取得を奨励しており7~8割と高い教員就職率を維持してきました。しかしながら教員養成には高度な専門知識と教育実習などの実践的な指導力を育成する必要があり、そのためには専門教員の確保や少人数での指導体制が不可欠となります。そこで令和8年度より佐賀大学教育学部と熊本大学教育学部は両大学が共同して、お互いの強みや特色を活かし、これまでより高度な専門性をもった継続的な教員養成を目指します。



起点。

the origin

～君の可能性がここからはじまる～

探求し続ける学びも、新たな自分との出会いも

変わりゆく社会への挑戦も、全てはここから。

目まぐるしいスピードで変化する時代を恐れることなく

惑うことなく、まっすぐに進んでいくために。

何をしたいのか、何ができるのか。たとえ今はわからずとも

人生の大切な時期に、人としての基盤を築く4年間で学び得たものは

決してブレることのない自分自身を築いてくれる。

自らは思いもなかった可能性を開いてくれる。

佐賀大学、ここを起点に社会へ、明日へ。

起点。
知性を
磨く

P14へ

起点。
自信を
育む

P18へ

起点。
世界を
知る

P20へ

起点。
社会と
つながる

P24へ

起点。
時代に
挑む

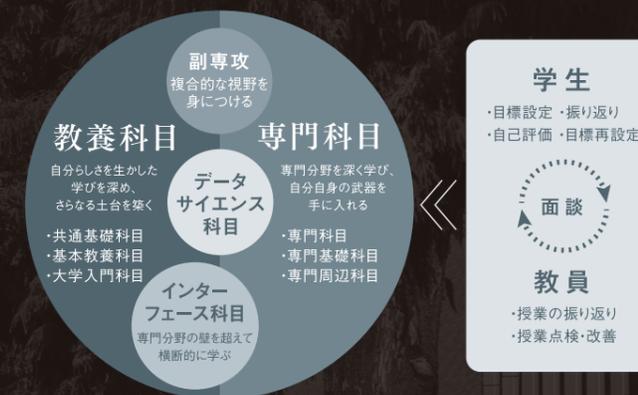
P26へ

起点。
可能性に
出会う

P28へ

基礎を大切にしながら多彩に学び
一人ひとりに合った教育プログラムを構築。

佐賀大学では総合大学の強みを生かし、専門科目の他にインター
フェース科目やデータサイエンス科目などを組み込み、学生が望む多
彩な学びの環境を整えています。ICT教育の活用など、学びをサポート
するシステムも充実させ、学生一人ひとりに合った教育を目指します。



佐賀大学学士力

1. 基礎的な知識と技能
2. 課題発見・解決能力
3. 個人と社会の持続的発展を支える力

学びのカタチを自由に選択し
自らの可能性を見いだす。

専門分野を基本にしながらも、自分が学びたい分野や興味のあるブ
ログラムを自由に組み立てることが可能です。専門分野以外の知識
を修得することで、また理系文系を超えて幅広く学ぶことで、物事を
多面的に捉える複眼を養います。

〈多様な学びを専門分野に生かす〉



〈文・理の枠を超えて学ぶ〉



インターフェース科目 必修



視野と柔軟性を広げ、知識・技能を社会に活かす。

インターフェース科目は専門科目や教養科目をさらに深めたり、社会とのつながりの中で興味がある分野の知識や技能を培うことで自分自身の強みを増やし、社会で生き抜く実践的な力を培うことを目的とした科目です。

思い描く将来に近づくために、より広い視野や考え方を身につけ、多様化する社会に柔軟に対応していくことを目指します。

POINT 01

専門分野の枠を超えて
横断的に学ぶ

POINT 02

アクティブラーニングで、
実践力を身につける

POINT 03

社会とのつながりで
視野を広げる

◎インターフェース科目

インターフェース科目は6つのコースと49のプログラムから構成されています。各プログラムは2科目・4単位で構成され、学部や専門分野を問わず、多数のプログラムの中から2プログラム(合計4科目・8単位)を選んで履修します。

環境コース



環境・資源・エネルギーなどに関する現代的課題を理解し課題に主体的に取り組む知識と応用力を養います。

- 機械工学と環境 A・B
- エレクトロニクスと環境 A・B
- 佐賀の環境 A・B

文化と共生コース



異なる文化や性別の人々と一緒に交流・協働し、芸術的創造を社会で用いる豊かな人材を育成します。

- 異文化交流 1・2
- 肥前陶磁器産業体験 A・B
- Intercultural Communication 1・2
- ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化 1・2
- 芸術と社会 A・B
- 歴史文化 1・2
- 英語コミュニケーション A・B

生活と科学コース



現代の社会生活における諸問題を多面的に考え、解決するために情報を収集し分析する知識を学びます。

- 未来を拓く材料の科学 A・B
- 情報技術者キャリアデザイン A・B
- 2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方 A・B **PICK UP**
- 食糧生産の科学 A・B
- ライフサイエンス・フードサイエンス A・B

人間と社会コース



社会状況から生じるさまざまな現象を多面的に学び、解決に向けた分析や立案する知識や技法を習得します。

- チームビルディングとリーダーシップ 1・2 **PICK UP**
- リサーチ・リテラシー 1・2
- スポーツイベントとボランティアリーダー 1・2 **PICK UP**
- 課題解決のためのプロジェクトデザイン
- 教育から学ぶインターフェース論
- 教育レクリエーション支援の探究

医療福祉と社会コース



環境や食の問題、少子高齢化社会を見据えて、支援と共生の社会を作り上げる人材を育成します。

- 現代社会と医療
- 食と健康
- ライフサイクルからみた医療
- 患者に寄り添う医療

地域・佐賀学コース



地域を社会・文化・経済などのさまざまな面から取り上げ、具体的な事例を使って地域を中心に思考する力を養います。

- 佐賀の歴史文化 A・B
- 地域経済と社会 A・B
- 佐賀SDGsグローバルアクション 1・2 **PICK UP**

PICK UP

佐賀SDGsグローバルアクション 1・2

実践を通して学ぶSDGs

人類の「共通言語」としてのSDGsの基礎及び17の目標のうち重点的な課題についてグローバルな視点から学び、169のターゲットの中から佐賀のローカルな課題解決に向けた具体的なアクションを促します。佐賀大学が企業・行政・市民と目標を共有・連携し、授業開放にも取り入れているプロジェクトです。

- 協働での企画立案・実践
- 地域創生型SDGs



チームビルディングとリーダーシップ 1・2



自らのリーダーシップを学ぶ

実践と省察を繰り返しながら自分自身の持つ「リーダーシップ」と「チームビルディング」について学び、授業や研究室での活動、サークルや地域ボランティア活動において、主体的・能動的に関われる人材の育成を目指します。

- 学生チームでの協働「企画づくりと企画書作成」
- 社会課題へのアプローチ など

スポーツイベントとボランティアリーダー 1・2



満足できるイベントづくりを考える

スポーツイベントの参加者と実施者がともに「やってよかった」と思えるイベントに必要な要素とは何か。佐賀県庁の職員や企業を招いてイベントづくりの考え方を教えてもらい、複数のイベントの実践と反省を繰り返しながら考えます。

- 企画づくりと企画書作成
- 企画の実施と反省 など

2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方 A・B



2年間で学ぶベンチャー企業

プログラミングの基礎技術を身に付けるとともに、アントレプレナーシップと企業経営、知財戦略の理解を深め、様々な分野を対象にITを活かした新しいサービスとビジネスモデルの創造にトライできる人材の育成を目指します。

- アントレプレナーシップとプログラミング入門
- 知財戦略とプログラミングの活用



農学部生物資源科学科
国際・地域マネジメントコース
原田 豊徳

専門外のSDGsを学ぶことで視野が広がり「農学で何ができるのか」を考えるように!

私がこの科目を選択した理由は、社会の課題について考えるだけでなく、「大学生の立場からアクションを起こすことができる!」と感じたからです。授業では、佐賀市内の企業や行政・団体と一緒にグループワークや活動を行いました。コロナ禍で授業が制限されている中での取組みということもあり、非常に楽しく有意義に取り組めました。他学部の学生や企業・団体の人とのつながりができたことで、自分が専門として学んでいる農学以外の視点を持つこともできました。このつながりは今後もいろんな影響を与えてくれると思うので、大切にしたいですね。SDGsを考えることで人としても成長できたと感じますし、農学分野で何ができるのかを考えるいいきっかけとなりました。私は将来家業である農業を継ぎますが、農作物の生産だけでなく、環境への配慮や持続可能な生産を可能にする新たな取組みも率先して行いたいと考えています。

原田さんの
学びのタイプ

農学部生物資源科学科
国際・地域マネジメントコース

佐賀SDGs
グローバルアクション

データサイエンス 必修



今こそ学ぼう！仕事・暮らしに役立つデータサイエンスの基礎。

日本だけでなく世界的にも注目を集め、必要不可欠となっているデータサイエンス。佐賀大学では、必要に応じたデータサイエンスを学ぶことができるようになりました。「数理・データサイエンス・AI」は、デジタル社会の「読み・書き・そろばん」といわれており、今後、皆さんが社会で活躍するための必須スキルです。

データサイエンスとは？

現代社会では、ICTの急速な進化によって多彩なデータが得られるようになり、膨大なデータが蓄積されています。それが一般にビッグデータと呼ばれるものです。そしてそのデータを読み解き、価値ある情報を導き出すのがデータサイエンスです。決して新しい研究分野ではなく、すでに多くの企業や社会で活用されており、様々な業種・分野で今後不可欠になっていくと考えられます。そこで佐賀大学では、データサイエンス教育プログラムを策定し、2021年度から全員が学べるようにしています。

データサイエンスの活用例

ネット通販のレコメンド

仕事の効率化とコスト削減

購買行動分析による新商品の開発

データを正しく読み解き説明する力がつく

どんなところでデータサイエンスが使われているかがわかる

データやAIを利活用する際の倫理やルールがわかる

データ社会の脅威を理解しリスク回避できる

データ保護の重要性と保護のための方法を理解する

データサイエンスを学ぶことで、できること

教育学部

教育 × **データサイエンス**

教育の現場でもデータサイエンスは重要になり、今後は小学生や中学生への教育も普及してくることが考えられます。自分で理解するだけでなく、人に教える理解が望まれます。
[リテラシーレベル]
●情報基礎概論
[応用基礎レベル]
●AI・数理・データサイエンスI・II

芸術地域デザイン学部

地域・文化 × **データサイエンス**

たとえば橋や道路の交通量のデータを蓄積して渋滞緩和や安全対策に活かしたり、従来は勘や経験に頼っていた地域のものづくりが数値化できるなど、暮らしの質の向上が期待できます。
[リテラシーレベル]
●情報基礎概論
[応用基礎レベル]
●AI・数理・データサイエンスI・II

経済学部

企業経営 × **データサイエンス**

データサイエンスは経済と密接に結びついています。現在もすでに日常の買い物、ネットショッピング、交通手段などから多くのデータが蓄積され、それを活かした商品開発やサービスが展開されています。
[リテラシーレベル]
●大学入門科目 ●情報基礎概論 ●基本統計学
●基本ミクロ経済学 ●基本経営学 ●基本法学
[応用基礎レベル] ●AI・数理・データサイエンスI・II 他

医学部

医療・介護 × **データサイエンス**

新しい治療方法や医薬品の開発にはデータサイエンスが不可欠です。健康・介護・医療のビッグデータを利用し、個々人の健康管理や疾患予防への取り組みも期待されます。
[リテラシーレベル]
●情報基礎概論
[応用基礎レベル]
●AI・数理・データサイエンスI・II

理工学部

製造・開発 × **データサイエンス**

製品・技術開発の分野ではビッグデータの分析・活用が進んでいるほか、製造業でも効率化や安全のためのAI活用が進んでいます。人的・時間的な効率化も可能となります。
[リテラシーレベル]
●理工リテラシー-S1・S2 ●データサイエンスI・II
[応用基礎レベル]
●微分積分学 ●線形代数学 ●データサイエンス 他

農学部

農業 × **データサイエンス**

AIやIoT、ビッグデータ、ロボットを活用したスマート農業の実現にはデータサイエンスが基本となり、農業が抱える人手不足の解消や生産・流通の効率化を図ることが可能になります。
[リテラシーレベル]
●情報基礎概論
[応用基礎レベル]
●AI・数理・データサイエンスI・II 他

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに認定されました。

佐賀大学は、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」に認定されました。

全学開講のプログラム
(認定期間は令和9年3月31日まで)

理工学部
(認定期間は令和10年3月31日まで)

副専攻



社会に柔軟に対応するため、必要とされる教養を身につける。

副専攻では自分の学部の主専攻にとらわれず、自分が興味のある分野や社会に必要とされる分野が受講可能です。専門分野の学びを深めることはもちろん、複数の分野の知識・技術を持ち合わせることで多様化する社会に対応し得る人材を育成します。16単位を修得すると、卒業時に副専攻の修了証書が授与され、就職活動の際は履歴書にも記載できます。

POINT 01

語学や文化を学び、複合的な視野を身につける

POINT 02

計16単位を修得

POINT 03

卒業時に副専攻修了証書を授与

副専攻の科目

[欧米の言語文化専攻] 英語コース

一定の英語力と留学への意欲がある学生を対象とした英語で行われるインタラクティブな授業と必修の短期留学(派遣・オンライン)のカリキュラムで、国際プロジェクトでリーダーシップが取れる英語力を目指します。定員は50名程度で、履修希望者を対象に選抜テストを実施します。

【科目の例】

- Academic English
- Life in the Global World
- Business English
- 海外交流実習
- Introduction to Sociology

[欧米の言語文化専攻] 独語コース

英語以外の外国語としてドイツ語を習得する機会を提供します。基本教養科目「ドイツの言語と文化」で初級文法を学んだ後に、インターフェース科目「ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化」を学び、ドイツ語の文法力・読解力を段階的に身につけていきます。3年間の継続的な学びを通して、プログラム修了時に中級レベルに達することを目指します。

【科目の例】

- ドイツの言語と文化I・II
- ドイツ文学A・B
- アカデミック独語
- 海外交流実習
- ドイツ文化論A・B・C・D

歴史文化専攻

国内だけで完結していた伝統的な日本史の観点から脱却し、諸外国との交流や交渉の観点から日本の近世史と近代史を捉えなおします。同時に地元佐賀の歴史遺産についても学びます。日本と地域の歴史文化を世界的な視点でとらえ、世界の目、日本の目、地域の目と、3つの視座で見つめ直し、見識を深めていきます。

【科目の例】

- 肥前セラミック学
- 文化の分野特別講義(九州・沖縄学I)
- 芸術論(副題:美術)
- アジアコミュニティ論
- 日本史

データサイエンス専攻

数理・データサイエンス・AI教育プログラムを基に、専門教育科目及び教養教育科目を組み合わせた分野横断的な教育を提供することで、数理・データサイエンス・AIの理解と応用能力を兼ね備え、社会課題の解決や価値創造によって持続可能な社会構築に寄与する人材の育成を目指します。

【科目の例】

- 線形代数学Ib
- コミュニケーション論
- 情報科学の世界I
- データサイエンス教育プログラムの授業科目
- マーケティングリサーチ



起点。
自信を
育む

THEORY AND PRACTICE

理論と実践



LEARNING SUPPORT

ラーニングサポート(「学び」の見える化)



理論と実践の往還により“学び”の深化を目指す。

複雑な現代社会の諸課題を理解するためには、関連する分野の基本概念や理論を学ぶことが必要です。

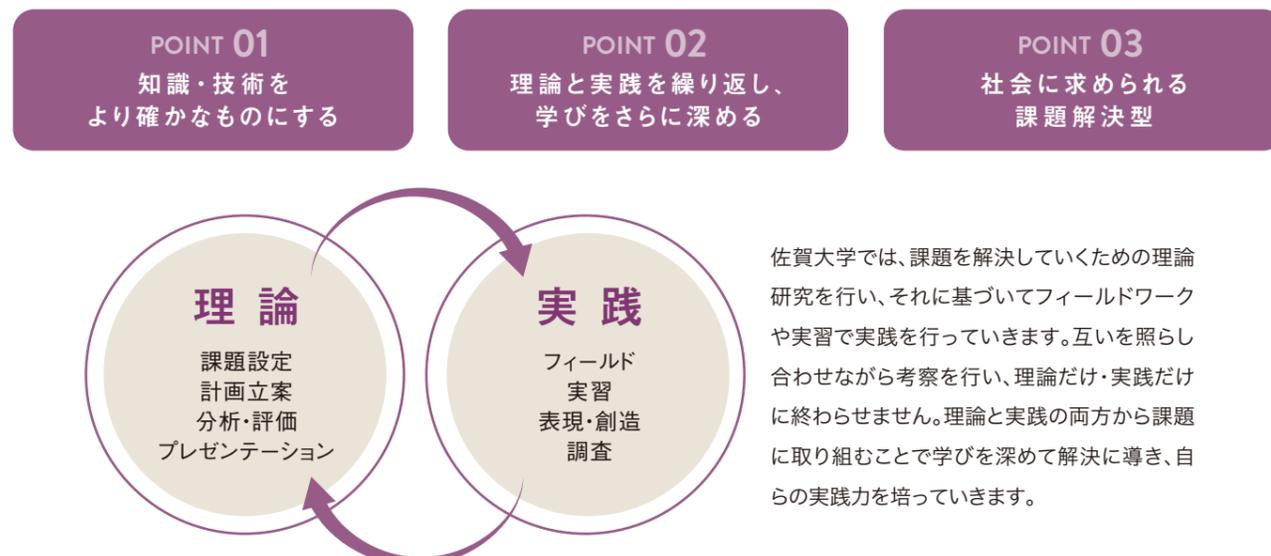
それだけでなく、学んだことを実践の場で活かし、その経験からまた理論を見つめなおすことは、より深い学びに繋がります。

佐賀大学の教育は、理論から実践へ、実践から理論へ。それを繰り返すことで学生の学びを深め、専門性ととも自信を育みます。

学びの足跡を残し、一人ひとりの成長を支援する。

学びに必要なPDCA (PLAN、DO、CHECK、ACTION) サイクルをスムーズに行うため、学習成果の可視化を積極的に行っています。

可視化することで自分自身の学習状況や学習評価を正確に把握し、さらなる成長へとつなげていくことが可能です。



「理論と実践」の研究や取り組み例

[農学部] システム生態学分野

生き物の多様性や生き物同士の相互作用、生活における影響などを研究しています。

生き物の生態や行動を分析。
生き物が置かれた環境の中での行動や生態を探り、生き物同士の相互作用を考察する。

自然の中、生活の中でフィールドワーク。
変化していく自然環境・生活環境の中で、生き物がどう行動していくか、どんな影響を与えるかを観察する。

繰り返して取り組み問題解決へ。
フィールドワークを振り返り、何度も繰り返すことで、生き物の生態の解明、希少生物の保護、生き物による社会課題(環境問題等)などの解決につなげていく。

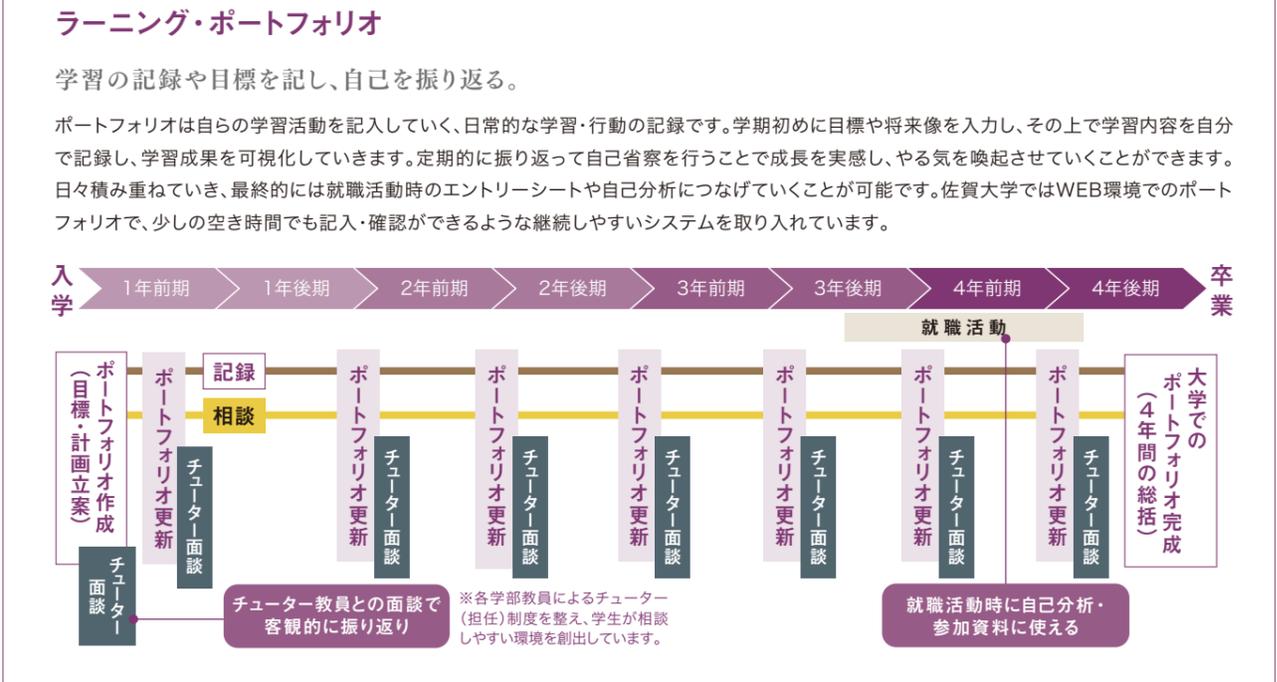
[経済学部] 社会課題演習

1年生の後期から、実際の社会課題を取り上げて取り組み、ロジカルな考え方や4年間の学びの基礎を築きます。

社会問題を聞き取る。
経済学部の3つの学科をシャッフルしてグループを組んで多様な視点を持たせ、大学の教員と実務者の双方から同じテーマの社会課題について話を聞く。

自分で考え、説明する。
自身のクラスに戻って振り返り、それぞれが聞いた内容を互いに説明し合う。自分で考え、自分でまとめてロジカルに説明する習慣をつける。

「聞く・説明する」を繰り返す。
理論学習を積み重ねるとともにコミュニケーション能力を鍛え、2、3年生への学びやキャリアデザインにつなげていく。



LAPシステム(Learning Analytics Platform)

学習成果をグラフ化し、成長を実感する。

在学中に修得する様々な成果をグラフ化し、自分の学習成果を客観的に可視化していきます。履修した科目の出席率や単位取得状況や成績評価だけでなく、TOEIC®やPROGなどの外部委託試験の結果なども含み、総合的に自分の成長を確認できます。自己評価を確認して今後の学習計画に役立てたり、就職活動に向けた振り返りなどにも大いに役立ちます。

【LAPシステムで確認できること】

- 単位取得状況とGPAの推移
- 成績評価の分布状況
- 出席率
- 外部委託試験 (PROG、TOEIC等) スコア
- キャリアパス特性
- 学士力項目別達成度・自己評価値
- その他

卒業認定制度

学んだことを言語化し、卒業認定を申請する。

学生自ら学習成果を可視化させたラーニング・ポートフォリオから、卒業認定を申請します。卒業を控えた学生が、卒業するにふさわしい学習成果を得ていることや、獲得した能力、成長実感について自分の言葉で記述して申請します。



INTERNATIONAL PROGRAM

インターナショナルプログラム



言葉や文化を超えて新しい世界を知ることが、自分の可能性を大きくする。

POINT 01 英語力

学生に明確な学習目標を与え、自ら英語力をアップさせるためのさまざまなシステムを用意。これらのシステムにより、全学部の英語力は、飛躍的にアップし、就職にも役立っています。

POINT 02 国際交流イベント

国境を越えて交流活動を行うチームや留学生と交流をしながら言語や文化を学ぶイベントなど新しい自分を発見し、よりグローバルな視点が広がる環境を用意しています。

POINT 03 海外留学支援

お金のこと、治安のこと、学力のこと。興味はあるけれど、不安も多い海外留学。佐賀大学では、留学を希望する学生に対して、さまざまな角度からサポートを行い、安心して海外留学できるように支援しています。

POINT 01 英語力

TOEIC®2回受験

これからの社会に必要な、英語力アップはここから。

佐賀大学では2013年度より、全学生を対象に「全学統一英語能力テスト」と称してTOEIC® IPテストを実施しています。1年次前期の1回目のテストは義務化されていますが、2年次後期の2回目は任意となっています。英語を継続的に学び続ける環境を整え、支援しています。



副専攻プログラム「欧米の言語文化専攻 英語コース」

Academic Express 3

オンライン英会話ラウンジ

徹底指導で英語力を引き上げグローバルな人材を育成します。

学部の専攻分野を問わず、国際的な知識と視野を持ち、英語での情報の正確な受信と積極的な発言ができるコミュニケーション能力を持ったグローバル人材の育成を目標としています。英語で行われるインタラクティブな授業と必修の短期留学(派遣・オンライン)で、国際プロジェクトでリーダーシップが取れる英語力(CEFR B2)を目指します。

eラーニングを活用し英語力の質を向上させます。

世界最大級の教材データベース「スーパー英語」から、学習時間1,000時間を超える膨大な教材を提供するeラーニングサービスを拡充し、英語教育をきめ細かくサポートします。特に留学に必要な英語力を身につけるための教材が充実しており、継続して利用することでTOEFLやIELTSのスコアアップにつながります。

オンライン英会話レッスンで留学に向け英会話力を向上させます。

佐賀大学では留学を目指す佐賀大学生に無料で受講できる英会話レッスンプラットフォーム「オンライン英会話ラウンジ」を提供しています。1回25分の個人レッスンでは外国人インストラクターと自由に会話をしながら英語力、コミュニケーション力を向上させることができます。オンラインでのレッスンなので、インターネット環境があればいつでも、どこでも英会話を楽しめます。

POINT 02 国際交流イベント

立ち止まらずに世界を体験することで、可能性は大きく広がる。

佐賀大学の海外ネットワークは22カ国・地域75大学。海外の国や文化に触れることで、学識的にも人間的にも大きく成長することができます。佐賀大学では、学内でも国際交流ができるよう、様々な機会を提供しています。

グローバルサポーターズ

日本人学生と外国人留学生が共に学び、交流する機会を提供するため様々な国際交流イベント等を企画・運営する学生グループが「グローバルサポーターズ」です。グループには日本人学生と外国人学生が所属しており、学生の主体性を重視しながら佐賀大学のキャンパスの国際化を進めるとともに、メンバーそれぞれのスキルアップも目指しています。

ランゲージエクステンジ

世界のさまざまな国から佐賀大学に留学している外国人留学生と交流を深めながらお互いの言語を学びましょう。英語を始め、韓国語や中国語、スペイン語など様々な言語を簡単な会話で楽しみながら練習します。また日本語を習得したい留学生とは「やさしいほんご」を使って日本語の練習をし、お互いに語学能力を高めることができます。

異文化交流イベント

学内では様々な国際交流イベントを実施しています。海外の文化を体験できるイベントや日本の文化を留学生と一緒に体験するイベント、季節のイベントなどを実施しています。佐賀大学にいながら、世界のさまざまな国や地域の特色や文化を「見て」「感じて」「体験する」ことができるイベントが盛りだくさんです。

POINT 03 海外留学支援

佐賀大学の海外ネットワーク22カ国・地域75大学

- 1 中華人民共和国**
 - 華東師範大学
 - 北京工業大学
 - 中国農業大学
 - 遼寧師範大学
 - ハルビン工業大学
 - 華東理工大学
 - 浙江理工大学
 - 西南政法大学
 - 浙江科技学院
 - 遼寧大学
 - 首都師範大学
 - 温州大学
 - 貴州民族大学
- 2 タイ王国**
 - カセサート大学
 - コンケン大学
 - チェンマイ大学
 - タマサート大学
 - モンクットワラカバン工科大学
- 3 バングラデシュ人民共和国**
 - ジャハンギールナガール大学
 - チッタゴン工科大学
 - ダッカ工科大学
- 4 インドネシア共和国**
 - ハサヌディン大学
 - ガジャマダ大学
 - サム ラツランギ大学
 - リアウ イスラム大学
 - スリビジャヤ大学
 - IPB大学
 - マラン国立大学
 - ジュアンダ大学
 - プラウイジャヤ大学
 - セベラスマレット大学
 - スラバヤ工科大学
- 5 カンボジア王国**
 - プノンペン王立法経大学
 - 王立プノンペン大学
- 6 フランス共和国**
 - ブルゴーニュ大学
 - オルシアン大学
 - リール大学
- 7 オランダ王国**
 - デザインアカデミー
 - アイントホーフェン
- 8 ドイツ連邦共和国**
 - ブルク・ギービヒェンシュタイン芸術デザイン大学ハレ
- 9 フィンランド共和国**
 - ユバスキュラ大学
- 10 ポーランド共和国**
 - ルブリン工科大学
- 11 リトアニア共和国**
 - ヴィタウタスマグナス大学
- 12 スリランカ民主社会主義共和国**
 - ペラデニヤ大学
- 13 ラオス人民民主共和国**
 - ラオス国立大学
- 14 アメリカ合衆国**
 - パシフィック大学
 - スリッパリーロック大学
- 15 カナダ**
 - ウィルフレッド・ロリエ大学
- 16 大韓民国**
 - 全南大学校
 - 安東大学校
 - 国民大学校
 - 釜山大学校
 - 金慶大学校
 - 済州大学校
 - 韓国技術教育大学
 - 培材大学校
 - 牧園大学校
 - 大邱大学校
- 17 オーストラリア**
 - ラトロープ大学
 - シドニー工科大学
- 18 台湾**
 - 輔仁カトリック大学
 - 国立政治大学
 - 国立中興大学
 - 国立台北大学
 - 国立東華大学
 - 元培医事科技大学
 - 文藻外語大学
 - 国立勤益科技大学
- 19 ベトナム 社会主義共和国**
 - ハノイ国家農業大学
 - ハノイ国家大学
 - 外国語大学
 - アンザン大学
 - カントー 大学
 - ベトナム国家大学
 - ハノイ校経済大学
- 20 スペイン王国**
 - アルメリア大学
- 21 パハマ国**
 - パハマ大学
- 22 オーストリア**
 - ウィーン工科大学

▶ 交換留学

海外協定大学への長期の交換留学も可能。世界22カ国・地域75大学と協定を締結しており、大学の推薦を受けて、協定校へ派遣されます。正規留学よりハードルが低く、留学がより実現可能になります。また、さまざまな支援やサービスで、安心して留学に挑めます。



どうしても海外で学びたい！ その思いが自分を成長させ、未来を開く。

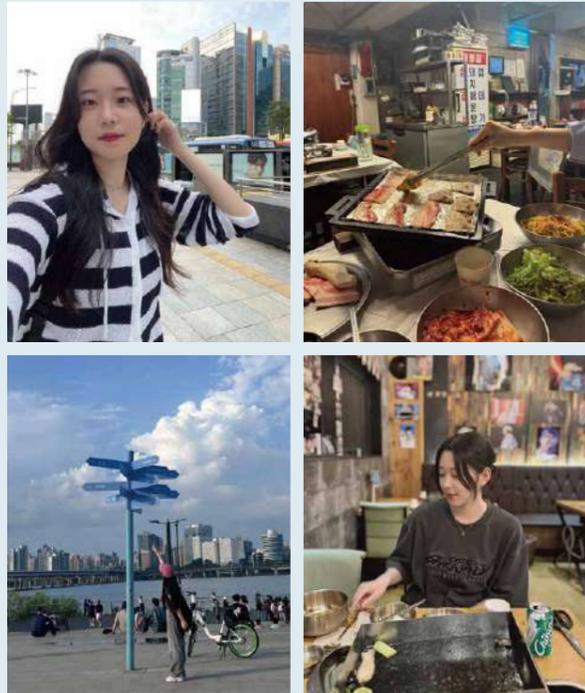
経済学部 経営学科
スペイン アルメリア大学
木田 ヒカル 長崎県 養真館高等学校出身

卒業をのばしても実現させたい！

大学入学時には「話せる英語を身につける」という目標があり、学内の留学生と積極的に関わりました。交流していくうちにもっと世界を知りたいと思うようになり、留学を志すようになりました。もともとヨーロッパ留学に興味がありましたが、自分の性格や環境、大学の授業内容を考慮して留学先を決めました。実は留学を決めた時期が遅かったため一度は留学を断念したのですが、どうしても諦めきれず1年卒業を延長させて留学を決めました。

海外文化を知り、日本の魅力も再発見

憧れの留学でしたが、当初は不安と緊張でいっぱいでした。日本人は自分一人であることや、日本と授業スタイルが違うこと、発言の機会が多くてそのたびに緊張することなど、大変なことはたくさんありました。しかしそれらを機に自分が大きく成長できたと実感できましたし、友人もできて毎日がすごく充実していました。あらためて日本の魅力に気づけたこと、大学で観光業に特化した授業を受けたことも大きな収穫でした。卒業後は地元に戻り、留学で学んだ知識や経験を活かし、地域創生やまちづくりに貢献したいと思います。



韓国の感性に惹かれて留学を決意。 この貴重な体験を仕事にもつなげたい。

芸術地域デザイン学部 芸術地域デザイン学科 地域デザインコース
韓国 国民大学校
久保 璃々香 佐賀県 致遠館高等学校出身

留学前に韓国語のレベルをアップ

私が韓国に興味を持つようになったのは高校三年生の時です。韓国語を勉強し、さらにはもともと興味があったデザインに韓国の感性を取り入れたいと思い、留学を目指すようになりました。大学入学後に留学を決めてから渡航までは、留学準備に追われるハードな日々でした。そんな中でも韓国語の勉強に力を入れ、佐賀大学に在籍している韓国人留学生と積極的に交流しながら韓国語レベルを上げたことが、大きな自信となりました。

現地の韓国語やデザインがいい刺激に

韓国に留学してからは、すぐに授業が始まりました。すべて韓国語で行われる授業についていくのは簡単ではありませんでしたが、生活に慣れてくると韓国語も耳に慣れてきて、楽に授業を理解できるようになりました。授業で知り合った外国人の友人や韓国人学生と、韓国語で会話をしながら交流できたことは自分にとって貴重な経験となりました。帰国後も、韓国語とデザインの研究を続けています。卒業後は、デザインの仕事をしながら韓国と関わりを持つ事ができる仕事に就きたいと考えています。

▶ SUSAP SAGA UNIVERSITY STUDY ABROAD PROGRAM

長期休暇を利用したSUSAP(短期海外プログラム)ですが、語学研修に加え、その国の文化や生活についても学べるプログラムを提供。海外の学生との協働プロジェクトなども取り入れ、国際交流を行い、グローバルな視野を育みます。



2025年度実施予定プログラム ※変更の可能性あり

長期休暇を利用した10日から1ヶ月程度の全学部の学生対象プログラムです。単なる語学研修ではなく、学生各々が持つ関心や伸ばしたいスキル、将来のビジョンに応じて選択できるよう多彩なプログラムがあります。奨学金などの経済的支援や、留学に関するサポートも充実しています。

ラトローブ大学プログラム (オーストラリア)5週間・約75万円

多彩な国籍の学生と週20時間の授業を受講します。学生バディやホームステイ家族とも交流できます。

パシフィック大学プログラム (アメリカ)3週間・約75万円

アカデミックイングリッシュの授業を履修。アメリカ社会の側面を体験的に学びます。

東華大学プログラム (台湾)4週間・約16万円

専門分野の授業を英語で受講。自分の関心や専門分野に従って学習することができます。

スラバヤ工科大学プログラム (インドネシア)3週間・約25万円

インドネシアで多文化共生を学びます。現地学生とも交流します。

浙江科技大学プログラム (中国)2週間・約25万円

浙江省杭州市に位置する浙江科技大学で現地学生やヨーロッパの大学生とともに中国語と多様な中国文化を学びます。実施言語は英語であるため、英語を実践的に使いコミュニケーション力の向上も期待できます。杭州や上海周辺の主要な観光地も見学できる充実したプログラムです。

アルメリア大学プログラム (スペイン)2週間・約40万円

付属ランゲージセンターでスペイン語を基礎から学ぶことができます。またアルメリア大学の特色であるSDGsやダイバーシティについての現地授業に参加し、現地学生との交流もあり、プチ交換留学を体験できます。



現地での学びと生活で 自然と英語力もアップ。

農学部 生物資源科学科
生命機能科学コース
インドネシア スラバヤ工科大学
台湾 国立東華大学
土井 和奏 佐賀県 佐賀西高等学校出身

私は、自分の英語力を試すために短期海外研修に参加しました。インドネシアでは、5つの宗教について学ぶという貴重な経験をしました。台湾では、英語のクラスを受講し、現地学生の高い英語力に刺激を受けました。また、毎日バディと行動することで自然と英語が話せるようになり、会話力も向上しました。帰国後は、外国人に積極的に話しかけ、新しい友達を作るまでに成長しました。異文化理解と語学力の向上を同時に叶えられるSUSAPプログラムは、本当に価値があると感じています。



人々との交流を通して 新たな価値観に!

教育学部 学校教育課程
幼小連携教育コース 特別支援教育
アメリカ パシフィック大学
野澤 元 長崎県 佐世保西高等学校出身

単に異国の地で滞在してみたい、それがアメリカならなお良い、程度の軽い気持ちでSUSAPに参加しました。しかし、実際に滞在して感じたり学んだりしたことはおそらく私の一生を通して残り続けるであろうと感じています。現地の学生や教員、人々との会話を通して、これからどのように生きていくのか、そして様々な人生の形があることを知りました。留学先の言語や文化を体験できることはもちろん大きな魅力の一つです。しかし、それ以上に、全く異なる価値観の中で生きる人々との交流を通して自分の世界観を広げ、世界に対して寛容に、より柔軟な価値観を形成することができたと感じました。

▶ 佐賀大学の卒業生は海外での学びを今どのように生かしているでしょう?



留学で学んだことを 地域のために活かしたい。

先進健康科学研究科
先進健康科学専攻修了
佐賀県庁勤務
澤山 芽衣

姉の影響もあり、入学前から留学を考えていました。大学1年生の夏、留学で有名な台湾・国立中興大学の短期プログラムに参加し、学部3年生で同じ大学に1学期間、その後フィンランドのユバスキュラ大学に1学期間交換留学し環境技術を学びました。帰国後は大学院で農学を学び、それまでの学びを地域に還元するために佐賀県庁に就職しました。



英語を通して学ぶ楽しさを 高校生にも伝えたい。

教育学部 学校教育課程
幼小連携教育コース 中等(英語)卒業
山口県立高校英語教諭
國弘 貴之

幼いころから英語や外国の文化に興味があり、1年生のときに留学することを決めました。留学先のアメリカ合衆国、スリッパリーロック大学では、教育学をはじめ多種多様な授業を受けることができ、ますます英語への興味関心が高まりました。現在はこの英語を通して学ぶことやコミュニケーションを高校生に伝えています。

ツナガル留学日記 先輩達の詳しい留学体験記はこちらから

学内企業設置



充実した環境や施設が大きな刺激と成長を与えてくれる。

佐賀大学構内には7社の企業や団体が設置されており、大学でありながら社会と交わる機会があります。最高のジブンを育てる、バラエティ豊かな環境を整えています。



キャンパスへの企業設置

キャンパス内に7社を誘致。社会実装教育をより身近に。

佐賀大学では「グローバルな視野を持つ地(知)の拠点」を目指し、これまでIT関係、ロボット工学、AI、電気化学に関わる様々な企業・団体をキャンパス内に誘致するという画期的な取り組みを行ってきました。キャンパス内に開設された企業ではそれぞれに佐賀大学と連携しながら社会実装教育が行われ、学生に社会のあり方を示唆するとともに、共同開発をさらに発展させることで地域貢献も目指してきました。中でも、株式会社中山ホールディ

ングスが開設している「佐賀大deラボ」は、ファブラボのように分かりやすい形で情報発信している取り組みでもあり、注目を集めています。学内の一部の企業ではアルバイトやインターンシップも受け入れており、社員たちとともに実社会の現場や仕事を体験することも可能です。今後は、佐賀大学発ベンチャーとしての起業支援も含め、より広い視野での実践的な学びを応援していきたいと考えています。

ITで地域社会に貢献する。



人的交流を活発にし、ITの可能性を追求。

佐賀大学とは古くからの付き合いがあり、業務システムの導入やタブレットを用いたCBT入試の共同開発のほか卒業生への入社も多く、強い信頼関係を築いてきた佐賀電算センター。2020年6月に佐賀大学と連携協定を結んだことを機に、本庄キャンパス内に共同研究開発拠点として「R&Dセンター」を開設し、AIやIoTを得意としているメンバーを配属しました。ここではDX(デジタルトランスフォーメーション)技術を活用し、AI(画像判読・自然言語解析)・MR(拡張現実)・スマホアプリの共同開発をはじめ、デジタル人材の育成なども推進しています。佐賀大学生をインターンシップやアルバイトとして受け入れ、実際に社会に貢献するサービスを一緒に開発し公開しています。常に新しいことを取り入れている佐賀大学に拠点を置くことでチャレンジ精神に刺激を受けるとともに、先生方や学生とよりよい関係を築き、相互の発展や地域産業へ貢献していきたいと考えています。



ネットを空気に変える。



株式会社 オプティム

ITの力で社会課題を解決する。

オプティムは「ネットを空気に変える」をミッションに、インターネットそのものを空気のように全く意識することなく使いこなせる存在へ変えていくことを目指しています。AI・IoT・Roboticsなどの最先端技術を活用することで、私達の身の回りの生活や産業にある課題を解決し、さまざまな業界・産業の新たな価値を創造していきます。誰かが世界を良くしてくれるのを待つのではなく、自らが「世界を変える」側でありたい。仕事を通じて世界に大きく良い影響を与えたい。そんな熱い思いを持って、佐賀大学内で社員と一緒に挑戦を楽しみ支え合うアルバイト生やインターン生がオプティムにはいます。佐賀大学と連携して授業で学生にプログラミングや最先端技術を学べる講義も行っています。ご興味がある方は明日の世界を最適化する「無限大」の可能性を秘めた事業・サービスを私たちと一緒に創り出していきたいです。



アイデアをカタチにし、地域貢献へ。



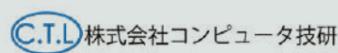
株式会社 中山ホールディングス「佐賀大deラボ」

充実した設備・環境で、ものづくりを身近に。

佐賀大deラボは、本学の「キャンパス内で社会実装教育」の実現に向けて、2019年に設置された中山ホールディングスがサポートしている産学連携拠点です。この施設には設計用の3DCAD、3DCGソフトをはじめ、3Dプリンター、レーザー加工機、CNCフライス盤や穴開け加工のボール盤など、ものづくりに必要な装置・道具などを幅広く完備しております。学生は気軽にものづくりを行うことができ、アイデアをカタチにする充実した設備を整えています。また中山ホールディングスの依頼にアルバイトとして携わることで、「実務経験を積みながら」社会勉強ができる場所となっています。学生たちと最新機器に触れ、アイデアを生かしたものづくりを行い、それを地域貢献に役立てていくことを目指しています。



佐賀大学に
設置されている
企業7社



起点。
可能性に
出会う

FACILITY INTRODUCTION

施設紹介



理工学部 4号館



ともに学び、成長するための
環境・施設が充実。

教授たちが手がけた 建築を実践的に学ぶ新校舎。

建築系の研究室と演習室などをまとめた理工学部4号館は、佐賀大学の建築系教員による設計監修で改修されました。天井をスケルトンにして補修部分や空調や電気設備の配管等を見せるなど、学生が建築を実践的に学べる環境です。



佐賀大学 美術館



教育、芸術振興、地域交流に貢献する美術館。

佐賀大学美術館はガラス張りの明るく開放的な造りで、大学正門に位置しています。美術・工芸作品を展示・収集・保管しながら、教育の実践の場として活用し、さらに地域の人々にも気軽に観覧していただけるように造られています。大学主催の企画展示のほか、市民や卒業生の企画展示も行っています。



EVENT

2020年のコロナ禍において、世界各地で実施されたリミットレス・アップムーブメントに賛同。医療従事者への感謝と激励を込めて、美術館の内側からLED電球を使用してライトアップしました。

産学交流 プラザ

産業や地域とのつながりを深め 新たな知の拠点をめざす。

2021年に、佐賀大学の新たな知の拠点として開設されたのが産学交流プラザです。北側は全面ガラス張り、建物中央部は吹きぬけの開放的な造りです。学内のユニークな研究や共同研究の成果を紹介したり、地域連携や産学連携を推進・サポートする窓口などが集約されています。



1F インフォメーションコーナー

佐賀大学の設立時からの歴史や、最新の研究を紹介するコーナーです。研究成果の実物展示や、足で操作できる非接触型システムのスクリーンもあり、佐賀大学の概要を興味深く知ることができます。



2F 学生ベンチャースペース

2階部分は学生ベンチャースペースです。佐賀大学の学生が起業したベンチャー企業も入居し、互いに刺激あいながら事業や研究に取り組んでいます。新たな学生起業家を応援する環境が整っています。





STUDENT ENTREPRENEUR 学生起業家



新たな自分、新たな環境に挑戦できる起業家の輩出をめざす。

佐賀大学では、佐賀県や佐賀市、数々の地元企業と協働しながら創造的人材の育成をめざしてきました。アントレプレナーシップ教育にもいち早く取り組み、学生のチャレンジ精神を環境面からも積極的に支援しています。



左より、twelS株式会社 小嶋さん、株式会社WIDE 北原さん、株式会社HiBee 高重さん、アトラクティブ株式会社 濱田さん、合同会社sunapp 高津さん。

主体性やチャレンジ精神を育てるアントレプレナーシップ教育

起業家精神をはじめ、すでにある事業を承継していくための知識や技術、新たなプロジェクトを立ち上げるための企画力、優れたチームの作り方など、ビジネスや地域社会で他者と協働しながら各々の能力を効

果的に活かすスキルを身につけます。学部学科を超えた多様なクラスメイトとともに実践的に学ぶことで、今ある環境の中でもチャレンジ精神を発揮し、自らが動きだせる人材の育成をめざしたプログラムです。

アントレプレナーシップ教育実践の授業(インターフェース科目)

チームビルディングとリーダーシップ 1・2

企業連携で、実践的にチームビルディングを学ぶ。チームを組んで地元企業の課題に取り組み、実社会で役立つ技術・思考を身につけていきます。活動を通して、チーム内での自分の役割や貢献を認識します。学内、地域、ボランティアなど、さまざまな環境で実践した実績と評価が、自信や達成感につながっていきます。

- 学びの内容
- ・多くの県内企業と連携し、実際のデータや要望を反映した実践的な学び
- ・社会問題の把握→企画→プレゼン→実施までの一貫した学び
- ・2年間かけたスモールステップで着実な成長

2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方 A・B

ITスキル×アントレプレナーシップ教育で、行動できる力を育成。学内に拠点をもつ企業やビジネススクールと連携し、社会課題を見つけ、解決していくためのビジネスプランに取り組みます。プログラミングを修得し、IT技術を組み込んだプランを構築します。同時に、グループワークを重ねて、多様性やコミュニケーションの重要性を学びます。

- 学びの内容
- ・(株)オプティム(IT企業)やNPO法人風雛塾(ビジネススクール)との連携
- ・社会課題を解決するためのITスキルとプログラミング
- ・企業に役立つ論理的思考、マーケティング理論、アイデア創出方法

学生によるイノベーションを応援する大学のサポート



佐賀大学発ベンチャーの認定

大学での研究成果を活用した新事業に「佐賀大学発ベンチャー」の称号を授与し、バックアップしています。

- 【取組例】
- 佐賀大学で法人登記が可能
- 会社のスペースを無償で提供



相談窓口

新規事業・新団体の立ち上げなど、「これがしたい!」といった時に、まず初めに相談できる窓口です。

- 【取組例】
- 佐賀県やよろず支援拠点などと連携しながら、様々な企業や地域の人材を起業希望者とマッチングし、新たな起業をサポート



企業と連携

大学の研究に興味がある企業や起業支援組織と連携しながら、学生起業家が活躍できる環境を整えます。

- 【取組例】
- 九州・大学発ベンチャー振興会議、PARKS、風雛塾との連携
- 佐賀銀行・佐銀C&Cと産学金連携協定を締結。佐賀県のスタートアップ事業と連携



広報活動

学生の新たな取り組み、注目の新規事業、ビジネスコンテストの入賞などは、学内外に向けて積極的に広報していきます。

- 【取組例】
- 広報誌「かちがらす」、佐賀大Pressへの掲載
- HPでのプレスリリース掲載



コワーキングスペースの開設

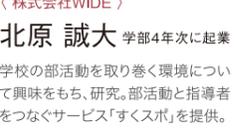
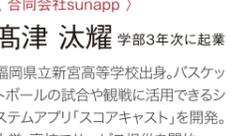
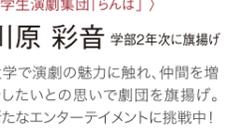
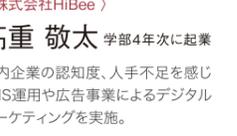
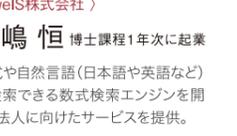
起業に関心がある学生が、情報交換や交流できる場として開設しました。簡単な登録で、起業の準備や実務を行う場として、また打ち合わせの場として、幅広く活用できます。

- 【取組例】
- 大学発ベンチャー関係者や起業準備中の学生は、24時間365日、無料で自由に利用可能
- 起業までの4つのステップに沿った起業支援セミナーや、ピッチイベントを随時開催



佐賀大学発! 学生起業家などチャレンジャー紹介

 〈株式会社山城機巧〉 山城 佑太 学部4年次に起業 腰の負担を軽減する用具(フット)を開発し、起業。2020年の「キャンパスベンチャーグランプリ」全国大会で最優秀賞受賞。	 〈株式会社AS〉 浅川 泰輝 学部4年次に起業 インターネットを使ったモバイルオーダーシステム「ASオーダー」の開発・運用。「さがラボチャレンジカップ2020」最優秀賞獲得。	 〈株式会社NEXS/こよみる株式会社〉 梶原 薪 博士課程1年次に起業(NEXS) 本学修了後に起業(こよみる) バスの位置情報を知らせるサービス提供で、学部3年次に3人で初起業。2024年度までに計3社起業している。「さがラボチャレンジカップ2021」最優秀賞獲得。	 〈株式会社SA-GA〉 森山 裕鷹 学部4年次に起業 ブロックチェーンを研究し、複数の特許を取得。特許の製品化をきっかけに起業。学校向けキャッシュレス決済サービス「学校PAY」を開発し提供中。	 〈アトラクティブ株式会社〉 濱田 悠菜 学部4年次に取締役社長就任 医薬品の開発・販売に取り組む会社の2代目。社長経験を積むことで、起業への意欲が芽生えた。
---	---	--	--	--

 〈株式会社WIDE〉 北原 誠大 学部4年次に起業 学校の部活動を取り巻く環境について興味をもち、研究。部活動と指導者をつなぐサービス「すくスポ」を提供。	 〈合同会社sunapp〉 高津 汰耀 学部3年次に起業 福岡県立新宮高等学校出身。バスケットボールの試合や観戦に活用できるシステムアプリ「スコアキャスト」を開発。中学・高校でサービス提供を開始。	 〈学生演劇集団「らんば」〉 川原 彩音 学部2年次に旗揚げ 大学で演劇の魅力に触れ、仲間を増やしたいとの思いで劇団を旗揚げ。新たなエンターテインメントに挑戦中!	 〈株式会社HiBee〉 高重 敬太 学部4年次に起業 県内企業の認知度、人手不足を感じSNS運用や広告事業によるデジタルマーケティングを実施。	 〈twelS株式会社〉 小嶋 恒 博士課程1年次に起業 数式や自然言語(日本語や英語など)を検索できる数式検索エンジンを開発。法人に向けたサービスを提供。
---	---	--	---	---

株式会社WIDE 北原さん 学びと起業



将来や就活への不安もあり、起業に興味を持つように。

1年次 不安と興味

「現代の教育と社会」という講義で部活動の課題について知り、研究を開始。

「佐賀市ビジネスコンテスト」で優勝し、それが自信に。

3年次 活動と自信

同級生4人と学生団体WIDEを立ち上げる。

部活動が持つ可能性を最大限にカタチにしていきたい!

4年次 起業とチャレンジ

4月に株式会社WIDEを設立し、9月に佐賀大学発ベンチャー認定。

自然豊かな地域にありながら、先進的な研究成果を世に発表し続ける佐賀大学。

地域に根差し、社会へ貢献する取り組みも数多く行っています。



医学部 分子生命科学講座アレルギー学分野

出原 賢治 特任教授

1984年九州大学医学部卒業後、九州大学医学部附属病院や福岡通信病院などで勤務。1991年からDNAX分子細胞生物学研究所(アメリカ)にポスドクトラルフェローとして留学。帰国後、国立遺伝学研究所や九州大学医学部に勤め、2000年に佐賀大学医学部教授に就任。2024年より現職。

長年解明されなかった かゆみのメカニズムを発見 アトピー性皮膚炎の悩みに 明るい光を

アトピー性皮膚炎のかゆみの原因究明に取り組む出原賢治教授は、2012年にアトピー性皮膚炎と深い関わりのある物質ペリオスチンを発見し、2023年1月にペリオスチンの働きを阻害する物質CP4715を特定しました。これらの発見により、アトピー性皮膚炎の治療薬の開発は、大きく前進したと考えられます。



難解なかゆみのメカニズムを 解明するための物質を特定

アトピー性皮膚炎の方々にとってかゆみは非常に大きな問題であるにもかかわらず、長年そのメカニズムは解明されませんでした。治療方法もステロイド外用薬が基本ですが、重症の場合はかゆみのコントロールは非常に難しく、多くの患者を悩ませてきました。出原教授が発見したかゆみのメカニズムは、アトピー性皮膚炎の皮膚組織ではペリオスチンという物質が大量に作られ、知覚神経上のインテグリンという物質と結合することでかゆみが脳に伝わるというものでした。ペリオスチンとインテグリンの結合を防げれば、かゆみを改善できると考えて研究を続けた結果、それらの結合を阻害する物質CP4715を特定することができました。

地道な研究の積み重ねから 画期的な発見を

長年困難とされてきたかゆみの研究が大きく進んだ背景には、顔に強いかゆみを訴えるアトピー性皮膚炎のモデルマウス「FADSマウス」の開発が大きく役立ちました。生まれつきペリオスチンを多く産生するFADSマウスから意図的にペリオスチンをなくし、そのマウスが「顔をひっかくかどうか」を根気強く観察を続けることで、ペリオスチンがかゆみに大きく関与していることを突き止めた

のです。この発見をきっかけに研究が大きく前進し、CP4715の発見につながったと言えます。



激しいかゆみを示すアトピー性皮膚炎のモデルマウス(FADSマウス)を開発

クラウドファンディングで 新薬の開発に勢いを

かゆみを改善する物質が判明したら、いよいよ新薬の開発ですが、新薬の開発には多額の費用が必要です。そこで取り組んだのが、クラウドファンディングでした。初めに設けた目標額1,000万円は早期に達成したことから、新たに目標2,000万円を設定しました。最終日までに目標額を上回る寄付が集まったことから、アトピー性皮膚炎の新薬開発に大きな期待が寄せられていることがうかがえました。現在は、新薬の形状(外用薬か、経口薬か、など)や安全性などを検証しながら、早い段階での実用化を目指して研究に取り組んでいます。

イザというときに頼れる 高度救命救急センター

本センターでは、以前から病院前診療に力を入れてきました。病院前診療は、患者が病院に着くのを待つのではなく、医師や看護師が治療を必要とする患者のもとに向いて治療にあたるシステムです。そのため、2011年には医師が同乗できるワークステーション式ドクターカーを導入し、2014年にはドクターヘリの運行を開始しました。ドクターヘリは、年間500回程出動しています。さらには、佐賀県内の救急告知病院の現場状況をリアルタイムで確認できるシステムを構築して救急搬送の見える化を行い、患者をスムーズに受け入れられる医療体制の構築を佐賀県全体で行っています。

DMATやドクターヘリなど 柔軟な機動力で緊急時の力に

本センターでは、国内外の災害時におけるDMAT(災害派遣医療チーム)派遣やドクターヘリの活用を積極的に行っています。熊本地震時には依頼患者をスムーズに受け入れ、令和6年1月に発生した能登半島地震では医師1名、看護師2名、薬剤師1名で編成したDMATチームを派遣し、災害現場で活動支援にあたっています。この能登半島地震の支援に関しては、DMATに対して厚生労働省より感謝状が贈られました。



ドラマのモデルにもなった 空飛ぶ医師を中心に 佐賀ならではの 医療システムを構築

2015年、九州で3番目、佐賀県では初の高度救命救急センターの認可を受けた佐賀大学医学部附属病院。そのセンター長を務める阪本雄一郎医師のもと、佐賀県や医師会、消防署や地域住民と連携しながら、独自の医療システムを築いてきました。



災害関連死をゼロにする地域連携プロジェクト会議

日々の暮らしにも 寄り添う地域医療を

災害時や事故だけでなく、地域の人々の日々の健康を支えるのも佐賀大学医学部附属病院の役割であり、連日多くの患者を受け入れています。また、高齢者や認知症の方が自分の意思を伝えるための「終末期カードゲーム意思決定ツール開発」を佐賀県や本学の芸術地域デザイン学部と連携して行ったり、災害時に地域の人々の命を守る「災害関連死をゼロにする地域連携プロジェクト」に取り組んで地域防災力の向上を目指すなど、様々な方面から地域医療に貢献しています。本センターは、緊急時の高度救命救急センターとしても、地域の総合病院としても、他県に先駆けた医療システムの構築を行っています。



医学部 医学科 救急医学講座

阪本 雄一郎 教授

医科大学千葉北総病院勤務時に日本で初めてのドクターヘリを導入し、その後、本センターのセンター長に就任。ドクターヘリをテーマにしたドラマ「コードブルー」のモデルでもあり、その活動は空飛ぶ医師として評価が高い。

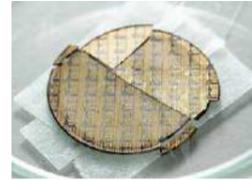


実用化へ加速！ ダイヤモンド半導体デバイスで 社会に大きなインパクトを

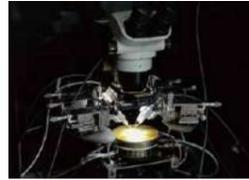
理工学部 理工学科
電気電子工学部門

嘉数 誠 教授

1990年日本電信電話株式会社に入社し、基礎研究所に所属。研究に取り組みながら、日本国内の大学、ドイツやフランスの大学、宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所などで講師や研究員を務める。2011年に佐賀大学大学院の教授に就任。



直径1インチ(約2.5センチメートル)のダイヤモンド半導体ウエハー



測定中のダイヤモンド半導体ウエハー上に作製した6G用半導体デバイスの顕微鏡

現代生活に欠かせない半導体 ダイヤモンドに大きな期待

半導体は、電気エネルギーを制御・交換する時に重要な役割を果たします。身近な家電製品などに使われる半導体の主な材質はシリコンで、もっと大電力を必要とする新幹線や携帯電話の基地局などには炭化ケイ素や窒化ガリウムを使った次世代のパワー半導体が使われています。そして、人工衛星やテレビの地上波放送局や電気自動車のように大容量の周波数・電力を必要とする産業で大きな期待を寄せられているのが、ダイヤモンド半導体です。炭化ケイ素や窒化ガリウムのパワー半導体と比較しても、電力効率がケタ違いに優れているのが大きな特徴です。

独自の発明をきっかけに 研究が一気に加速

ダイヤモンドは随分前から究極の半導体として世界中で注目を集めてきましたが、ダイヤモンド半導体の開発には非常に高度な技術が必要であるため、多くの研究者が途中で断念せざるを得ない状況でした。理工学部の嘉数誠教授が、ダイヤモンドに可能性を見いだして研究を始めたのは1990年頃。なかなか成果は上がりませんでした。「方向を間違わなければ絶対にできる」との信念のもとに研究を続け、2021年にダイヤモンド半導体の作製に成功しました。この成功のきっかけとなったのは、10年ほど

前に「ダイヤモンドに二酸化窒素を吸着させると電気が通りやすくなる」ことを発明したことでした。この発明により研究を困難にしていた大きな課題を克服することができ、成功へとつながりました。

さまざまな課題をクリアし 実用化へ向けて前進

ダイヤモンド半導体作製の成功をうけ、実用化に向けた研究が始まりました。ダイヤモンド半導体は高出力であるために、それまでの機器では電圧を測定できないといった問題が起きた時には、電圧を測定するためのオリジナルの機器を開発し、現在では4,226Vの動作も計測しています。原料となる人工ダイヤモンドについても、不純物が少なくオウリティの高い結晶が必要であるため、天然ガスから独自で製造しています。2023年にはダイヤモンド半導体パワー回路を世界で初めて開発し、高速スイッチング動作や長時間連続動作を確認しました。さらに、これまでは耐久性がないとされてきたダイヤモンド半導体ですが、3,456時間(2024年9月25日現在)の動作を確認し、記録はさらに更新を続けて耐久性を証明しています。ダイヤモンド半導体は、放熱性、耐電圧性、耐放射線に優れていることもわかっており、宇宙空間でも安定して動作することが確認されていることから、JAXAとの大型プロジェクトも進んでいます。

RESEARCH 佐賀大学の 研究



微細藻類を生物資源とし カーボンニュートラル社会 実現の大きな力に

海洋エネルギー研究所及び
リージョナル・イノベーションセンター
「さが藻類産業共同研究講座」

出村 幹英 准教授

2016年に締結された佐賀市、筑波大学、本学の研究協定に基づき、2018年に筑波大学より着任。佐賀市清掃工場で稼働する世界初の排ガス中からのCO2分離回収装置によって得られたCO2を利用した微細藻類の培養と有効利用研究に取り組む。



試験管サイズから数ℓボトルサイズの微細藻類培養。微細藻類は光合成を行うので、光をあて、二酸化炭素(数%程度)を通気します。



100ℓ以上の微細藻類培養。ビニールハウス内での大量培養実験も進行中です。

医薬原料や工業原料など 微細藻類の可能性に着目

微細藻類は植物プランクトンとも呼ばれ、大きさが1mmから1μm程度の顕微鏡レベルの藻類です。水中でも、植物と同じように二酸化炭素を吸って増殖し、森と同じような役割を果たしています。微細藻類の中には人間にとって有用な成分を作り出す種類があり、たとえばクロレラやユーグレナなどはすでにサプリメントとして流通しています。他にも、医薬原料や肥料、飼料、工業原料になる可能性を秘めていることがわかっており、微細藻類を生物資源として利用する研究は、世界中で注目を集めている分野の一つです。藻類活用で新商品開発や新規事業を目指す企業も増えてきています。

根気強い探索・研究で 新たな有用物質や新種を発見

佐賀大学の藻類研究は、微細藻類研究の第一人者として、出村幹英准教授が佐賀大学に赴任してきたことから本格的に始まり、2018年3月には佐賀大学構内に「さが藻類産業開発研究センター」が設置されました。出村研究室では、まず佐賀県各地にある池をくまなく巡って水を採取し、新たな微細藻類の探索を始めました。その結果、ヘマトコッカスの中に血圧の上昇を抑える新規物質があることや、DHAを産出するイカダモの新種があることを発見しました。現在確認されているだけでも数万種類を超えているとされている微細藻類の中から、活用

できる種類や物質を探索することは非常に根気を必要とすることで、今も引き続き行っています。有用成分を含む微細藻類を発見したら、その微細藻類を大量に培養し、有効成分を抽出し、濃縮・乾燥・精製させることが必要ですが、そのための研究もまた着々と成果をあげています。

さまざまな分野と力を合わせ 新たな産業の創出を目指す

微細藻類にはどんな成分があるのか、どんな新規産業となりうるのか、まだまだ多くの可能性を秘めています。出村准教授は、微細藻類の有用成分がどんな企業や産業にマッチングするのかを考えながら、研究開発を積み重ねています。また、微細藻類の生物資源活用で大きく注目すべき点は、地球温暖化の大きな原因ともいわれるCO2を有効利用して微細藻類を育て、その新たな生物資源で新規産業を生み出すというサイクルです。環境問題に対応しながら新規産業を創出していくことで、カーボンニュートラル社会、資源循環社会の実現を目指せると考えられています。佐賀大学の微細藻類の研究には、出村准教授をはじめ、様々な分野の先生方が自由参加で集い、「μAB project(micro Algal Biomass Project)」として活動しています。それぞれの専門家がそれぞれの視点で研究を進め、微細藻類の新たな資源としての活用を目指しています。

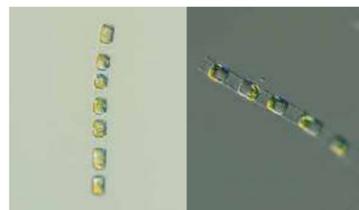
赤潮対策 —農学部 木村 圭准教授—

赤潮の動きを予測し、有明海苔を守る

赤潮に影響する
プランクトンを発見

赤潮はプランクトンが大量に発生する現象で、発生すると海苔の色落ちや栄養不足などの悪影響を与えます。地域産業にとっても、大きなダメージです。しかしこれまで、どのプランクトンが赤潮を引き起こすのかはわかっていませんでした。そこで、農学部の木村圭准教授らが着目したのが、DNAによる判別でした。顕微鏡では判別しにくいプランクトンの種類をDNAによって判別する方法(スケルトナ種判別定量PCR法)を確認し、赤潮に関するスケルトナマ属を特定。同時に、赤潮の発生時期や増殖パターンといった年間動態を明らかにしました。

これにより、赤潮の発生を事前に予測する技術開発が加速すること



スケルトナ細胞の写真

になりました。赤潮が予測できれば、生産者は早めに対策を打つことができ、ダメージを最小限に減らすことが期待できます。



研究の成功は
確固たる信頼関係あってこそ

赤潮対策の取組を加速させた大きなポイントは、木村准教授と地元関係者との強い信頼でした。日々変わる有明海の海水を合計1800回も解析できたのは、8地点から週1回のペースで海水を採取し提供してくれた佐賀県有明水産振興センターの協力があってこそです。また、地元の生産者や漁協組合とは、何度も話し合いや説明を繰り返しながら、5年以上の歳月をかけて信頼関係を築いてきました。今では研究のために船に同船させられたり、会議や懇親会で忌憚のない意見交換をしたりと、有明海の産業や将来をともに考える強い信頼関係を確立しています。

土砂災害対策 —農学部 宮本 英揮教授—

世界初! 土の中を「見える化」して土砂災害の前兆をキャッチ



山口祥義佐賀県知事が、土砂災害事前に検知するシステムの実証現場を視察しました。

「土を測る」技術で
土の中の水分や土の動きを検知

大雨が降った時には土砂災害警報情報が発令されますが、その的中率は非常に低いのが現状です。この従来の予報と、農学部の宮本英揮教授が研究している土砂災害事前検知システムの大きな違いは、実際に土の中の水分を計測しているという点です。斜面に独自で開発した小型センサーを一定の間隔で埋め込み、土の中の水分増加や土のわずかな動きを検知してカメラ付きの監視装置で「見える化」し、そのデータを携帯電話の通信回線を使って定期的に送信するシステムです。この技術は、世界的にも例のないものです。

企業と連携したIoTが
迅速な運用のカギ

今回のシステムの大きな特長は、インターネットを活用している点です。通常ではインターネット環境が整っていない山間部でシステムを運用するために、企業の協力を得て無線通信システムの基地局を設置したり、山間部で長く利用するために機器の耐久性をあげるなど、課題を一つひとつ解決してきました。今後は、より地域を絞った範囲で土砂災害のアラートが出せるようなシステムづくりを目指しています。



海洋エネルギー研究所

未来を大きく変える、新エネルギーへの挑戦。

日本初の海洋エネルギー施設は、
世界からも注目を集めています。

「海洋エネルギー研究所」は、2010年度に共同利用・共同研究拠点として海洋エネルギー研究センターが設立され、2022年度に「海洋エネルギー研究所」に改組されました。本研究所は「海洋温度差」「波力」「潮流・海流」「洋上風力」の4つの主要な海洋再生可能エネルギーの研究開発を行っている数少ない研究機関であり、世界的にも注目を集めています。海から得られる再生可能エネルギーは無敵の可能性を秘めており、21世紀が抱える地球規模でのエネルギー問題と環境問題の解決に寄与することが期待されています。



海洋エネルギー研究所・伊万里サテライト

研究所の主な研究分野



海が持つパワーを次世代に引き継ぎ、
さらに大きな夢の実現へ。

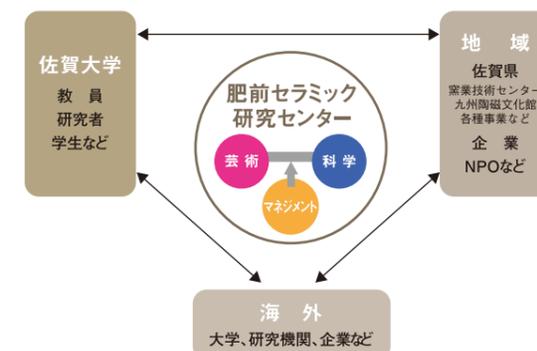
本研究所では海洋温度差発電技術、波力発電技術、海流・潮流発電技術、洋上風力発電技術など、海からのエネルギーに関して研究開発が進められています。海洋再生可能エネルギーをより身近にしていくために、本研究所では自校研究を推進し、人材を育成しています。卒業後は電力会社やガス会社、造船会社、エンジニアリング会社などのエネルギー関連の仕事に就く学生も増えていきます。海洋エネルギーが持つ強みは、他の再生可能エネルギーに比べてエネルギー密度が高いこと、そして、その膨大なエネルギー源にあります。海から得ているエネルギーを実用化することで、次世代のクリーンエネルギーとしての確立を目指していきます。

肥前セラミック研究センター

伝統的な有田の地から、やきものの新たな可能性を発信。

地域や海外とも連携しながら
やきものイノベーションを目指す

当センターは、平成29年4月に佐賀大学有田キャンパス内に設置されました。芸術的視点でやきものを研究する「プロダクトデザイン・アート研究部門」、科学的視点からやきものを解明する「セラミックサイエンス研究部門」、肥前の陶磁器産業を考察する「マネジメント研究部門」の3つの分野を融合した研究拠点です。佐賀県窯業技術センターや地元関連企業、海外の関連大学などと連携しながら「やきものイノベーション」の創出を図っています。



アイトホーフェンデザインアカデミー留学生 Marieke Van Schijndel 作品

伝統を大切にしながらも
新しい風をやきもの世界へ

当センターでは、佐賀県窯業センターが開発した焼成時無収縮磁器をはじめとする新素材の開発と応用をはじめ、活動は多岐にわたります。芸術地域デザイン学部や理工学部の学生たちが新素材を使った作品づくりを行ったり、歴史的遺跡の調査・分析を行う一方で、国際的なシンポジウムへの参加や海外との合同研究を進めるなど、地域や歴史を重んじながらも新たな視点でやきもの可能性を広げています。

数字で見る佐賀大学

さまざまな分野で進化を続ける佐賀大学。就職率や国家試験合格率など、確かな実績を築き上げる佐賀大学の驚くべき魅力を数字でご紹介します。

2024年度
学部生就職率

99.5%

※詳細はP102に掲載

JR九州の特急で
博多駅↔佐賀駅

約35min

※電車の所要時間は乗り換え・待ち時間等は含まれていません。

佐賀大学の
教員数

629名

※教授、准教授、講師、助教の人数 ※2025年4月現在

入学者の出身県の割合

福岡県 45.8%

佐賀県 27.6% 長崎県 6.6% その他 20.0%

※2025年度学部入学者

佐賀大学の学生数

6,614名

※2025年4月現在 ※大学院生を含む

学費の初年度納付金

81万7800円

入学金：282,000円 授業料：535,800円

※詳細はP104に掲載

キャンパス
の広さ

東京ドーム6個分

※本庄キャンパスのみ

アクティブラーニング
導入科目数の割合

※2024年度実績

99.97%

海外留学
人数

※2024年度実績

241人

大学発
ベンチャー

※2024年度までの実績 ※佐賀大学発ベンチャーの称号を授与した件数

8件

女子学生
比率

※2025年度学部入学者

43%

高等教育の
修学支援新制度

全額
免除 733名

2/3免除：351名 1/3免除：222名 1/4免除：113名

※2024年度通年実績 ※詳細はP104に掲載

保健師
助産師の
国家試験合格率

※2024年度実績

100%

奨学金
受給者の割合

約53%

※2025年3月現在

大学の
地域貢献度
調査

※2023年11月6日発行の「日経グローバル」471号より

全国
総合 8位

附属図書館
の蔵書数

和漢書：約47万冊 洋書：約21万冊

約68万冊

公認サークル数

105団体

本庄キャンパス：63団体

鍋島キャンパス：42団体

※詳細はP111に掲載

就職先が
公務員の
学部生数

※2024年度実績

126名

就職者数は907名

将来のため、自分のために資格・免許を取得。

資格・免許の中には、仕事に必ず必要な資格・免許もあれば、将来のためやスキル向上のために取得する資格・免許などもあります。学生時代の時間と能力を活かし、必要な資格・免許取得にチャレンジしましょう。

■ 主な資格・免許

資格・免許には、卒業要件単位を修得して卒業することにより得られるものだけでなく、他の科目の単位の修得や卒業後の実務経験が必要なものなど様々な取得条件があります。詳しくは学務部教務課各学部教務担当にお問い合わせください。

学部	課程・学科	コース	資格・免許
教育学部	共同教員養成課程	小中連携教育コース	
		教育支援探究コース	
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科	芸術表現コース	学芸員
		地域デザインコース	学芸員
医学部	医学科		医師国家試験受験資格
	看護学科		看護師国家試験受験資格 助産師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 保健師免許を取得し卒業後に資格が得られるもの 第一種衛生管理者免許状 養護教諭第二種普通免許状
理工学部	理工学科	数理サイエンスコース	測量士補
		データサイエンスコース	
		知能情報システムコース	
		化学コース	毒物劇物取扱責任者 危険物取扱者(甲種)受験資格
		物理学コース	測量士補
		機械工学コース	第一種ボイラー・タービン主任技術者 施工管理技士受験資格
		電気電子工学コース	電気主任技術者 電気通信主任技術者(一部受験科目免除) 施工管理技士受験資格
		都市基盤工学コース	測量士補 二級・木造建築士受験資格 施工管理技士受験資格(指定学科)
農学部	生物資源科学科	生物科学コース	食品衛生管理者 食品衛生監視員 家畜人工授精師受験資格 普及指導員受験資格
		食資源環境科学コース	食品衛生管理者 食品衛生監視員 測量士補 自然再生士補 1級及び2級土木施工管理技士受験資格 普及指導員受験資格
		生命機能科学コース	食品衛生管理者 食品衛生監視員 普及指導員受験資格 危険物取扱者(甲種)受験資格
		国際・地域マネジメントコース	普及指導員受験資格
コスメティックサイエンス学環			毒物劇物取扱責任者 化粧品総括製造販売者責任者申請資格

■ 取得可能な教育職員免許状の種類

教育学部以外の学部においても、所定の科目を履修し単位を修得することにより、卒業時に下記の教育職員免許状を取得することができます。詳しくは学務部教務課各学部教務担当にお問い合わせください。

学部	課程・学科	コース	幼稚園教諭 一種免許状 二種免許状	小学校教諭 一種免許状 二種免許状	中学校教諭 一種免許状 二種免許状	高等学校教諭 一種免許状	特別支援学校教諭 一種免許状 二種免許状
教育学部	共同教員養成課程	小中連携教育コース	●	●	◆	■	★
		教育支援探究コース	●	●	◆	■	★
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科	芸術表現コース	—	—	美術(一種)	美術、工芸	—
		地域デザインコース	—	—	—	—	—
経済学部	経営学科	—	—	—	商業	—	
理工学部	理工学科	数理サイエンスコース	—	—	数学(一種)	数学	—
		データサイエンスコース	—	—	数学(一種)	数学、情報	—
		知能情報システムコース	—	—	数学(一種)	数学、情報	—
		化学コース	—	—	理科(一種)	理科	—
		物理学コース	—	—	理科(一種)	理科	—
		機械工学コース	—	—	—	工業	—
		電気電子工学コース	—	—	—	工業	—
		都市基盤工学コース	—	—	—	工業	—
農学部	生物資源科学科	生物科学コース	—	—	理科(一種)	理科、農業	—
		食資源環境科学コース	—	—	理科(一種)	理科、農業	—
		生命機能科学コース	—	—	理科(一種)	理科、農業	—
		国際・地域マネジメントコース	—	—	理科(一種)	理科、農業	—
コスメティックサイエンス学環		—	—	—	—	—	—

◆… 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
★… 知的障害者、肢体不自由者、病弱者
■… 国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、書道、保健体育、家庭、英語

次世代を担う

子どもたちを育成する

教育のプロになる。

Faculty of Education

教育学部

共同教員養成課程 (仮称 設置申請中)

- ▶ 小中連携教育コース
- ▶ 教育支援探究コース

〈 特別支援教育の
カリキュラムを強化 〉

学校教育課程 小中連携教育コース
西井 優里 大分県 大分雄城台高等学校出身
田中 胡桃 熊本県 専修大学玉名高等学校出身
吉田 廉次郎 佐賀県 佐賀西高等学校出身
長瀬 未佳 福岡県 門司学園高等学校出身

〈 学部の特徴 〉

教育学部では、幼児・児童・生徒の心身の発達を長期的な視点から見据えながら、現代社会の変化に伴う教育課題に応えることができる教員の育成を目指しています。特に、近年増加している特別支援を必要とする子どもや児童生徒の教育への需要にも対応できるカリキュラムを実施しています。

●「小中連携教育コース」では、小・中学校の9年間を一体的に捉え、義務教育期間全体を見据えて教育実践を行える能力を持った教員を養成します。児童期から思春期にかけての心身の発達過程や各教科の内容をふまえ、一人ひとりの学習意欲を高めながら着実な理解や達成の積み重ねへと導き、学力向上を実現することのできる指導・支援のあり方を学修します。専攻は「小学校教育主免専攻」と「中学校教育主免専攻」の2つです。

●「教育支援探究コース」では、子どもの生活・発達・学習について、心理、教育・保育、特別支援教育の視点から専門的知識や技能を学びます。また、これらの知識や技能をもとに子どものニーズや課題を把握できる教員を養成します。専攻は「発達支援専攻」と「特別支援教育専攻」の2つです。

■ 教育目的

教育学部では、幼児・児童・生徒の心身の発達を長期的かつ連続的な視点から見据えながら、現代社会の変化に伴うさまざまな教育課題に応えることができる学校教員の養成を目的としています。

アドミッション
ポリシーはこちら



■ 在学生インタビュー



目まぐるしく変化する社会の中で
学び、成長し続けていける教員になりたい。

高校生の時に「教師へのとびら」に参加し、本学の雰囲気や教育に対する姿勢・考え方を知り「ここで学びたい」と思うようになりました。今は、中高における保健体育の授業づくりについて学んでいます。模擬授業ができる授業が好きで、友だちと模擬授業を相互に受けることで自分では考えられなかった視点や工夫を知ることができ、それが自分の授業力向上につながっていると実感しています。教育実習に取り組み、女子サッカー部で活動し、友人たちと学生生活を送る中で、自分のことだけでなく多くの人や物事を考えられるようになったことも大きな成長だと思います。将来は、保健体育の教員を志望しています。

学校教育課程 小中連携教育コース
古賀 颯花 佐賀県 神埼高等学校出身

インタビュー動画も
ご覧いただけます



複数免許の取得で広がる 教育者としての幅広い可能性

01 幼小・小中連携教育を実現する 複数免許の取得をサポート

教育学部ではどのコースを選んでも「幼稚園教諭」「小学校教諭」「中学校教諭」「高等学校教諭」「特別支援学校教諭」から複数の免許取得が可能です。「幼稚園教諭」と「小学校教諭」のダブルライセンスや、小中一貫教育に携わるために「小学校教諭」「中学校教諭」を組み合わせるなど、目指す将来に必要な資格を在学中に取得できます。



小学校教諭免許とその他の免許の取得例



中学校教諭免許とその他の免許の取得例



◎ 幼・小・中・高校は教科・科目の免許が取得可能

「保育士」の資格取得には、国家試験の受験が必要です。

教科教育に重点を置き、各教科の学びを深めて専門知識と技能を身に付けます。小学校での英語教育に対応して、英語にも力を入れています。

全校種対応 取得可能な中学・高校の免許科目一覧



◎ 特別支援学校教諭の免許取得も充実

(教職大学院への進学→修了で専修免許も取得可能)

特別支援学校の教員になるためには、教諭免許状のほかに「特別支援学校教諭免許」が必要となります。教育支援探究コースでは、子どもの生活・発達・学習について、心理・教育・保育、特別支援教育の視点から専門的知識を学び、免許取得をサポートします。特別支援教育にも強い教員を目指します。



丁寧なサポート体制

高い能力を備えた教育者を育成する充実の環境

現場で教える教科内容を「質の高い授業」で学習

レベルの高い研究業績を持つ教員による、教科教育・教科内容で学びを深めます。学校教員になるための「質の高い授業」によって、教育現場で活用できる知識・技能を身に付けます。

理論と実践、どちらも高いレベルで修得可能

教育学部から教職大学院まで「6年間の教員養成」を見据えた学修が可能。また、佐賀県公立学校教員採用選考試験においては、一般・教職教養試験免除制度*が新設されました。

*教職大学院修了後の専修免許状所有者(見込み含)対象

学部教員が一丸となって試験対策を丁寧に指導

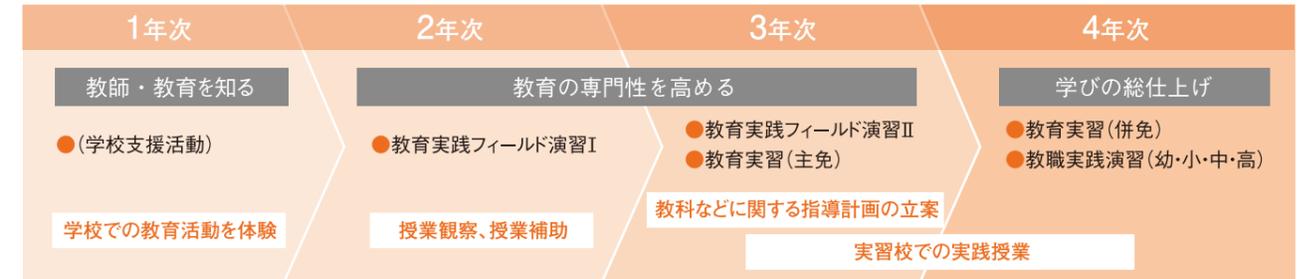
教員採用試験対策は、学部教員全員による丁寧な2次試験対策を中心とした指導を実施。過去問題の提供や実技指導など綿密な支援策で、合格への実力を積み上げていきます。

02 1年次から学校現場、3年次から教育実習へ、 実践経験を積むフィールド演習

学内での講義のほかに体験学習をバランスよく組み合わせ、早い段階から教育現場での経験を積み、社会に出たときに即戦力として輝ける力を身に付けます。



[4年間の教育実習のイメージ]



※本表に記載の開講科目、配当年次等に関しては全て予定であり、内容には変更があり得ます。

附属学校での実習

教育学部には、一人ひとりの個性と能力を生かす教育の場である4つの附属学校(園)があります。教員を目指す学生が教育実習を行うのもこれらの施設です。



附属幼稚園



附属小学校



附属中学校



附属特別支援学校

03 ICTを活用した模擬授業の実施や 地域との連携を通して現場が求める教員を育成

小学校での英語教育や今後増加が見込まれるICTなど、教育現場を取り巻く環境にいち早く対応するために、佐賀大学では英語力とICTに力を入れています。電子黒板やタブレット型端末機器などの設備を充実させ、高度なICT機器による模擬授業を行える環境を整備。GIGAスクール構想に強い教員を目指しています。また、地域と連携して教育の現場の情報を随時収集し、教育の現場でどのような教員が求められているかを把握することで、即戦力となる人材を育成します。



たくさんの学びや経験を積み重ね 多方面から子どもたちの成長を支えられる教員に。

私は佐賀県内の小学校で、国語、算数、社会、理科など幅広い教科の勉強を教えています。教育学部で、授業のやり方や子どもの行動の見取り方など多方面で学んだことがちゃんと役立っていると感じています。今でも時々「もっと勉強しておけばよかった」と思う事もあるので、今勉強中の学生たちは在学中にたくさん学んでほしいと思います。また学生時代には、Green-Nexusという団体に所属し、子どもたちや地域の方に向けたイベントを企画・運営していました。講義との両立は大変でしたがとても充実し、その時の経験も今に活かしています。将来は、子どもたちの成長を様々な面からサポートできる教員になりたいと思っています。そのためには社会人になってからも学び続ける姿勢が大切だと感じ、毎朝読書をして知識を深める、長期休暇には旅行に行くなど、多くのことを経験するように心がけています。



吉野ヶ里町立三田川小学校 勤務
西坂 修弥さん
教育学部 学校教育課程 小中連携教育コース
2021年3月卒業

【業務内容】
勉強のほか、給食や掃除、友だちとの関わりなど、子どもたちの成長を日々サポート。





詳細情報はこちら

演習や実習で学んだことは多い
失敗を恐れずに経験を積み
いずれは地域の子育て支援を



小さい頃から幼稚園の先生に憧れていましたが、子どもの成長をサポートするためなら努力できると直感し、教育学部への進学を決めました。佐賀大学の教育学部は、フィールド演習や保育観察実習など現場を体験する機会が十分に設けられています。実際に教育現場で働く先生方のお話を聞く機会も多く、教職への興味やモチベーションが高まりました。大学での学びや教育実習を通して、自分がやりたいことが少しずつ明確になり、将来像もかなり具体的にいったと思います。時には失敗もありましたが、「失敗は成長につながる」と学んだことで、チャレンジ精神も身につきました。将来は子どもたちに寄り添い、自らの力で進んでいけるように援助できる存在になりたいと思います。

学校教育課程 幼小連携教育コース
中原 梨宝 佐賀県 鳥栖高等学校出身

学びの特色 1 解決に取り組める人になる

教員としての責任と使命を持ち、学校教育をめぐる今日的な課題の解決に取り組むことができる力を育成します。

学びの特色 2 子どもを支援できる人になる

子どもの発達についての確かな理解を持ち、子ども一人ひとりの状態に応じた支援を展開できる力を育成します。

学びの特色 3 子どもを支えられる人になる

保護者や家庭など子どもの生活と関わる他者と連携し、子どもの育ちを支える役割を担うことができる力を育成します。

専攻の特徴

「発達支援専攻」では、子どもの発達を心理学、保育・幼児教育学、教育学の観点から包括的に理解する力を育みます。「特別支援教育専攻」では、特別な教育的ニーズを持つ子どもに対して適切な教育的支援を行える能力を育てます。

卒業と同時に取得できる教育教員免許状

専攻	幼I	幼II	小I	小II	中I	中II	高I	特支I
発達支援	▲	◎	◎	▲	▲	▲	▲	▲
特別支援教育	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	◎

I：一種免許
II：二種免許
◎：卒業要件(必須)
▲：選択取得可能

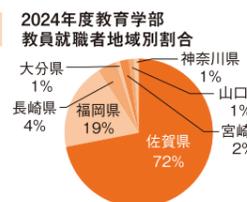
主な進路

〈就職先〉

- 佐賀県内ならびに九州各県の公立小学校、中学校、公立・私立高等学校、特別支援学校、幼稚園
- その他、公務員(自治体)、一般企業(情報・金融・広告等)

〈進学先〉

- 佐賀大学大学院学校教育学研究科(教職大学院)
- 長崎大学大学院教育学研究科(教職大学院)



カリキュラム一覧

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目			
	共通基礎科目「英語」			
専門教育科目	共通基礎科目「情報リテラシー」			
	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
発達支援専攻	インターフェース科目			
	<ul style="list-style-type: none"> 【専攻の科目】 ●幼児と人間関係 ●幼児と環境 ●幼児と言葉 ●幼児と表現I ●保育内容(環境) ●保育内容(人間関係) ●保育内容(言葉) ●保育内容(表現II) ●幼児教育と保育の原理 ●特別支援教育基礎論 	<ul style="list-style-type: none"> 【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等国語 ●初等音楽 ●初等家庭 ●初等外国語 ●初等国語指導法I-II ●初等音楽指導法I-II ●教育原理A(理念及び思想) ●教育原理B(歴史・制度) ●教職入門 ●現代の教育と社会A ●現代の教育と社会B ●教育心理学A(学習) ●教育心理学B(発達) など 	<ul style="list-style-type: none"> 【専攻の科目】 ●幼児と健康 ●幼児と表現II ●保育内容(健康) ●保育内容(表現II) ●発達心理学 	<ul style="list-style-type: none"> 【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等社会科指導法I-II ●初等理科指導法I-II ●初等図画工作科指導法I-II など
特別支援教育専攻	<ul style="list-style-type: none"> ●(学校支援活動) 	<ul style="list-style-type: none"> 【専攻の科目】 ●特別支援教育基礎論 ●肢体不自由児の心理・生理・病理 ●肢体不自由児教育総論 ●知的障害児教育総論 ●視覚障害児の心理・生理・病理 	<ul style="list-style-type: none"> 【専攻の科目】 ●知的障害児の心理・生理・病理 ●病弱児の心理・生理・病理 ●病弱児の心理・生理・病理 ●肢体不自由児指導法 ●重複障害児心理学 ●重複障害児教育総論 ●病弱児教育総論 	<ul style="list-style-type: none"> 【専攻の科目】 ●知的障害児指導法 ●知的障害児アセスメント論 ●発達障害児脳科学論 ●聴覚障害児の心理・生理・病理
	<ul style="list-style-type: none"> ●(学校支援活動) 	<ul style="list-style-type: none"> 【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等書写 ●初等社会 ●初等算数 ●初等理科 ●初等生活 ●現代の教育と社会A ●現代の教育と社会B ●教育心理学A(学習) ●教育心理学B(発達) など 	<ul style="list-style-type: none"> 【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等書写 ●初等社会 ●初等算数 ●初等理科 ●初等生活 ●初等図画工作 ●初等体育 ●初等算数科指導法I-II ●初等外国語指導法I-II ●LD等学習指導法 ●幼小連携・小中連携教育論 など 	<ul style="list-style-type: none"> 【専攻の科目】 ●教育実践フィールド演習II ●教育実習(主免)
	<ul style="list-style-type: none"> ●(学校支援活動) 	<ul style="list-style-type: none"> ●教育実践フィールド演習I 	<ul style="list-style-type: none"> ●教育実践フィールド演習II ●教育実習(主免) 	<ul style="list-style-type: none"> ●教育実習(併免) ●教職実践演習(幼・小・中・高)
	<ul style="list-style-type: none"> 【専攻の科目】 ●知的障害児指導法 ●知的障害児アセスメント論 ●発達障害児脳科学論 ●聴覚障害児の心理・生理・病理 	<ul style="list-style-type: none"> 【専攻の科目】 ●知的障害児指導法 ●知的障害児アセスメント論 ●発達障害児脳科学論 ●聴覚障害児の心理・生理・病理 	<ul style="list-style-type: none"> 【専攻の科目】 ●知的障害児指導法 ●知的障害児アセスメント論 ●発達障害児脳科学論 ●聴覚障害児の心理・生理・病理 	<ul style="list-style-type: none"> 【専攻の科目】 ●キフティッド・2E教育論 ●卒業研究 など

※本表に記載の開講科目、配当年次等に関しては全て予定であり、内容には変更があり得ます。

授業紹介

保育内容(表現II)



幼児教育や保育の実践で行われる造形活動について、模範的な体験を行いながら、その意義や、有効な造形素材・技法を学びます。

幼小連携教育研究

幼小発達教育専攻では、教育学・心理学・造形教育から問題意識の設定や深め方を理解し、探求したいテーマと研究方法について考えていきます。特別支援教育専攻では、アンケート調査や心理学実験の演習や特別支援学校の児童生徒との関わりから、実態や支援方法について考えを深めていきます。教員全員がオムニバスで授業を行います。

障害児心理学



障害の種類と障害の特性、障害に伴う心理的影響や問題等を把握するとともに、障害特性に応じた支援のあり方に関する基本的事項を学びます。

研究室・ゼミ紹介

特別支援教育

芳野 正昭 教授



ゼミ生各自が興味・関心のあるテーマ(障害児支援、交流および共同学習、きょうだい児支援等)を決めて卒業研究に取り組み、障害児の理解と支援に関して研鑽を積んでいきます。

心理学

石井 宏祐 准教授



教育現場の今日的課題について、心理学的方法を用いて実証的に検証します。学生たちは不登校やいじめ、心の病などをテーマに研究に取り組んでいます。

幼児教育(造形)

栗山 裕至 教授

造形実践を主内容に、幼児教育の理論や方法、課題や可能性について具体的に研究します。幼児・児童について深く理解し、柔軟な発想を持った教員を目指します。

教育学

成松 美枝 准教授

小1プロブレムや幼児の保育と母親の子育てなど、子どもの教育について多様な問題をテーマに取り上げ、学生の興味・関心によって卒業論文を作成しています。

卒業生の主な卒業論文テーマ

- アプローチカリキュラムにおける「見聞」の片づけ
- 幼小連携教育における小学校教諭の指導要録の活用について
- 地域との連携における学習機会の考察
- 小学生における学習動機付けと学業適応との関連
- 特別支援学校における知的障害児への性教育のあり方
- 発達障害・知的障害の子どもを持つ家族の思いと支援のあり方-保護者へのインタビュー調査を通じて-
- 保育と自然体験についての考察
- 親子の情緒的支援の方向性が親子の親密さおよび子の自尊感情に与える影響
- 自己表現の観点から見る人間関係を高める幼児教育
- 長崎県の離島教育の現状と可能性-新上五島町の教育実践に着目して-

教員紹介

教育学・学校教育

成松 美枝 教授 足立 佳菜 准教授
教育制度 道徳教育

名倉 一美 准教授
保育学

特別支援教育
芳野 正昭 教授 日高 茂暢 准教授
特別支援教育

中村 理美 講師
特別支援教育

図画工作

栗山 裕至 教授
造形教育

附属教育実践総合センター

石井 宏祐 教授 松信 尚子 准教授
臨床心理学 義務教育・教師教育

地域と世界を 知り、未来を あなたらしく表現



Faculty of Art and Regional Design

芸術地域 デザイン学部

芸術地域デザイン学科

- ▶ 芸術表現コース
- ▶ 地域デザインコース

芸術地域デザイン学科 芸術表現コース
スリタ ジョアナ
エクアドル I.S.M International Academy Quito, Ecuador 出身

〈学部の特色〉

芸術地域デザイン学部では、芸術を通して地域創生に貢献する人材の養成を行います。本学部における芸術とは、作品の制作やモノのデザインのことだけを指すわけではなく、美術館や博物館における専門的な仕事や文化財の保護と展示も芸術の範ちゅうに含まれると考えます。現代では、まちづくりや地域おこしを行う自治体、マスコミ・TV局、企業、販売、観光などの場面や職種で、芸術的な視点が求められます。本学部では、そのような場で必要とされる芸術的な手法や感性を磨けます。つまり人やモノを芸術や芸術的な手法によってつなぎ、地域の活性化や国際化などに貢献できる人材を育成します。また、作家、デザイナー、そして教員を志望する人への教育も熱心に行います。本学部で学べる専門分野は、芸術の表現や理論はもちろんですが、歴史、国際関係、考古学、地理学、都市デザイン、異文化コミュニケーションなど人文科学、社会科学のさまざまな分野にわたっています。

■ 教育目的

芸術地域デザイン学部は、創造性や高い技能を持ち、新しい芸術表現を実現できる人材、また、地域が有する問題や状況に芸術を手段として柔軟に対応し、芸術を社会に紹介したり、芸術で社会を活性化したりできる人材の養成を目的とします。

アドミッション
ポリシーはこちら



■ 在学生インタビュー



興味のある分野にとことん取り組んだ4年間。
この貴重な経験を、今後の企画に活かしたい。

進学したい大学で悩んでいたときに、キュレーション分野が学べる本学部を知り「こういう勉強が良かった!」と進学を決めました。本コースには、学芸員資格取得に必要な博物館資料論や博物館学内実習をはじめとする実践的な学びが多く、貴重で面白い体験ができました。自分の学びたい分野を妥協せずに学べることができ、本当に良かったと感じています。他にも、地域活性化の取組みや映像制作など好奇心を刺激する学びも多く、充実した4年間でした。ここで培った展覧会企画の経験を活かし、卒業後は企画会社に就職します。企画運営の知識と経験をスキルアップし、ゆくゆくはミュージアムに関わる仕事にも携わりたいです。

芸術地域デザイン学科 地域デザインコース
吉川 らら 福岡県 福岡中央高等学校出身

インタビュー動画も
ご覧ください



地域を知り、芸術でつながる
作品や企画を世界に向けて発信

01 多彩な表現が学べるカリキュラム

1年次は芸術表現と地域デザインの分野を超えたクロス型学習に学生全員で取り組みます。芸術に関わることを幅広く学び、芸術的感性を持つマネジメント人材、マネジメントを理解できる表現者を育てます。2年次より専門分野の実習科目を学びの柱にしていきます。3年次には専門分野を深めながら、有田キャンパスプロジェクトや国内外芸術研修などで、地域社会の中でより実践的なことを行い、専門分野を社会の中に生かす力を養います。



02 芸術で世界をひらく
～有田キャンパスから世界へ、世界から有田キャンパスへ～

芸術地域デザイン学部は主にドイツ、オランダ、イタリア、アルメニア、リトアニア、韓国、インドネシア等の教育・研究機関と学術・文化交流を実施し、交換留学制度を設けています。特に有田キャンパスでの交換留学プログラムSPACE-ARITAは、ドイツのブルク・ギービヒェンシュタイン芸術デザイン大学ハレやオランダのアイントホーフェンデザインアカデミーから交換留学生を多く受け入れています。留学生にとって有田は、400年の歴史に裏打ちされた陶磁器生産技術や文化からインスパイアされる刺激と共に、自身が求めているデザインを実現できる場所となっており、帰国後は有田で制作した作品をミラノデザインウィーク、アンビエンテなどに展示大きな成果を残しています。この交換留学制度は、留学生の学びの場であると同時に、留学生との交流を通して国外への興味関心に繋げる、本学学生にとっても良い機会となっています。



03 地域創生の実践—表現から文化財の保存まで

地域にある資源をどのように活用すれば地域創生につながるのかを、実際にフィールドワークを行って研究していきます。地域の協力を得て、地域資源を生かした企画を展開し、それらの活動を情報発信する手法も学びます。また、存在を世間へ伝えて文化財として保存していく活動など、芸術的観点からの地域創生のための活動を行います。

地域創生フィールドワーク

学生がチームを組み、地域の地理や文化・芸術資源を継続的に調査し、フィールドワークの能力を育成します。



<p>與賀神社</p> <p>三十六歌仙絵馬の復元模写とそのためのリサーチを、神社、地域と連携のうえ進める。</p>	<p>武雄市</p> <p>武雄市役所と連携して「文化を起点としたまちづくりデザイン」の企画・運営に取り組む。</p>	<p>吉野ヶ里</p> <p>吉野ヶ里歴史公園等の文化資源・場所を活かした活動。</p>	<p>石橋文化センター</p> <p>同センター（福岡県久留米市）内で現役のアーティストとのプロジェクトに取り組む。</p>	<p>SAGA ART WEEK</p> <p>卒業制作展にあわせ佐賀市内の美術館・ギャラリー等の情報を集約して発信。</p>
---	--	---	---	--

■ 作品紹介

<p>コンテンツデザイン</p> <p>ほぐし水の三重点をピボット インスタレーション、サイズ可変 遠藤 梨夏 福岡県 筑紫丘高等学校出身</p>	<p>ミクストメディア</p> <p>譜を起因とするごき 譜の作成から実践まで 福永 知花 福岡県 福岡女学院高等学校出身</p>
<p>西洋画</p> <p>おばあちゃんの写真を思い起こして パネル、トレーシングペーパー、油彩、メディウム 河塚 彩和 福岡県 福岡女学院高等学校出身</p>	<p>映像デザイン</p> <p>夢裡 シングルチャンネル映像(HD、ステレオ、カラー)、10min 楠田 亜衣乃 佐賀県 佐賀北高等学校出身</p>
<p>有田セラミック</p> <p>美少女戦士私 磁器、ウレタン、毛糸、木材、錆込み成形、手捻り、繻り込み技法 岩崎 尚香 熊本県 熊本信愛女学院高等学校出身</p>	

■ 施設紹介

<p>有田エントランスギャラリー(有田キャンパス)</p> <p>授業成果や学生たちの自由な制作発表の場として活用され、毎年3月には卒業生・修了生の作品を展示し、地域住民も訪れる開放された空間となっています。</p>	<p>メディア収録演習室(本庄キャンパス)</p> <p>4K撮影スタジオにおいて、合成映像やモーションキャプチャによるバーチャルプロダクションの研究を行っています。</p>
---	--

芸術家
石原 雅也さん
文化教育学部 美術・工芸課程 美術・工芸選修
2016年3月卒業

【業務内容】
創作活動のほか、作品の搬入や展示会運営など、芸術の専門家だからできる仕事に幅広く取り組む。

芸術家として、スタッフとして常に芸術に関わり続けていきます。

芸術家やインストーラー(美術館などへの搬入業務)として活動し、佐賀市内でツーン・パウンズというアートスペースの運営メンバーとしても働いています。また2024年度からは、福岡県みやま市のアーティストインレジデンス事業にも参加しています。大学では、主に日本の1960年代から1970年前半の前衛芸術、現代美術を研究しました。特に前衛芸術からは、今の自分の思考、態度や作品制作に多大な影響を受けたと感じています。大学で一番の思い出は、展示前日の会場泊まり込み限界徹夜搬入制作。褒められたことはありませんが、あの時、あの場所でしたか生まれなかった生の奔流がありました。それがきっと私の原体験でもあります。これからも、私は常に悩みながら、失敗や成功を繰り返し、一つひとつの過程に対する納得を大切にしながら活動していきたいです。



詳細情報はこちら

芸術家として
私自身を深く知り
受け止められるようになりたい。



私は高校3年生の夏ごろまでは看護師を目指していましたが、自分で何気なくモノづくりをしていくうちに「私をこんなにも惹きつける芸術」というものに興味を持つようになりました。そこで芸術を学べる大学への進学を決意し、彫刻や工芸が学べる大学へ、様々な学問領域から芸術を学ぶために総合大学であることを条件に、佐賀大学を見つけました。現在は西洋画を専攻し、富田俊明先生のもとで、制作を通して自分自身と対話することを意識しています。自分自身が持つ感情やふと頭に浮かぶことなどを自分自身からのメッセージと捉え、作品に表現しています。私が「何を求めて芸術を志したのか」、大学での学びを通して明確になりました。芸術家として、孵化する準備を着実に進められていると思います。

芸術地域デザイン学科 芸術表現コース
中川 心琴 愛媛県 松山東高等学校出身

美術・工芸分野

「手わざ」と「創造思考」を基礎にして、オリジナリティのある表現力を養成します。日本画、西洋画、彫刻、視覚伝達デザイン、漆・木工芸、染色工芸、ミクストメディアから適性に合わせて専門分野を選択し、表現や技術を学びます。描くこと、作ることを通した表現力の養成は、70年以上続く美術・工芸教室の伝統です。

有田セラミック分野

“やきもの”を産業・文化・表現・科学などさまざまな角度からとらえ、伝統的であると同時に革新を伴う時代に強くアピールできるもの作りを探索します。日本における陶磁教育の先駆的役割を果たした有田窯業大学校から移行した国内最高クラスの施設環境の中で、国際的な陶磁教育とセラミック研究により、専門性の高い人材を養成します。

主な進路

〈就職先〉

- 美術家 ●レベルファイブ ●オリックス ●ハウス食品 ●ゼネラルアサヒ ●トッピンググラフィックコミュニケーションズ ●ブレイン ●旭製作所 ●ノアデザイン ●ダイワ化成 ●福岡銀行 ●香蘭社 ●李荘窯業所 ●中川政七商店 ●福博印刷 ●Cygames ●旭化成リフォーム ●武田メカネ ●不二貿易 ●丹心窯 ●アサヒシューズ株式会社 ●チームシップ ●関家具 ●佐賀銀行 ●佐賀県庁 ●佐賀県教育委員会 ●福岡市教育委員会 ●宇城市教育委員会 ●佐賀県内ならびに九州各県の中学校、高等学校、特別支援学校など

〈進学先〉

- 佐賀大学大学院 ●University of the Arts London/Camberwell College of Arts

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次			
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」						
	共通基礎科目「情報リテラシー」	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)						
専門教育科目	学部共通科目	<ul style="list-style-type: none"> ●地域デザイン基礎(デザイン、キュレーション、フィールドワーク) ●芸術表現基礎(絵画、彫刻、工芸) 	<ul style="list-style-type: none"> ●芸術文化・地域創生論(国内外地域プロジェクト事例研究) ●知的財産権学 ●地域再生デザイン学 	学部共通コア科目 <ul style="list-style-type: none"> ●有田キャンパスプロジェクトI-II ●地域創生フィールドワークI-II ●国内外芸術研修 				
	基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> ●デザイン発想論 ●職業キャリア論 ●マーケティング論 ●アートマネジメント ●Key Concepts in Art 	<ul style="list-style-type: none"> ●デジタル表現基礎 ●文化経済論 ●比較オリエンタリズム研究 ●風土と地理学 					
	美術工芸	<ul style="list-style-type: none"> ●芸術表現A(日本画、西洋画、彫刻) ●芸術表現B(窯芸、染色工芸、漆・木工芸) ●美術史基礎 ●図法 	<ul style="list-style-type: none"> ●工芸理論 ●現代美術概論 ●アートマーケティング論 ●デザイン基礎 	<ul style="list-style-type: none"> ●日本画Ia-Ib-IIa-IIb ●彫刻IIIa-IIIb ●染色工芸Ia-Ib-IIa-IIb ●漆・木工芸Ia-Ib-IIa-IIb ●全属工芸Ia-Ib ●日本画概論 ●漆・木工芸概論 ●西洋画基礎 ●製図 ●映像デザインI ●コミュニケーションデザイン論 ●コミュニケーションデザイン演習 	<ul style="list-style-type: none"> ●西洋画Ia-Ib-IIa-IIb ●ミクストメディアIa-Ib-IIa-IIb ●視覚伝達デザインIa-Ib ●金工Ia-Ib ●彫刻概論 ●窯芸基礎 ●染色工芸基礎 ●コンテンツデザインI ●情報デザインI ●応用木工芸 	<ul style="list-style-type: none"> ●日本画IIIa-IIIb-IIIc-IIId ●彫刻IIIa-IIIb ●染色工芸IIIa-IIIb ●漆・木工芸IIIa-IIIb ●西洋画概論 ●彫刻基礎 ●日本画基礎 ●漆・木工芸基礎 ●地域ブランディング論 ●メディアアート論 ●インターンシップ 	<ul style="list-style-type: none"> ●西洋画IIIa-IIIb-IIIc-IIId ●ミクストメディアIIIa-IIIb-IIIc-IIId ●視覚伝達デザインIIIa-IIIb-IIIc-IIId ●全属工芸IIIa-IIIb ●染色工芸論 ●日本画基礎 ●ミクストメディア基礎 ●地域ブランディング演習 ●メディアアート演習 ●メディアアート演習 	●卒業研究I-II
	有田セラミック	<ul style="list-style-type: none"> ●陶磁成形技法I-II ●ロクロ成形I-II ●石膏型成形特別演習 ●陶磁特別演習I ●陶磁化学概論 ●装飾技法特別演習 ●アートプロデュース演習I ●装飾技法II 	<ul style="list-style-type: none"> ●石膏型成形I-II ●陶磁化学I ●陶磁史 ●衣食住文化論 ●食と器 	<ul style="list-style-type: none"> ●陶磁成形技法III ●ロクロ成形III ●陶磁特別演習II ●CAD/CAM I-II ●陶磁マーケティング ●装飾技法III ●石膏型成形III ●陶磁技法特別演習 	<ul style="list-style-type: none"> ●唐津焼演習 ●インターンシップ ●ロクロ特別演習 ●有田産業体験I-II 	●卒業研究I-II		

授業紹介

芸術表現A・B

美術や工芸全体の基本を広く学ぶことを目的としています。Aは日本画や西洋画、彫刻について、Bは染色工芸や窯芸、漆・木工芸について学びます。

デザイン発想論

表現全般に関わる幅広い基礎力を育みます。思考法・表現力・創造力を磨き、さまざまなコンテンツの発掘・企画につなげるための基礎を養成します。

陶磁特別演習I・II

有田を代表する十四代今泉右衛門先生や十五代酒井田柿右衛門先生の作品に対する考え方、伝統について話を聞き、自身の作品作りを見つめます。

分野紹介

西洋画

富田 俊明 准教授

「西洋画」の歴史の経緯を踏まえ、タブーや制限なしに現代のあらゆる視覚文化を涉猟し、真に現代的な絵画表現を追求します。

日本画

近藤 恵介 准教授

「日本画」が歴史の経緯において獲得した視点や技術を絵画制作を通して学び、基礎に据え、認識をほぐしながら今日の絵画表現を模索します。

視覚伝達デザイン

世利 幸代 准教授

視覚伝達デザインの授業では、まず基礎段階として定規やコンパスを使用した課題制作を行います。自分の手を直接使うことで、構成力やバランス感覚を習得します。

窯芸・装飾成形

甲斐 広文 准教授

単に技術を学ぶだけでなく、なぜそうするのかを自ら考えながら本質を探っていきます。伝統に学びながら、現代の感性で新たな“ものづくり”を目指します。

教員紹介

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 井川 健 教授
漆・木工芸 | 甲斐 広文 准教授
窯芸・装飾成形 |
| 近藤 恵介 准教授
日本画 | 世利 幸代 准教授
視覚伝達デザイン |
| 田中 右紀 教授
窯芸 | 徳安 和博 教授
彫刻 |
| 富田 俊明 准教授
西洋画 | 鳥谷 さやか 准教授
染色工芸 |
| 三木 悦子 准教授
窯芸・プロダクトデザイン | 湯之原 淳 教授
窯芸・造形 |



詳細情報はこちら

フィールドワークで得た
実践的な学びを活かしながら
暮らしに豊かさをもたらす仕事に



興味がある芸術活動や地域創生について、さまざまな視点から幅広く学べると思い、本学部を選びました。地域創生フィールドワークの授業では、「石橋文化センターにおけるキュレーションの実践」クラスで毎年秋に行われているプロジェクトに携わり、貴重な体験をしながらアートプロジェクトや美術館が担う役割について学びを深めることができました。実践的な学びの他にも、分野ごとに精通した教員が多いのも本学部の魅力です。また、数々の活動を通して他者との協働の難しさや楽しさを学び、積極的にコミュニケーションを取れるようになったことは、自分の大きな成長だと感じています。私は人を喜ばせることや役に立つことをしたいので、将来は何らかの形で人の生活に豊かさをもたらす活動や仕事に携わりたいと考えています。

芸術地域デザイン学科 地域デザインコース
松尾 奏 長崎県 大村高等学校出身

地域コンテンツデザイン分野

デジタルメディアやテクノロジーを効果的に生かして、地域資源をコンテンツ化し芸術やデザインとして提案ができる人材を育成します。デザインの理念や技能と共に、発想力・表現力・企画力・行動力などを伴ってローカル・グローバルを問わず社会に貢献できる力を身に付けます。

キュレーション分野

芸術のみならず、経営、保存科学、歴史学などの知識やスキルを駆使して、地域の遺産や資料を保護・管理したり、それらを活用した企画・運営に携わる人材を養成します。学芸員やキュレーター、ギャラリストなどの養成も目指します。

フィールドデザイン分野

まちづくりなどの地域創生のために国内外で活躍する人材を養成します。地理学、都市デザイン、文化財保護、経営などの知識を生かし、自治体や企業、マスコミなどで活躍する人材の養成にも力を入れます。

主な進路

〈就職先〉

- 株式会社ユニクロ ●株式会社良品計画(無印良品) ●株式会社オカムラ ●株式会社岩田屋三越 ●株式会社電通九州 ●総合警備保障株式会社 ●株式会社レベルファイブ ●株式会社Cygames サイゲームス ●日本郵便株式会社 ●株式会社再春館製薬所 ●株式会社スチームシップ ●JR九州エージェンシー株式会社 ●東映株式会社 ●関家具 ●大創産業 ●旭化成ホームズ ●日本赤十字社 ●ハルコ ●九州電力 ●モロゾフ ●カメラのキタムラ ●防衛省九州防衛局 ●九州管区行政評価局 ●佐賀県庁 ●朝倉市役所 ●大野城市役所 ●那珂川市役所 ●小城市役所 ●柳川市役所 ●神埼市役所 ●美術家など

〈進学先〉

- 東京藝術大学大学院 ●慶應義塾大学大学院 ●佐賀大学大学院

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次	
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」				
		共通基礎科目「情報リテラシー」				
		基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)				
		インターフェース科目				
専門教育科目	学部共通科目	<ul style="list-style-type: none"> ●地域デザイン基礎(デザイン、キュレーション、フィールドワーク) ●芸術表現基礎(絵画、彫刻、工芸) ●デザイン発想論 ●デジタル表現基礎 ●風土と地理学 ●職業キャリア論 ●マーケティング論 ●文化経済論 ●アートマネジメント ●比較オリエンタリズム研究 ●Key Concepts in Art 	<ul style="list-style-type: none"> ●芸術文化・地域創生論(国内外地域プロジェクト事例研究) ●知的財産権学 ●地域再生デザイン学 	<ul style="list-style-type: none"> ●有田キャンパスプロジェクトI-II ●地域創生フィールドワークI-II ●国内外芸術研修 		
	コース基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> ●博物館概論 ●ランドスケープ ●美術史基礎 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域再生論 ●ヘリテージマネジメント論 ●Intercultural Communication and Art I ●メディアアート論 ●地域情報マネジメント演習 ●コミュニティビジネス ●フィールドデザイン演習I ●経営・流通演習I ●エリアスタディー演習I ●視覚伝達デザインIa, Ib ●コンテンツデザインI ●情報デザインI ●映像デザインI 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域マネジメント論 		
	地域デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ●デザインプロジェクト演習 ●地域ブランディング演習 ●コミュニケーションデザイン論 ●メディアアート論 ●コミュニケーションデザイン演習 ●メディアアート演習 ●地域ブランディング論 	<ul style="list-style-type: none"> ●デザインプロジェクト演習 ●地域ブランディング演習 ●コミュニケーションデザイン論 ●メディアアート論 ●コミュニケーションデザイン演習 ●メディアアート演習 ●地域ブランディング論 	<ul style="list-style-type: none"> ●コンテンツデザインII-III ●情報デザインII-III ●映像デザインII-III ●インターンシップ ●メディアプレゼンテーション ●デザイン実践セミナー 	●卒業研究I-II	
	キュレーション	<ul style="list-style-type: none"> ●キュレイトング基礎 ●博物館展示論 ●博物館資料論 ●博物館学内実習I-II ●博物館資料保存論(芸術と倫理を含む) ●博物館情報・メディア論 ●博物館教育論 ●美術史I-II ●美術史演習 ●工芸理論 ●アートプロデュース論 ●キュレイトング応用I ●現代美術概論 ●アートプロデュース演習I-II ●アートマーケティング論 ●博物館経営論 	<ul style="list-style-type: none"> ●博物館学外実習 ●アートマネジメント特別講義 ●キュレイトング応用II ●ヘリテージサイエンス ●インターンシップ ●美術史III 	●卒業研究I-II		
	フィールドデザイン	●考古学I	<ul style="list-style-type: none"> ●考古学II-III ●都市空間論I ●考古学演習I-II ●都市・地域空間史 ●地域史論I-II ●考古学実習I(室内) ●陶磁史 ●製図 ●ヘリテージマネジメント演習 ●アートマーケティング論 ●文化財の保存と活用 ●アートマーケティング論 ●Critical Studies in Language and Image I-II-III ●Intercultural Communication and Art II-III ●アーカイブス論 	<ul style="list-style-type: none"> ●考古学IV ●地域史論III ●古文書解読演習 ●都市空間論II ●フィールドデザイン演習II ●博物館の政治学 ●エリアスタディー演習II ●考古学実習II(野外) ●地域史演習 	●卒業研究I-II	

授業紹介

映像デザイン

映像言語と時間や空間をデザインする新たな映像表現まで学びます。スキル修得だけでなく、映像による自己の表現方法を模索した作品づくりを目指します。

Art in Context

アートと社会の関係を国内外の歴史的遺構や遺物を実現したり、アートプロジェクトの実例を実地で体験することで学び、地域創生に対する意識を高めます。

博物館実習

美術品の保存修復や文化財の保護についての理念、法制度のほか、佐賀大学美術館で展示などを学び、キュレーターとしての基礎力を身に付けます。

研究室・ゼミ紹介

博物館資料保存

石井 美恵 教授

美術品の価値や保存について実資料を用いて学びます。

地域マーケティング

山口 夕妃子 教授

地域活性化をマーケティングにおける「地域ブランド」という視点から考察。特にゼミでは地域に実際に出てフィールドワークの中から地域課題を発見し、解決策を模索していきます。

アートプロデュース

花田 伸一 教授

現役のアーティスト・学芸員等と接しながら美術展やアートプロジェクトの企画・運営について実践的に学びます。

都市デザイン

有馬 隆文 教授

人間が快適かつ安全に暮らせる環境を提案するため、都市の成り立ちを理解し人々の活動を読み取り、次世代に継承される都市のデザインを追求していきます。

4年生の主な卒業研究テーマ

- 大湊・舞鶴公園の「セントラルパーク構想」における防災ファニチャー導入の可能性
- 地域おこしと娯楽の関連性～聖地巡礼は変わるのか～
- 高島野十郎研究—自画像と連作に焦点を当てて—
- 日本の水稲農耕開始期に関する研究—佐賀県葉細遺跡を対象として—
- 行政の広報キャラクター「萌えキャラ」からみる行政の男女格差問題について
- 服飾レースの普及と存続について
- 中国漢代画像石の研究—山東画像石の思想的背景—
- 福岡県柳川市における空き家問題とそれに関わる主体の活動
- 日本におけるSNSの利用と広まりについて

教員紹介

- 阿部 浩之 准教授 情報デザイン
- 石井 美恵 教授 博物館資料保存
- 重藤 輝行 教授 考古学
- 中村 隆敏 教授 映像デザイン
- 藤井 康隆 准教授 博物館学
- 山崎 功 教授 アジア研究・国際関係
- 有馬 隆文 教授 都市デザイン
- 栗林 賢 准教授 地理学
- 土屋 貴哉 教授 コンテンツデザイン
- 花田 伸一 教授 アートプロデュース
- 山口 夕妃子 教授 マーケティング
- 吉住 磨子 教授 美術史

HOUGHTON STEPHANIE ANN 教授 異文化間コミュニケーション

経済社会の動きを

多面的・実践的に 学び

世界を支える人材に。

Faculty of Economics

経済学部

- ▶ 経済学科
- ▶ 経営学科
- ▶ 経済法学科

経済法学科
藤尾 美季 佐賀県 鳥栖高等学校出身
大久保 莉乃 佐賀県 三養基高等学校出身

〈学部の特徴〉

2020年のコロナ禍によって、私たちは、現代社会がいかに「不安定」なものかを感じ知らされました。全世界で都市封鎖が行われ、国際的・地域的な人の移動が制限され、様々な行事が中止となり、行動様式の転換が求められました。このような混乱状況にあってますます求められるものが、社会科学的思想です。私たちはポストコロナの社会を構想し、実現していかなければなりません。そして、その主役は、皆さんのような未来に生きる若者です。佐賀大学経済学部は、経済学・経営学・法律学の最新知識と思考を教授することによって、ポストコロナを生きる皆さんと社会を支えたいと考えています。

■ 教育目的

経済学部は、経済学・経営学・法律学を柱として社会科学上の知識と教養を授け、経済や社会における課題を分析し、解決できる人材を育成することを教育の目的とします。

アドミッション
ポリシーはこちら



■ 在学生インタビュー



先生方の手厚いサポートを受け 学びたいこと・したいことに積極的に挑戦。

経営学に興味がありましたが、インターフェース科目などで経営学以外も学べることから佐賀大学を選びました。多方面から学ぶことで、広い視野を持って社会に必要とされる人材になれると思ったからです。今は、経営学科の専門科目だけでなく、法律や経済学といった他学科の科目を履修しています。先生方が親身にサポートして下さるので安心して学べますし、それも佐賀大学の魅力だと思います。また私は、「えこいく」という環境教育サークルに所属し、地域の子どもたちに教えながら環境保全活動を広める活動をしています。将来的に就職で自分が望む企業に就職できるよう、今は簿記検定とTOEICに力を入れているところです。

経営学科
川畑 葉菜 福岡県 小郡高等学校出身

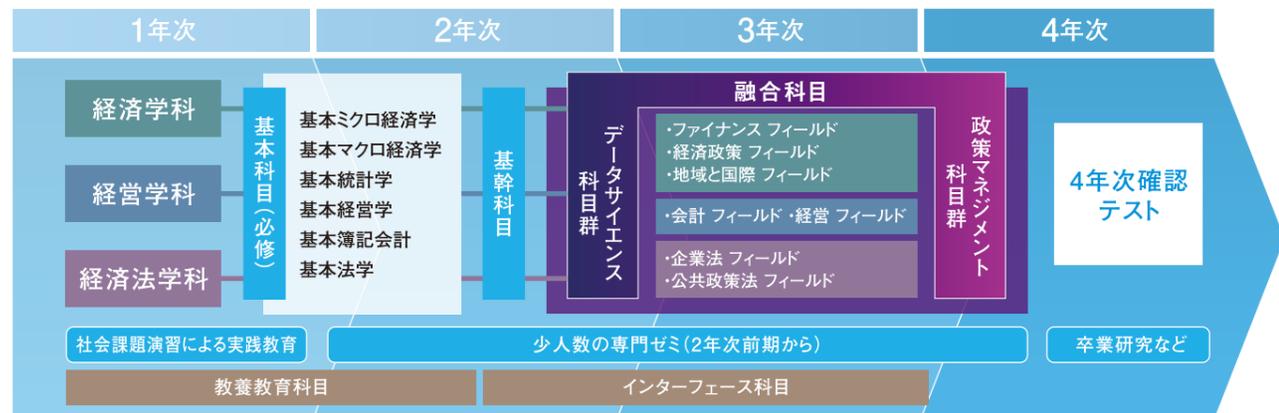
インタビュー動画も
ご覧いただけます



社会科学の土台をしっかりと固め 社会で活躍できる経済人に

01 専門知識を修得し、経済学×法学、経営学×法学の融合に基づくデータサイエンスと政策マネジメントを実践的に学ぶ

佐賀大学経済学部は、経済、経営、経済法の3学科で形成されており、各学科の専門知識の習得はもちろん、学科融合に基づく総合的で実践的な学習を通じて、ひとつの社会課題を複数の専門知識で見て、思考・判断できる能力を涵養します。社会科学の総合的な思考・判断では、客観的な証拠が求められ、それを提供できるデータサイエンスの技法を習得します。



基幹科目とは?

社会課題を分析していく上で必要となる基礎知識や考え方について、幅広く学ぶ科目です。1年次後期から2年次前期に開講され、基本科目で習得した基礎理論と融合科目で行う実践的な学習をつなぐ内容となっています。

融合科目とは?

経済学部の特徴である経済学×法学、経営学×法学に基づく融合科目は、データサイエンス科目群と政策マネジメント科目群に分岐しており、フィールド別に科目群の専攻科目を組み合わせることで進路に応じた実践的な学習を実現します。2年次6月までに所属する学科の融合科目のフィールドを1つ選択します。

4年次確認テストとは?

経済学部で習得した基本6科目をはじめ、経済学×法学、経営学×法学の融合科目の専門用語、知識、考え方が身に付いているかを確認するために、卒業前に確認テストを実施し、実力を確かめます。

02 少人数ゼミ制で学びを深め、 学生発のプロジェクトを研究・発表

1教員あたり10~20名程度の学生による少人数演習を4年間実施。1年次の社会課題演習では、社会人の実務的な視点を交え経済活動と法律の関係を学習。ここで培った問題意識をもとに2~4年次の演習では、現代社会に必要なデータ分析はじめ専門技能を習得。ゼミプロジェクトで学生主体の社会課題解決プログラムも実施します。



地元企業の調査など、学生主体で行うプロジェクト

亀山ゼミ「企業・行政との連携イベントとデータ分析」

3年次のゼミで、企業や役所と連携してイベントを企画し、参加者にアンケート調査を実施したうえで、データ分析をもとに報告書を作成します。企画力、調整力、分析力などビジネスマナー・スキルが身に付きます。



佐賀市、サガスポーツクラブとの自転車イベント

早川ゼミ「地域雇用課題研究」

厚生労働省佐賀労働局の支援を受け、地域の雇用課題に関する研究に取り組んでいます。最近では、企業による若者のキャリア形成支援の取り組みについて、学生が企業を直接訪問してヒアリング調査を行いました。



佐賀若者就職支援施設ユメタネを訪問

03 外部講師や卒業生と交流して “生”の社会について知る機会も

野村證券や佐賀県弁護士会など学外の専門家による講義を開講しており、第一線で活躍している方々の実践的な知識に触れながら学びを深めることができます。さらに、卒業生との交流会を定期的に実施して、経済界や行政で活躍している先輩たちの生の声を聞き、自分の将来について相談・考える機会を設けています。



外部講師による実体験を交えた講義

実践的な知識を高めるために、野村證券提供の「グローバル時代の資本市場と証券」と日本労働組合総連合会提供の「現代の労働」、税理士による「実践会計」や、佐賀県弁護士会の弁護士による講義などを受講できます。



経済界や行政の卒業生との交流会

経済の現場・やりたい職業に向けてどのような経験を積むべきか、など気になることを、社会で活躍する卒業生たち大学OB・OGからのアドバイスを受け、将来に向けての知識を広げます。



現場を体験する実地研修も実施

海外研修と訪問先大学での討論を行う「国際交流実習」を行います。

04 1年次から国際研修に行き 海外の経済に直に触れる経験を

希望者は1年次から国際研修に行けるのも経済学部の特徴のひとつです。海外で経済の仕組みの違いを身をもって体験したり、現地大学との交流で学生と英語でコミュニケーションを行ったりと、座学だけではわからない生きた知識と経験が得られます。コロナ禍に対応したオンラインプログラムや海外に行くチャンスも多く設けることで、国際的な人材育成をサポートします。また、経済学部独自の外国人留学生受け入れプログラムであるSPACE-ECONにより、学内にいながら国際交流ができるのも特徴です。



タイの大学との交流・研修

カセサート大学の学生とタイの中小企業の視察を行いました。(2022年)



台湾の政治経済を体験

三大学合同で大学や国会議事堂などを訪問(2023年)

佐賀大学で学んだことをいかし 「内容が伝わる」アナウンスを目指しています。

私は現在、株式会社サガテレビに勤め、アナウンサーとして仕事をしています。アナウンサーと聞くと華やかなイメージを持たれがちですが、実はテレビに出ない仕事が多くほとんどで、日々視聴者の皆さんのために見えないところで頑張っています。在学中は行政法について学びました。行政法は私たちの生活の身近な法律です。報道の仕事をする時には目にする機会が多い法律なので、ニュース内容をわかりやすく伝えることにとても役立っています。自分自身が内容を知らないままだと、視聴者には伝わりませんから。社会人になって3年目。本当に幅広い仕事をさせていただきましたが、そんな中でも大事にしてきたのは「初心を忘れない」こと。取材させていただいていることを忘れず、謙虚な姿勢でこれからも働きたいと思っています。(2021年執筆)



株式会社サガテレビ 総合コンテンツ局
報道部 兼 アナウンス室
橋爪 和泉さん
経済法学科 2019年3月卒業
【業務内容】
インタビュー、取材、ナレーション、ニュース読み、原稿作成と、仕事内容は多岐にわたる。





詳細情報はこちら

時間と場所にとらわれない
そんな働き方ができるように
自分自身を高めていきたい



慣れ親しんだ福岡よりも新たな環境での挑戦が成長につながると考え、佐賀大学を選びました。通学は自転車です。片道40分かかりますが、運動不足が解消され、1時間目から集中して受講できます。サイクリングの楽しさに気づき、休日には遠くまで出かけるようになりました。好きな授業は財政学です。私は答えのない問題について考えるのが好きなので、泡沫政党的なマニフェストを考えるレポート課題が特に興味深かったです。また、かけがえのない友人に出会えたことも、本学に進学して良かったことの一つです。友人はたいへん外交的で、彼と関わるうちに内向的に人見知りだった私も変わり、以前とは見違えるほど成長できました。将来は時間と場所にとらわれない自由な職に就きたいので、まずは様々な職業を経験し、自身の付加価値を高めていきたいと考えています。

経済学科
白木 京介 福岡県 筑紫中央高等学校出身

経済学科の紹介

グローバル化を深める国際社会および現代経済社会の構造について、専門的知識を教授し幅広い視野と問題対応能力を養成します。特に経済事象を理論的な枠組みで捉える「金融」、経済社会の分析をもとに政策立案を行う「経済政策」、経済を地域・国際の2つの観点から考察する「地域経済・国際経済」に重点を置いた教育プログラムになっています。

主な進路

〈主な就職先〉

- 佐賀銀行 ●日本銀行 ●十八親和銀行 ●西日本シティ銀行 ●福岡銀行 ●親和銀行 ●鹿児島銀行 ●肥後銀行 ●福岡国税局 ●福岡市役所 ●佐賀県庁 ●佐賀市役所 ●久留米市役所 ●鳥栖市役所 ●全日本空輸 ●ANAエアサービス佐賀 ●JTB九州 ●新出光 ●伊藤忠商事 ●九州旅客鉄道(JR九州) ●日本郵政 ●富士通 ●明治安田生命 ●国立病院機構など

〈主な進学先〉

- 佐賀大学大学院地域デザイン研究科
- 九州大学大学院経済学府修士課程

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3・4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」		
	共通基礎科目「情報基礎概論」	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)		
	インターフェース科目			
	経済学系科目	<ul style="list-style-type: none"> ●基本ミクロ経済学 ●基本マクロ経済学 ●基本統計学 ●統計学(基幹科目A) ●日本経済論(基幹科目A) ●経済学史(基幹科目B) ●地域経済論(基幹科目B) 	<ul style="list-style-type: none"> ●演習(2年) ●経済数学(基幹科目B) ●財政学(基幹科目B) ●金融論(基幹科目B) ●証券市場分析 ●現代の労働 	<ul style="list-style-type: none"> ●ミクロ経済学 ●マクロ経済学 ●国際経済学 ●労働経済学 ●政策評価分析 ●統計学演習
専門教育科目	<ul style="list-style-type: none"> ●基本経営学 ●企業論(基幹科目B) ●基本簿記会計 ●基本統計学(再掲) ●マーケティングマネジメント(基幹科目A) ●社会情報論(基幹科目A) ●経営管理論(基幹科目B) 	<ul style="list-style-type: none"> ●原価計算論(基幹科目B) ●経営組織論(基幹科目B) ●プログラミング(基幹科目B) ●経営労務論(基幹科目B) ●現代の経営 	<ul style="list-style-type: none"> ●マーケティングリサーチ ●管理会計論 ●経営戦略論 ●流通経済論 	<ul style="list-style-type: none"> ●ファイナンス論 ●経営情報論 ●財務会計論 ●ロジスティクスマネジメント ●ブランド戦略論 ●経営財務論
法学系科目	<ul style="list-style-type: none"> ●基本法学 ●民法総則(基幹科目A) ●人権論(基幹科目A) ●刑法総論(基幹科目B) 	<ul style="list-style-type: none"> ●現在政治論(基幹科目B) ●物権法(基幹科目B) ●統治機構論(基幹科目B) ●刑法各論(基幹科目B) 	<ul style="list-style-type: none"> ●会社法 ●社会保険法I ●債権法 ●行政法総論 ●経済法I ●環境法 ●労働法I ●行政救済法 	<ul style="list-style-type: none"> ●自治体行財政分析 ●知的財産法 ●商法 ●行政救済法
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●社会課題演習 ●情報処理(基幹科目A) 	<ul style="list-style-type: none"> ●ビジネス英語基礎 ●ビジネス・コミュニケーション英語 	融合科目	●特殊講義

※各フィールドの科目の太字は融合科目における重点科目(必修)を示す。

授業紹介

日本経済論

経済学が取り組むべきさまざまな問題に対して幅広い関心を育み、専門科目の学習に結びつけていくために、日本経済の基礎知識を身に付けます。

財政学

経済政策の主要な手段である税や公共支出、債務のこれまでの使われ方を振り返り、より効率的な政策展開の方向性を政治制度的背景も考慮に入れつつ模索します。

特殊講義 (Economics for Developing Countries)

アジアを中心に発展途上国についての入門知識と、未発達の問題、開発の概念などを学び、経済発展における現代の主要な経済的問題を議論します。

研究室・ゼミ紹介

計量経済学ゼミ

上山 和俊 准教授

現実の経済データを適用して経済分析を行ったり、経済理論を検証するために必要な計量経済学の基礎理論の修得を目指し、さらなる知識を深めていきます。

ゲーム理論ゼミ

吉田 友紀 教授

2年次でゲーム理論と契約理論の基礎を学び、3年次でそれらを用いた社会や経済の諸問題の分析方法を学び、4年次で既存論文をもとに各自のテーマで卒業論文に取り組みます。

経済学史ゼミ

伊藤 正哉 准教授

近現代の経済社会の基本的仕組みを把握し、自分なりに今日の経済政策を評価できるようになるために、近代経済学の基本的な考え方について理解を深めます。

農業経済論ゼミ

品川 優 教授

国際通貨システムの歴史や仕組みを理解するために、経常収支、為替レート決定の理論、開発途上国の金融問題、基軸通貨ドルの過去と現在などについて学びます。

卒業生の主な卒業論文テーマ

- 女性のキャリア継続における課題
- 大分県別府市における観光まちづくりの変遷-地域住民の関わり方に焦点を当てて-
- 短時間労働者に対する年金保険適用拡大の影響について
- 労働政策とガバナンス
- 女性の働き方支援
- 大学生が主体性を身に付けるための教育内容の改善に向けた提案-高大接続を視野に入れて-
- 訪日韓国観光客の日本旅行に関する意識調査-佐賀のインバウンド展開の方向性-
- ロジック分析から見る聖地巡礼者の消費行動の規定要因-佐賀県の「ソニランドサガ」を例に-
- ライブやコンサートのチケット転売問題について-チケットに対する支払意思額から-

教員紹介

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 亀山 嘉大 教授
都市経済学 | 金子 晋右 教授
経済史 |
| 中村 博和 教授
統計学 | 中西 一 教授
財政学 |
| ディンバサーリヤ 教授
開発経済学 | 品川 優 教授
農業経済学 |
| 藪田 竜之介 教授
日本経済論 | 吉田 友紀 教授
産業組織論 |
| 谷 晶紅 准教授
マクロ経済学 | 伊藤 正哉 准教授
経済学史 |
| 田村 一軌 准教授
経済地理学 | 上山 和俊 准教授
計量経済学 |
| 浅川 慎介 講師
労働経済学 | 相浦 真二郎 助手 |



詳細情報はこちら

さまざまな学びやチャレンジから
自らの成長を実感
将来は新たな価値観を生み出せる人に

私は企業の課題解決に取り組み、利益向上に貢献できる人材になりたいと思い、マーケティングを学ぶために経営学科を選びました。現在は、情報通信技術の活用について学習するとともに、経営学や会計学や法学といった幅広い知識を身につけ、複合的に物事を捉える力を養っています。2年次から始まったゼミでは、佐賀県内の企業やスポーツチームと連携した実践型インターンや少人数でのディスカッションを行っています。ゼミで多様な考えに触れ、意見交換することで「伝える力」が伸び、人の意見や考えを柔軟に受け入れられるようになりました。将来は、大学での学びを活かし、地域や企業と連携しながら新たな価値観を創造できる人材を目指しています。

経営学科
下無数知 福岡県 明善高等学校出身

経営学科の紹介

多角化・グローバル化する企業活動を「ミクロの経済システム」として捉え、企業経営に関する専門的知識を教授し、幅広い視野と問題対応能力を養成します。特に経営管理・経営戦略などの実践的分析能力を身に付ける「経営」、企業経営の成果をシステムとして体系的に説明する「会計」に重点を置いたプログラムになっています。

主な進路

〈主な就職先〉

- 岩谷産業 ●オービック ●九州旅客鉄道 ●佐賀銀行 ●サガテレビ ●佐賀電算センター ●JTB ●住友金属鉱山 ●ゼンリン ●TOTO ●西日本電信電話 ●西日本シティ銀行 ●ニトリ ●ニプロ ●日本生命 ●日本政策金融公庫 ●野村証券 ●福岡銀行 ●富士ソフト ●富士通 ●税理士法人諸井会計 ●楽天 ●経済産業省 ●熊本県庁 ●国税庁 ●佐賀県庁 ●佐賀市役所 ●福岡市役所 ●佐賀商業高校など

〈主な進学先〉

- 佐賀大学大学院地域デザイン研究科

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3・4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」		
	共通基礎科目「情報基礎概論」	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)		
		インターフェース科目		
		経済学系科目		
専門教育科目	経済学系科目	●基本ミクロ経済学 ●基本マクロ経済学 ●基本統計学 ●統計学(基幹科目A) ●日本経済論(基幹科目A) ●経済学史(基幹科目B) ●地域経済論(基幹科目B)	●経済数学(基幹科目B) ●財政学(基幹科目B) ●金融論(基幹科目B) ●証券市場分析 ●現代の労働	●ミクロ経済学 ●マクロ経済学 ●国際経済学 ●労働経済学 ●政策評価分析 ●統計学演習
	経営学系科目	●基本経営学 ●基本簿記会計 ●基本統計学(再掲) ●マーケティングマネジメント(基幹科目A) ●社会情報論(基幹科目A) ●経営管理論(基幹科目B)	●企業論(基幹科目B) ●演習(2年) ●原価計算論(基幹科目B) ●経営組織論(基幹科目B) ●プログラミング(基幹科目B) ●経営労務論(基幹科目B) ●現代の経営	●マーケティングリサーチ ●管理会計論 ●経営戦略論 ●流通経済論
	法学系科目	●基本法学 ●民法総則(基幹科目A) ●人権論(基幹科目A) ●刑法総論(基幹科目B)	●現在政治論(基幹科目B) ●物権法(基幹科目B) ●統治機構論(基幹科目B) ●刑法各論(基幹科目B)	●会社法 ●社会保険法I ●債権法 ●行政法総論 ●経済法I ●環境法 ●労働法I ●行政救済法
	その他	●社会課題演習 ●情報処理(基幹科目A)	●ビジネス英語基礎 ●ビジネス・コミュニケーション英語	●融合科目 ●特殊講義

授業紹介

企業論

企業という存在、株式会社やNPOといった企業の種類、企業不祥事など、企業に関する疑問に対する見方を提示し、深く考察していきます。

経営管理論

消費者や企業で働く立場として、企業について目利きになることを目的とし、主に企業家の立場からの経営管理に関する理論や方法について学びます。

マーケティングマネジメント

マーケティングとは何か、その基本概念および分析手法などについて理解を深めるため、実際のケースを取り上げながら詳しく解説していきます。

研究室・ゼミ紹介

財務会計論ゼミ

山形 武裕 准教授

財務会計は、企業の資金調達を支援するツールです。会計に関するルールなどを勉強し、企業分析や株価評価に利用することで、企業活動をより深く考察します。

流通経済ゼミ

宮崎 卓朗 教授

企業が顧客ニーズを把握して顧客を獲得するためのさまざまな方法であるマーケティングや、小売業などの流通について理解を深めていきます。

情報科学ゼミ

安田 伸一 准教授

このゼミでは、現在答えの見つからない問題や説明のできていない課題を取り上げ、「など」や「その他」という答えに逃げない考え方を学んでいます。

卒業生の主な卒業論文テーマ

- コーポレートガバナンスの国際比較-所有構造を中心に-
- 韓国財閥グループ企業の支配構造及びマネジメントに関する考察
- 日本版DMOの研究
- コンビニエンスストア業界における脱コモディティ化
- ホームセンター業界のターゲット
- 日本のキャッシュレス化について
- ディズニーランドはなぜ夢と魔法の王国なのか
- 移転価格税制と無形資産取引について
- 外食産業による利益追求のための原価管理
- 国家会計と社会会計監査

教員紹介

- 宮崎 卓朗 教授 流通経済論
- 羽石 寛志 教授 経営情報論
- 角田 幸太郎 教授 管理会計論
- 安田 伸一 准教授 情報処理
- 山形 武裕 准教授 財務会計論
- 池田 智子 助手
- 山本 長次 教授 経営史
- 関 庚炫 教授 マーケティング戦略
- 野方 大輔 教授 経営財務論
- 洪 廷和 准教授 マーケティング論
- 篠崎 伸也 准教授 ファイナンス論



詳細情報はこちら

友人や先輩との出会いが
何よりも大切な財産
切磋琢磨し、成長を感じる日々



本学科であれば、経済学から法学まで幅広い分野を学べると思進学しました。卒業してからも手厚い進路支援がある、と聞いたことも大きなポイントでした。今は刑法について学んでおり、所属している刑法の内山先生とのゼミでは、各自刑法で議論されているテーマを調べて発表することで学びを深めています。柔道部に所属していますが、競技としてのおもしろさはもちろんですが、最高の仲間たちと切磋琢磨しあえることや、遠征や合同練習を通して顔見知りが増えることも楽しみの一つです。何事も積極的に取り組む友人や先輩方から影響を受け、私も前向きに頑張っています。多少、人見知りも改善されたと思います。将来は公務員を目指しています。これから公務員試験に向け、情報収集や勉強を進めていきたいと思います。

経済法学科
川上 敦也 福岡県 春日高等学校出身

経済法学科の紹介

複雑化・多様化する現代経済社会の規範となる法律について、専門的知識を教授し幅広い視野と問題対応能力を養成します。特に企業の対外活動・経営管理に必要な法制度を学ぶ「企業法」、地方自治体の行政実務や政策形成に必要な法制度を学ぶ「公共政策法」に重点を置いたプログラムになっています。

主な進路

〈主な就職先〉

- 労働基準監督官 ●佐賀労働局 ●福岡出入国在留管理局 ●長崎法務局 ●福岡国税局 ●九州財務局 ●日本年金機構 ●佐賀県庁 ●福岡県庁 ●宮崎県庁 ●山口県庁 ●佐賀市役所 ●福岡市役所 ●長崎市役所 ●佐賀銀行 ●福岡銀行 ●親和銀行 ●日本通運 ●日本郵便 ●木村情報技術 ●医療法人社団高邦会高木病院 ●労働者健康安全機構など

〈主な進学先〉

- 九州大学法科大学院

カリキュラム一覧

	1年次	2年次	3・4年次		
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」			
	共通基礎科目「情報基礎概論」	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
専門教育科目	経済学系科目	●基本ミクロ経済学 ●基本マクロ経済学 ●基本統計学 ●統計学(基幹科目A) ●日本経済論(基幹科目A) ●経済学史(基幹科目B) ●地域経済論(基幹科目B)	●経済数学(基幹科目B) ●財政学(基幹科目B) ●金融論(基幹科目B) ●証券市場分析 ●現代の労働	●ミクロ経済学 ●マクロ経済学 ●国際経済学 ●労働経済学 ●政策評価分析 ●統計学演習	
	経営学系科目	●基本経営学 ●基本簿記会計 ●基本統計学(再掲) ●マーケティングマネジメント(基幹科目A) ●社会情報論(基幹科目A) ●経営管理論(基幹科目B)	●企業論(基幹科目B) ●原価計算論(基幹科目B) ●経営組織論(基幹科目B) ●プログラミング(基幹科目B) ●経営労務論(基幹科目B) ●現代の経営	●マーケティングリサーチ ●管理会計論 ●経営戦略論 ●流通経済論	●計量経済学 ●公共経済学 ●都市経済学 ●文化経済学 ●産業組織論 ●経済学演習
	法学系科目	●基本法学 ●民法総則(基幹科目A) ●人権論(基幹科目A) ●刑法総論(基幹科目B)	●演習(2年) ●現在政治論(基幹科目B) ●物権法(基幹科目B) ●統治機構論(基幹科目B) ●刑法各論(基幹科目B)	●会社法 ●社会保険法I ●債権法 ●行政法総論 ●経済法I ●環境法 ●労働法I	●自治体行財政分析 ●知的財産法 ●商法 ●行政法II ●労働法II ●社会保険法II ●民事手続法
	その他	●社会課題演習 ●情報処理(基幹科目A)	●ビジネス英語基礎 ●ビジネス・コミュニケーション英語	●融合科目	●演習(3年) ●刑事訴訟法 ●演習(4年) ●不法行為法 ●経済法II ●国際環境法 ●労働法II ●国際政治学 ●社会保険法II ●民事手続法
融合科目		●マーケティングリサーチ ●経営戦略論 ●会社法 ●債権法 ●経済法I ●労働法I	●経営財務論 ●知的財産法	●政策評価分析 ●公共経済学 ●社会保険法I ●行政法総論 ●環境法 ●自治体行財政分析 ●行政法II	

※各フィールドの科目の太字は融合科目における重点科目(必修)を示す。

授業紹介

<h3>環境法</h3> <p>現代の環境問題の解明と対応に不可欠な環境法について、歴史や基礎的事項を理解し、法がいかに社会を規制しようとしているかを学びます。</p>	<h3>社会保険法I</h3> <p>年金保険、医療保険、生活保護など生活困難に直面する者に対して給付を行う社会保険法の基本的な考え方を理解し、あわせて立法的課題を考えます。</p>	<h3>知的財産法</h3> <p>著作権、特許、商標、営業秘密、模倣品対策などに関する重要な法規範を説明し、基礎的な知的財産観を育て、法解釈の現状や立法の動向を共有します。</p>
--	---	---

研究室・ゼミ紹介

<h3>刑法ゼミ</h3> <p>内山 真由美 教授 捜査、死刑、刑事施設、更生保護、犯罪被害者、少年非行、交通事故など多数の問題を取り上げ、刑法、刑事訴訟法、刑事政策の基礎を学びます。</p>	<h3>労働法ゼミ</h3> <p>早川 智津子 教授 ワーキングプア、過労死、ハラスメント、リストラ、少子高齢化など、現代社会における問題を取り上げ、これらの問題と労働法の役割について判例などを素材に検討を行います。</p>	<h3>教員紹介</h3> <p>早川 智津子 教授 労働法 平部 康子 教授 社会保険法 内山 真由美 教授 刑法 中山 泰道 准教授 民法 孫 友容 准教授 知的財産法</p>
<h3>民法ゼミ</h3> <p>中山 泰道 准教授 欠陥商品の購入、交通事故など種々のトラブルに対してどう解決されているのか、裁判例を素材にして民法を考え、論議し、多面的な視点を養います。</p>	<h3>知的財産法ゼミ</h3> <p>孫 友容 准教授 著作物、特許、商標、意匠、営業秘密などの知的財産に関する裁判例から、知的財産諸法の基本ルールを幅広く学び、実際の課題を掘り下げていきます。</p>	<h3>卒業生の主な卒業論文テーマ</h3> <ul style="list-style-type: none"> ○大学生と消費者団体—消費者運動と新しい担い手としての若者の可能性 ○解雇制限と打切補償 ○過労自殺 ○同一労働同一賃金法制 ○生種補助医療と新生児取り返し問題についての検討 ○ゆめタウン佐賀店・旧西友佐賀駅前店からみる大規模小売店舗立地法・都市計画法 ○九州新幹線西九州ルートにおける可能性と課題点およびそれらの考察 ○学校校則による子どもの人権侵害 ○菓のインターネット販売と憲法 ○少年犯罪と報道の自由

高度な知識と

技術を身に付け、 人々を救う医療人

多くの へ。

Faculty of Medicine

医学部

- ▶ 医学科
- ▶ 看護学科

■ 佐賀大学医学部の使命

医および看護の実践とその科学的創造形成の過程を通じて医学および看護学の知識技術ならびに医師または看護職者たるにふさわしい態度を修得し、かつ、これらを生涯にわたって創造発展させることのできる人材を養成することを目的とし、もって医学および看護学の水準および地域医療の向上に寄与する。

■ 卒業時学修成果

- プロフェッショナリズム
- 医学的知識
- 安全で最適な医療の実践
- コミュニケーションと協働
- 国際的な視野に基づく地域医療への貢献
- 科学的な探究心



日本医学教育評価機構(JACME)による医学教育分野別評価の結果、適合が認定されています。

看護学科

- 石本 尚子 福岡県 京都高等学校出身
岸田 和之 佐賀県 唐津西高等学校出身
立尾 風香 熊本県 天草高等学校出身

〈学部の特徴〉

医学部は、四半世紀におよんだ旧佐賀医科大学の建学の精神と伝統を受け継ぎ、「医学部に課せられた教育・研究・診療の三つの使命を一体として推進することによって、社会の要請に応え得るよい医療人を育成し、もって医学・看護学の発展ならびに地域包括医療の向上に寄与する」ことを基本理念としています。そして、時代にマッチした斬新な教育方法を取り入れ、豊かな感性と高度な専門知識と専門技術を兼ね備えたよき医療職者を育成することを目標として教育を行っています。また、医療に関する単なる知識や技術を学ぶのみでなく、医療職者に求められる広い視野からの問題解決能力と、病める人が心の奥に持つ悩みや苦しみを共感できる心を育てます。

■ 教育目標

医学部は、教育・研究・診療の三つの使命を一体として推進することによって、社会の要請に応えうるよき医療人を育成し、もって医学・看護学の発展ならびに地域包括医療の向上に寄与することを基本理念とします。

アドミッション
ポリシーはこちら



■ 在学生インタビュー



知識とともに人としての幅を広げ
「この医師に任せたい」と思える存在になりたい。

小学生の時に会った小児科の先生に影響を受け、「病気の人々が自分らしく生活できるようにサポートしたい」と思い、医師を目指すようになりました。佐賀大学医学部の良さは、早期から医療現場に出る機会が多いことで、この経験が良い医師に必要な能力や考え方などについて主体的に考えるきっかけとなりました。現在は佐賀大学医学部附属病院や関連病院で臨床実習をし、医療チームの一員として担当患者さんの診察やカルテ作成などに取り組んでいます。様々な経験を重ね、病気の治療だけでなく、患者さんの人生そのものにも目を向けることができる、温かく、優しく、頼れる医師になりたいと思っています。

医学科
松浦 佐紀 佐賀県 武雄高等学校出身

インタビュー動画も
ご覧いただけます



充実した環境・カリキュラムをいかし 時代が求める医療人を育成

01 技術と人間性を兼ね備えた 全人的な医療人を目指して

医学部の特長は、一貫した実践的教育プログラムです。医学科では早期から臨床現場に触れる機会が多く、医師としての心構え・倫理観を早期に養うカリキュラムになっています。3年次からPBL(問題基盤型学修)やCBL(症例基盤型学修)を導入し、学生が主体的に問題解決能力を養う教育方法を採用しています。看護学科でも学年に合わせた実習やグループワークを取り入れ、専門技術だけでなく社会性や人を統合的に捉える思考力を身につけた人材育成に力を入れています。さらに医学科・看護学科ともに、多くの実習を本学附属病院や地域の診療所で行い、専門的かつ地域に根差した医療人の育成に取り組んでいます。



02 現場での実習を多く取り入れ 社会の期待に応えうる実践力を養う

医学科では臨床実習、看護学科では臨地実習と、実際の医療現場での実習を重点的に行っています。現場を体感し、医師・看護師からの指導を受けることで、即戦力として活躍できるスキルを身につけます。

[医学科の実習教育プログラム]

医学科では1年次から医療入門や早期体験学習を導入して、早くから医師としての心構えをしっかりと身に付けるためのカリキュラムを組んでいます。臨床実習では先輩の教員、医員および看護師等と共にチームの一員として患者に接し、PBL等で培った「課題発見・問題解決」能力を有効に応用する経験を積み重ねます。

1～2年次	3～4年次	5～6年次
医療入門 基礎的な医療知識と方法論を修得します。講義に加え、早期体験学習なども実施します。	臨床入門 PBLとCBLによるアクティブ・ラーニングと医療面接や診療など基礎的な臨床技能を修得します。	臨床実習 大学での実践的な診療参加型実習や診療所・病院での地域医療実習で包括的な実践を行います。
6年一貫の実践的訓練		

社会で活躍できる医療人の育成

[看護学科の実習教育プログラム]

1年次から4年次まで、病棟で実習を行う臨地実習を取り入れ、基礎から在宅看護までを実際に体験しながら学びます。地域における保健・医療・福祉の関わりや、現在起きている課題に関心・理解を持つことで、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、科学的・論理的な思考で課題を解決する力を身に付けます。

1年次	2年次	3年次	4年次
基礎看護学実習Ⅰ 日常生活を援助する技術力を身に付けます。	基礎看護学実習Ⅱ 看護対象の問題を理論的に解決に導くように育成します。	成人・小児・母性・精神・老年・在宅・地域連携看護実習 今までの知識と技術を統合し、臨床における判断力と看護の想像力を育成します。	統合実習 在宅で生活する人などに対する看護の展開を、医療チームの一員として実習します。
技術試験	技術試験	技術試験	

問題解決や対人関係形成能力を持った人材育成

看護学科における資格取得について

医学部看護学科では、「保健師国家試験受験資格」「助産師国家試験受験資格」を取得することが可能です。2年次の2月頃に筆記試験・面接試験等によりコース履修者を決定します。

【各コース定員】 ●公衆衛生看護学コース…30人程度 ●助産学コース…5人程度

※「公衆衛生看護学コース」「助産学コース」について、コース履修できるのはどちらか一方となります。 ※各コース定員については、入学後変動する場合があります。

03 基礎力と自ら考える力を養うための 独自カリキュラム

基礎的な知識や技術を身につけるとともに、自ら考える力や行動する力をつけるために独自のカリキュラムを実施しています。グループワークやチューター(指導教員)制度を取り入れ、きめ細やかなサポートを行います。



医学科

PBL(Problem-based Learning)問題基盤型学修

学生自らが課題を見つけ、少人数のグループ討論や自己学修を通して学びを深め、さらにグループ討論を経て解決策を探ります。学生自身の考える力、問題を解決に導く力を養うための学修方法です。

CBL(Case-based Learning)症例基盤型学修

PBLより応用課題のみに特化した方法で、症例の事前配布やテーマの提示を受けて事前に自己学習を行うのが前提です。グループ討論や全体討論を行い、チューター(指導教員)が指導しながら解決へと導きます。

基礎医学

医学の基礎となるもので、臨床医学を学ぶ上でとても重要となる分野です。生理学、生化学、免疫学など多くの科目を、講義と実習を通してしっかりと学び、臨床実習へとつなげていきます。

看護学科

少人数のグループワーク

少人数でのグループワークや演習で、自らが考える力、探求する力を養います。コミュニケーションをとっていく過程で、自分の考えを明確に表現する姿勢や、他者の考えを理解する力を身につけます。

対面式の個別指導・フォローアップ体制

課題学習においては、対面式個別指導を実施します。講義や課題、試験などを通して個人の学習到達度を正確に把握し、個人の能力に応じたきめ細やかなフォローを行っていきます。

看護技術修得の環境を整備

1年次は早期体験学習、2年次は基礎看護学実習、3年次は臨地実習、4年次は統合実習と、学年ごとに実習を積み重ねます。様々な医療現場を経験することで、看護の心構えと確かな技術を修得します。



佐賀大学医学部附属病院

医学部に隣接しているため医療現場を肌で感じ、質の高い臨床実習・臨地実習を行うことが可能です。診療科目が多く、それぞれの分野で専門性を高めることもできます。高度救命救急センターにはドクターヘリも導入され、地域医療に大きく貢献しています。



佐賀大学医学部
地域医療科学教育センター勤務
佐賀大学医学部附属病院
肝疾患センター(兼任)
井上 香さん 医学部医学科2013年3月卒業
【業務内容】
医学生がすべての症候や医行為を経験できるように管理し、一貫したトレーニングを支援。

学生の成長を支え、肝がんのない未来を目指す。 教育と医療の力で佐賀を守りたい。

私は、2023年に佐賀大学医学部に設置された臨床実習コーディネーターチームの一員として医学部5・6年生の実習を支援し、診療科と学生の橋渡しをしています。同時に、肝臓内科医として肝がん死亡率が高い佐賀県において、肝がん撲滅に向けた啓発や研究にも取り組んでいます。大学時代に先生方から熱心な指導を受けた経験が、今の仕事を上で大きな原動力となっています。特に臨床実習で肝臓内科の先生と出会ったことが専門を志すきっかけとなったことから、学生にも将来の道を見つける機会を提供したいと考えています。また現在は、臨床実習コーディネーターの活動をSNSでも発信しています。メディアやデザインを活用した新しいアプローチで医学的な情報を発信し、学生の成長や肝がん対策に貢献できればと考えています。





詳細情報はこちら

専門知識と技術を身につけ
医療人として、人として成長し
大好きな佐賀県の医療に貢献したい



幼い頃より人の命を救う事ができる医者になり、医学科を目指しました。佐賀大学を選んだのは、母の実業があり馴染み深い土地だったから、早期より臨床を意識したプログラムが実施されているから、興味を持つ診療科に特に優れた先生方がいらっしゃると思ったからです。現在は、病院で様々な診療科を回りながら臨床実習をしています。これまでの学びで積み重ねてきた基礎医学・臨床医学の知識を実際の現場で体験し、日々刺激を受けながら学習に取り組んでいます。またサークル活動では、弓道部、勉部、学生自治会に所属しています。多くの人と関わり、部を取りまとめる立場をたくさん経験したことで、医療者に必要なコミュニケーション能力も身につきました。卒業後は、佐賀県で医療に従事したいと考えています。

医学科
目黒 俊希 東京都 城北高等学校出身

カリキュラム一覧

1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
大学入門科目I (医療入門I)		医療入門II		Unit13 (臨床入門)							
基本教養科目 インターフェース科目		基本教養科目 インターフェース科目		基本教養科目 インターフェース科目							
外国語科目		外国語科目		外国語科目							
情報リテラシー科目		免疫学		救急・麻酔・総合診療(1)		精神・脳・神経		◆共用試験 (CBT, OSCE)	臨床実習 地域医療実習 関連教育 病院実習	臨床実習 地域医療実習 関連教育 病院実習	臨床実習 地域医療実習 関連教育 病院実習
生命倫理学	医療統計学	組織学	薬理学	循環器	血液・腫瘍・感染症	小児・女性					
行動科学原論		神経解剖学	生理学	呼吸器	皮膚・膠原	救急・麻酔・総合診療(2)		臨床実習	基礎系・臨床系 選択科目	◆臨床実習後 OSCE	総括講義
物理学		生化学	微生物学	消化器	運動・感覚器	社会医学・ 医療社会法制					
生物学		動物性 機能生理学	病理学	代謝・内分泌・ 腎・泌尿器	精神・脳・神経	統合医療					
化学	分子生物学II 人体発生学 肉眼解剖学概説	植物性 生理学									
分子生物学I		肉眼解剖学				医学英語					
特定プログラム教育科目											
基礎系・臨床系選択科目											
地域枠入学生特別プログラム											

医学科では教養教育、基礎医学、臨床医学の実施時期を明確に区別せず、Phase(フェイズ)I~Vに分けて6年一貫教育を実施しています。教養教育科目および専門基礎科目は1年次から2年次後期まで行われます。専門科目では、基礎医学が1年次後期から始まり、遺伝子、発生、細胞、組織、器官、個体、集団といった順序で、かつ構造と機能を並行して勉強できるように構成されています。3・4年次には内科、外科、小児科などの臨床医学を統合し、臓器別に再構成したカリキュラムで学び、医師として患者さんの問題を解決する能力を養います。

Phase I

大学入門科目I(医療入門I)、基本教養科目、インターフェース科目、情報リテラシー科目、外国語科目からなる教養教育科目と、基礎科学分野の教育や生命倫理学、行動科学原論などの専門基礎科目から構成されています。医師を志す者が学習すべき基礎的な知識と方法論を修得し、かつ人間に対する理解を幅広い視点から深めるために教育が行われます。講義に加えて実習も取り入れられ、例えば1年次から2年次まで開講される医療入門I、IIでは早期体験学習が行われています。

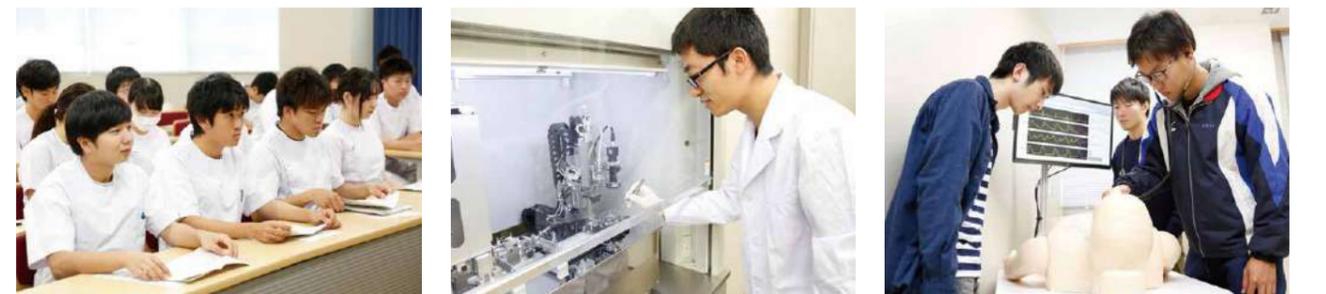
Phase II

医学専門科目である基礎医学の学習が始まります。まず、生物の基本的構成単位である細胞の構造と機能を遺伝子レベルから分子レベルまで講義・実習を通して学びます。そこで得た知識を、細胞から組織、組織から個体へと構築することにより、人体の正常な構造と機能を個体発生、系統発生の背景と共に学習します。さらに、どのような内外的要因が係わり、どのような病態を呈するかを学び3年次(Phase III)から本格的に始まる臨床医学へとつなげます。

Phase III

PBL(問題基盤型学修)やCBL(症例基盤型学修)を大幅に導入していることが特徴です。これは、症例シナリオを用いたグループ討論を通して、学習課題を自ら見だし、学習する能力や、知識を活用して病気の診断や治療方針を立案する訓練を行うものです。同時に、医療面接や身体診察などの基本的臨床技能を訓練し、臨床実習に備えます。

Phase IV & V PhaseIVは全体的に臨床実習にあてられ、医療チームの一員として診療に参加するため、4年次に共用試験に合格し、Student Doctorとして適格認定を受けた者のみが実習を許可されます。PhaseVは「特定プログラム教育科目」「基礎系・臨床系選択科目」「地域枠入学生特別プログラム」から成っています。中でも6年次前期の「基礎系・臨床系選択科目」は、自らの弱点を補ったり、興味を持つ分野をさらに深める目的で、6年間の最後の仕上げとして位置付けられています。海外での短期臨床実習に参加するコースも含まれています。



- 学びの特色 1

よい人間関係を持つ人になる

高い倫理観と豊かな人間性を育み、他者と共感してよい人間関係を作ることができる。
- 学びの特色 2

自己学習できる人になる

医学の知識・技術を修得するとともに、自己学習の習慣を身に付ける。
- 学びの特色 3

問題を解決に導く人になる

つねに科学的論理的に思考し、問題の本質に迫った解決に努める。
- 学びの特色 4

医療を理解し実践する人になる

国内外に対し幅広い視野を持ち、地域社会における医療の意義を理解し、かつ実践する。

- 主な進路**
- (主な就職先)
- 佐賀大学医学部附属病院 ●佐賀県医療センター好生館 ●嬉野医療センター ●佐賀病院 ●唐津赤十字病院 ●織田病院 ●九州大学病院 ●九州医療センター ●久留米大学病院 ●福岡大学病院 ●長崎大学病院 ●長崎医療センター ●熊本市民病院 ●大分県立病院 ●呉共済病院 ●岡山市立総合医療センター岡山市市民病院 ●姫路赤十字病院 ●奈良県総合医療センター ●横浜市立みなと赤十字病院 ●東京大学医学部附属病院 ●日本医科大学付属病院 ●千葉大学医学部附属病院 ●獨協医科大学埼玉医療センター ●筑波大学医学部附属病院 等

授業紹介

医療入門



医療には、患者との良好なコミュニケーションを保ち、患者の心を理解しようと努める豊かな人間性と寛容な精神、職業人としての倫理性と責任感に基づき困難な決断を患者と共有する厳しさが求められます。医療入門は、臨床医学の修得前に、講義に加え早期体験学習、医療面接のロールプレイ、身体診察技法およびファーストエイド等の実習、地域の診療型・介護型医療機関での施設実習を行うことにより、医療人としての自覚を高め、少子高齢化を特徴とする現代日本社会における医療の実態を理解し、医療の技術的進歩と社会の急速な変貌が人々の心にもたらす問題に関心をもち続ける態度を身に付けることを目標としています。

臨床実習



臨床実習では、これまで学習してきた基礎医学・臨床医学・社会医学・行動科学の知識や早期体験実習で得られた経験を統合し、病棟での実習を通じて将来医師として必要な考え方や技術などを身につけることができます。診療は、患者さんの病態や背景を理解し治療するために、医師だけではなく看護師・管理栄養士・薬剤師・ソーシャルワーカーなどのメディカルスタッフとチーム医療で取り組んでいます。そのため病棟実習では全人的で総合的に患者さんを診ること、そして多職種連携の面白味、また患者の退院後の生活を考える想像性と創造性を学ぶことができます。

PBL



PBLとは、問題基盤型学習(Problem-based Learning)といわれるもので、従来の講義形式と違い、学生を1グループ7~8人程度の少人数に分け、提示された課題に対し、グループでのディスカッションを通じて、自らが問題点を見つけ解決法を探る、つまり自ら学習する方法のことです。各グループにはPBLチューターといわれる教員が付き、学習を進めるためのアドバイスをを行います。

研究室・講座紹介

分子生命科学講座

出原 賢治 特任教授、副島 英伸 教授
池田 義孝 教授、吉田 裕樹 教授

生命現象の基本的仕組みを明らかにし、その異常により引き起こされる疾患の病態解明を目指して「分子遺伝学・エピジェネティクス」「分子医化学」「免疫学」「細胞生物学」の4分野により教育・研究に取り組んでいます。

社会医学講座

市場 正良 教授、池田 知哉 教授
原 めぐみ 教授、松本 明子 教授

良好な健康状態を保持するための「環境医学」、癌や生活習慣病の危険因子・防御因子を明らかにして疾病予防に役立つ「予防医学」、DNAを用いた個人識別をテーマとする「法医学」の3分野で教育・研究を進めています。

小児科学講座

松尾 宗明 教授

最先端の医療技術をもって診療にあたり、ともに医学生の前や卒後の教育を重視し、小児の総合診療医としての小児科専門医の育成と各専門分野でのサブスペシャリティの養成に力をかけています。

整形外科科学講座

膝関節外科、肩関節外科、脊椎外科、手外科など、幅広く診療を行っている中でも、特に股関節外科は全国屈指の手術症例数です。また、人工関節の開発などの基礎研究の成果も多く、学会でも注目されています。

産科婦人科学講座

全ての婦人科悪性腫瘍に対応できる県内唯一の施設である強みを生かし、診断・治療、フォローアップ、臨床研究、特に子宮頸癌に関してはHPVに関連した発癌機構の解明と新規治療法の開発の研究を行っています。

放射線医学講座

佐賀県唯一の最先端放射線機器類を駆使して、画像診断、インターベンショナル・ラジオロジー、核医学、放射線治療の各分野で一丸団結して日夜、教育・研究・診療に励んでいます。

臨床検査医学講座

さまざまな疾患の発生機序やその疾患の治療に対する反応性などを総合的に解明することにより、臨床業務に役立つ新規の臨床検査の構築と、そのための技術開発を目指し研究を行っています。

(附属施設) 地域医療科学教育研究センター

小田 康友 教授、川口 淳 教授

「数理解析部門(教育IR室)」[福祉健康科学(社会生活行動支援)部門][医学教育開発部門]の3部門で構成され、地域包括医療人材育成などの目標を持って活動しています。

生体構造機能学講座

倉岡 晃夫 教授、城戸 瑞穂 教授
安田 浩樹 教授、寺本 憲功 教授

生命体の構造(形態)とその働き(機能)の解明を目指して「組織・神経解剖学」「解剖学・人類学」「生理学」および「薬理学」の4分野に分かれ、それぞれの分野で教育・研究を進めています。

内科学講座

杉田 和成 教授、木村 晋也 教授、江崎 幹宏 教授
野出 孝一 教授、小池 春樹 教授

内科の専門8部門「膠原病・リウマチ内科学」「呼吸器内科学」「神経内科学」「血液内科学」「循環器・腎臓内科学」「消化器内科学・光学医療診療部」「肝臓・糖尿病・内分泌内科学」と「皮膚科学」の教育・研究を進めています。

一般・消化器外科学講座

能城 浩和 教授

「体に優しい」低侵襲の鏡視下手術を積極的に行い、全国でもトップクラスの手術率を誇っています。また、腫瘍制御に関する基礎研究もっており、腫瘍の悪性度診断、浸潤転移機構の解明などの研究を行っています。

脳神経外科学講座

阿部 竜也 教授

対象疾患は、脳腫瘍、脳血管障害、脊髄脊髄、小児脳神経疾患など広い範囲に及びます。特に詳細な外科解剖の研究に基づいた手術と新規治療開発に関する研究に立脚した悪性脳腫瘍の治療に精力を注いでいます。

眼科学講座

江内田 寛 教授

特に網膜剥離や糖尿病網膜症などの網膜硝子体疾患に力を入れ、加齢黄斑変性やお子さんの斜視・弱視など、長期にわたる疾患に対しても、地域の医療機関と連携し、患者さんの利便性を考慮した診療を行っています。

麻酔・蘇生学講座

坂口 嘉郎 教授

「手術室での麻酔」「集中治療」「ペインクリニック」「緩和ケア」の分野で診療と研究を行っています。手術など大きな侵襲に対する生体の反応を制御する侵襲医学の研究や、難治性の痛み治療を向上させる研究などに取り組んでいます。

救急医学講座

阪本 雄一郎 教授

初期診療体制の充実、救急集中治療体制の構築と共にドクターヘリ基地病院、佐賀広域消防との医師同乗救急車事業によって、九州で3ヶ所目となる、高度救急医療を行うセンターとしての役割を果たしています。

(附属施設) 先端医学研究推進支援センター

(併)吉田 裕樹 教授、(併)川口 淳 教授

学際分野を含む医学研究の先端的・中心的役割を担い、学内外への発信を行うと共に、医学部の教育研究の基盤となる高度な技術的支援とその研鑽を行うことで、医学・看護学の課題を重点的に研究することを目指しています。

病因病態科学講座

宮本 比呂志 教授、青木 茂久 教授
加藤 省一 教授

疾病の機序の解明を意図して、細菌や微生物感染に対する生体防御機序、動脈硬化症や癌の病理学、癌や肥満症などの生活習慣病の分子生物学の研究を「微生物学」「診断病理学」「臨床病態病理学」の3分野で進めています。

精神医学講座

溝口 義人 教授

「患者と共に在れ」をモットーとし、うつ病をはじめとするストレス関連疾患、老年精神疾患など変貌する精神科医療に対応すべく、リエゾンコンサルテーションなど他の診療科と協力しながら、さらに研鑽を重ねています。

胸部・心臓血管外科学講座

蒲原 啓司 教授

心臓血管外科と呼吸器外科から成り、患者さんの目線で最高の医療を実践し、地域医療に貢献し続けるために24時間体制で診療に励んでいます。我が国でも有数の心臓の再生医療に取り組んでおり、日夜研鑽を重ねています。

泌尿器科学講座

野口 満 教授

副腎、腎臓、尿管、膀胱、前立腺などの後腹膜臓器および泌尿生殖器の疾患を担当しています。常に患者のQuality of Lifeを尊重した医療をモットーとし、内視鏡・体腔鏡手術、ロボット手術など最新の医療技術を提供しています。

附属再生医学研究センター

中山 功一 教授

新しい再生医療技術の樹立を目指して「足場材料を使用しない3次元の複雑な組織形態を再現できるバイオ3Dプリンタ」を開発してきました。現在はこれを用い、血管や軟骨、肝臓、心臓の作製にもチャレンジしています。

耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学講座

杉山 庸一郎 教授

のど・鼻・口等の癌を最新の診療技術を用いてチーム医療で治療し、その治療成績向上を目指した研究を行っています。また、聞こえや発声などの機能障害や、嚥下障害、味覚障害などの改善を目指した診療や研究もしています。

歯科口腔外科学講座

山下 佳雄 教授

口腔がん、口唇口蓋裂、顎変形症、顔面外傷など口腔外科疾患を専門に診療・研究・教育を行っています。特に顎骨再建へのインプラント義歯の応用や顎顔面補綴を積極的に行い、県民の「口腔健康管理」に努めています。

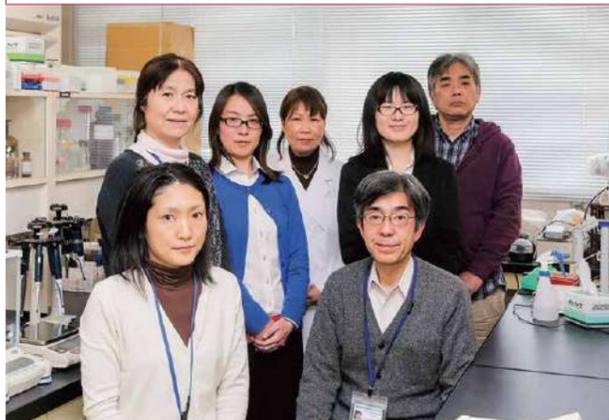
国際医療学講座

Globalizationや高齢化により大きく影響を受ける感染症の診断と治療を行います。一般感染症、免疫不全感染症などの臨床的疑問点を明らかにし、医療の質保全と向上に資する臨床研究を遂行できる人材を育成します。

研究室・講座紹介

社会医学講座(環境医学分野)

市場 正良 教授、原 めぐみ 教授
松本 明子 教授、西田 裕一郎 講師



社会医学講座は、医学の中では衛生学・公衆衛生学という領域を担当し、予防医学とも呼ばれます。その中で、我々の環境医学分野では、人を取り巻く環境の健康影響を考えています。例えば、空気中の化学物質を分析し、その健康影響を探るために血液や尿など生体試料中の化学物質やその代謝物の分析、あるいは代謝の仕組みや個人差について追究しています。特に様々な化学物質を取り扱う産業現場での作業環境や健康管理を考える産業医学は、重要な課題です。産業医という専門医資格もあります。これらの研究成果は、大学内での安全衛生管理や地域社会での実践活動に生かされています。

脳神経外科学講座

阿部 竜也 教授、増岡 淳 准教授、吉岡 史隆 講師、緒方 敦之 講師、伊藤 寛 助教、古川 隆 助教、並川 裕貴 助教



脳神経外科は、脳・脊髄に生じる疾患の予防、急性期治療、慢性期治療を網羅的に担う診療科であり、脳神経外科医は、外科医の目と技を持った神経総合医です。脳腫瘍、脳血管障害、脳血管内手術、頭部外傷、先天奇形、水頭症、てんかんなどの機能的疾患、脊椎・脊髄疾患など幅広い診療を行っています。従来の顕微鏡手術に加え、近年は血管内手術、内視鏡手術、定位的手術、細胞療法など多彩な手術や治療に取り組んでおり、女性医師の活躍も目立ってきています。臨床に繋がるような基礎研究にも積極的に取り組んでおり、世界水準の医療の実践と研究の推進ができる若手脳神経外科医の育成に励んでいます。



詳細情報はこちら

知識と技術を身につけ
現場での実習を繰り返し返して
妊婦と家族に寄り添える助産師に



1年次から早期実習が行われ、実際の看護の現場をより早く体感できること、4年間で助産師の国家試験受験資格を得られることから、佐賀大学の看護科を選びました。附属病院の存在や、助産学コースでは対面式の個別指導があることなど、専門的な知識や技術を深く学べる環境が整っているのも魅力です。3年次では臨地実習があり、患者さんを受け持ちながら疾病や治療過程を理解し、領域の特徴や個別性に応じた看護を深めていきました。また、看護と助産の学習に加えてチャイリングの部活動も行っていたためタイムマネジメント力が向上し、グループワークが多いことで協調性も身につきました。将来は、妊娠期、分娩期、産褥期だけでなく、ライフスタイルに応じて女性や家族を支援できる助産師を目指しています。

看護学科
森 千尋 佐賀県 鳥栖高等学校出身

学びの特色 1

豊かな感性を持つ人になる
看護職者にふさわしい豊かな感性を備え、人を尊重する態度を身に付ける。

学びの特色 2

看護の知識と技術を持つ人になる
的確な看護実践ができるように、看護の知識と技術を修得する。

学びの特色 3

問題を解決に導く人になる
看護の多様な問題に対処できるように、自ら考え解決する習慣を身に付ける。

学びの特色 4

地域に貢献できる人になる
社会に対する幅広い視野を持ち、地域における保健医療福祉の活動に貢献できる基本的能力を養う。

主な進路

〈主な就職先〉

- 佐賀大学医学部附属病院 ●肥前精神医療センター ●織田病院 ●久留米大学病院 ●聖マリア病院 ●福岡大学病院 ●福岡市民病院 ●熊本赤十字病院 ●大阪赤十字病院 ●京都大学医学部附属病院 ●北里大学病院 ●虎ノ門病院 ●国立成育医療研究センター ●国立国際医療研究センター病院 ●佐賀県庁(保健師) ●北九州市役所(保健師) ●浜の町病院(助産師) ●佐賀県(養護教諭) 等

カリキュラム一覧

1年次		2年次		3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
大学入門科目							臨地実習(総合)
情報リテラシー科目							
			ライフサイクルと看護				
外国語科目		臨地実習(基礎)					ライフサイクルと看護
基本教養科目またはインターフェース科目			基本教養科目またはインターフェース科目				看護の機能と方法
							統合分野
							看護の機能と方法
臨地実習(基礎)			統合分野				専門基礎科目
							看護学コース
							助産学コース
							公衆衛生看護学コース
							公衆衛生看護学コース
							公衆衛生看護学コース

授業紹介

老年看護学概論



高齢者の健康問題に関する基礎的な知識を踏まえ、生活史の聴取やシミュレーション学習などに取り組みながら、高齢者の身体的・心理的・社会的特徴について理解を深めます。

臨地実習



病院での実習と、地域・在宅実習をひとつにしたもの。1年次の早期体験実習、2年次の基礎看護学実習、3年次の臨地実習、4年次の統合実習で構成されています。

成人看護学援助論Ⅱ



成人患者の特性をふまえ、代表的な慢性疾患を持つ患者および家族が抱える健康問題に対し、病気と折り合いをつけながら生活できるよう支援方法を学びます。

研究室・ゼミ紹介

基礎看護学



看護教育学、看護援助学(看護技術・コミュニケーション・看護過程論を含む)、看護管理と、看護の基本となる分野を幅広く担いながら、研究も進めています。

成人看護学



肺がん患者さんの手術後1日目の心身の状態をアセスメントして発表しています。術式や麻酔の種類、年齢などによって、起こりえる状況が異なります。

小児看護学



小児看護学領域では、様々な子どもと家族を理解し、発達過程で生じる健康問題の解決のため、個別性に応じた看護実践に繋がる教育・研究を行っています。得られた成果を地域の教育に活かしています。

母性看護・助産学



母親の育児負担を軽減するグッズや産後髄鞘炎の予防プログラムの開発、助産師の教育方法などの研究に取り組み、その成果は学会で発表するだけでなく教育や地域に還元しています。

卒業生の主な卒業論文テーマ

- 救命救急センターでの死別に関する遺族の体験と思い
- 術前外来に関する文献検討
- 救急看護学領域における代理意思決定支援を行う看護師の困難感
- 血液透析患者の災害に対する意識と備え
- 医療的ケア児のレスパイトに関する課題
- 集団でのがん教育の実態と効果
- 児童思春期病棟における家族支援の実態～家族の安心感を重視した看護～
- 在日高齢外国人の健康問題に関する現状と課題-QOLに着目して-
- 訪問看護師が非がん疾患患者に対して実践する緩和ケア
- 認知症高齢者の認知機能とADLの関連、ADL低下の過程と効果的なかわり
- 新人看護師の夜勤における陰性感情の実態
- 看護師と患者が認識するAYA世代がん患者の困難

理学と工学を 融合し、希望に満 ちた 未来を創造する。



Faculty of Science and Engineering
理工学部

- 理工学科
- ▶ 数理サイエンスコース
 - ▶ データサイエンスコース
 - ▶ 知能情報システムコース
 - ▶ 化学コース
 - ▶ 物理学コース
 - ▶ 機械工学コース
 - ▶ 電気電子工学コース
 - ▶ 都市基盤工学コース
 - ▶ 建築環境デザインコース

理工学科 メカニカルデザインコース
大園 彩華 福岡県 春日高等学校出身
財前 光美 大分県 国東高等学校出身
松田 紗英 福岡県 福岡工業高等学校出身

〈学部の特徴〉

理工学部は、建学時から理学と工学の融合をテーマとしてきました。地球上の生き物や環境と共生し、新たな希望に満ちた未来を創造していくには、双方の領域で自在に思考できる「知」が必要不可欠です。理学で原理を学び、工学で応用技術を学び、「知」のハーモニーの中から次の世界を生み出す「人」が育っています。本学部は、9コースにおいて21世紀の高度科学技術時代に活躍できる人材の育成と、知的創造を目指して教育研究を行います。理学と工学のコースが同一学部にあるという特色を最大限に発揮し、科学と技術の融合による基礎科学とハイテクノロジーの推進を旗印に、ユニークな教育と研究に意欲的に取り組んでおり、まさに時代の要請に応えることのできる体制といえるでしょう。

■ 教育目的

理工学部は、幅広い教養と理工系の基礎学力を土台に、論理的思考力と課題解決力を備え、複雑化・多様化する現代社会のさまざまな分野で活躍できる科学技術系人材の育成を教育の目的としています。

アドミッション
ポリシーはこちら



■ 在学生インタビュー



「考えるのが好きな自分」に最適な環境で
いろいろな可能性が伸びたと感じています。

最初は工学の研究者を目指していましたが、高校3年の春先に数学に魅了され、数理サイエンスコースを選択しました。佐賀大学本コースに進んだことで、先生と近い距離で学問を掘り下げたり、自分で数学サークルを立ち上げたり、自主ゼミを立てたりと、自己実現しやすい環境に恵まれたと思います。そして何より、佐賀大学に進学しなければ出会えなかった大切な人たちが財産となっています。授業や多くの人の関わりの中で、教養や論理的思考能力が養われたほか、行動力や社交性も身についたと感じています。将来は、数学の研究を仕事にしたいので大学教授になるのが夢です。そのためには、大学院へ進学するのが目標です。

理工学科 数理サイエンスコース
石橋 義正 福岡県 三池高等学校出身

インタビュー動画も
ご覧いただけます



専門性の高い9つのコースで 「やりたいこと」が必ず見つかる

01 1年次前期にさまざまな入門科目を学び 自分の「やりたいこと」に向き合える

1年次前期に、理工教育の要である数学、物理、化学、生物、データサイエンスなどを学び、基礎力を強化します。さらに、9つの専門コースの教育研究内容に少しずつ触れることで、「自分が何をやりたいのか」考える時間を持つことができます。自分自身の希望とじっくり向き合い、1年次後期のコース選択に臨めるのが佐賀大学理工学部の特徴のひとつです。



[4年間の学び]

1年次
〈前期〉
理工学の基礎力を強化しながら、専門コースの入門に触れます。
〈後期以降〉
9つの専門コースから自分の希望に合うものを選択して学びます。

2~4年次
学びをさらに深めます。3、4年次では一部の大学院科目の履修も可能です

卒業
進学や多彩な進路



KEY POINT
大学院科目の先行履修
理工学部では約半数の学生が大学院に進学。進学予定の学生は学部在学中に大学院科目を履修し、大学院入学後に単位として認定。先行履修を行うことで、大学院入学後に海外インターンシップに参加するなど余裕も生まれます。

KEY POINT
理工学サブフィールド
自分の専門分野に加えて、理工学の他分野の専門知識を修得するための科目です。理工学の多様な分野の知識を融合し、複眼的視点や俯瞰的視野から問題解決を図る能力を養います。

KEY POINT
データサイエンス
社会のニーズに応じてビッグデータを活用できるよう、データサイエンスを必修科目に。社会の膨大なデータを解析する技術と知識を培います。

02 数理・データサイエンス・AIの実践的応用を学ぶ データサイエンス教育プログラム(応用基礎レベル)プラス

佐賀大学理工学部では、社会が求めるDX(デジタルトランスフォーメーション)人材の育成に向け、数理・データサイエンス・AI教育プログラムを実施しています。2023年8月に文部科学省より「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)」として認定され、2024年8月にはその内容の充実が評価され「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)プラス」に選定されました。本教育プログラムは、エキスパートレベルへの橋渡しを目指すものとして、実践的なAI実習、地元企業と連携した科目の開講、インターンシップの実施、地元企業や自治体との意見交換会・講演会等の開催、さらに企業連携による生成AIに関するFD研修の実施など、地域および企業との連携を通じた教育内容が高く評価された結果と言えます。本プログラムは、数理・データサイエンス・AIに関する基礎能力の習得に留まらず、これらの知識や技術を自らの専門分野や関連分野へ応用し、実社会の多様な課題解決や価値創造に寄与できる人材の育成を目的としています。対象は令和4年度以降に入学した新1年生全員であり、企業との連携を通じた実践的な教育プログラムが提供されます。なお、事前のプログラム登録は不要で、修得した単位はすべて卒業単位に算入され、認定のデジタル証明「オープンバッジ」が発行されます。



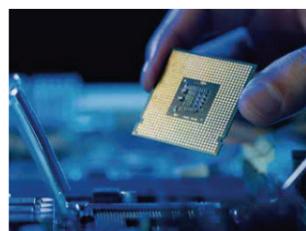
03 特別選抜で女子枠を新設 理工学分野での女性の活躍に期待

佐賀大学理工学部では、女子学生が学びやすい温かい雰囲気を大切にしています。2024年のデータによると、女子学生の比率は17.0%であり、九州地区の国立大学工学系学部の女子学生比率の平均値15.0%と比較しても高い状況です。さらに、特別選抜入試における女子枠の新設により、女子学生比率を増やしていきます。理工系の分野に情熱を注ぐ女子学生たちが、STEAM(Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics)の各分野で自らの才能を存分に発揮できるよう、理工学部では様々な支援をしています。化学や建築環境デザインを含む多岐にわたるSTEAM分野での女子学生たちの活躍を心から応援し、彼女たちの学びと将来への道のりを温かく見守っています。



04 半導体の魅力や将来性を学ぶ 「半導体概論」の開講

半導体は、AI・5G・自動運転・ロボティクス・DX・ビッグデータ・スマートシティなどを活用した持続可能な社会を創造するために重要な基盤です。理工学部では全分野の学生を対象に学部共通科目(導入科目)として「半導体概論」を開講しています。「九州半導体人材育成等コンソーシアム」や「さが半導体フォーラム」、「九州半導体・デジタルイノベーション協議会(SIIQ)」と連携し、第一線で活躍されている方々に講師として登壇いただき、半導体の魅力や将来性を学ぶことができます。



05 佐賀大学のものづくり拠点 「佐賀大deラボ」

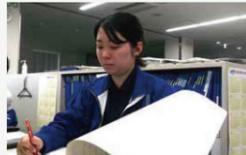
「佐賀大deラボ」は、株式会社中山鉄工所が運営し、佐賀大学の学生が主体的に活動するものづくり拠点です。主な業務には、3D CAD設計、加工機の運営、ロボット教室の指導などがあり、電気通信大学の学生ともクラウドサービスを通じて共同作業を行っています。ラボ内には、3DプリンターやCNCフライス盤、レーザーカッターなどの多様な機器が設置されており、一般の方も利用可能です。ものづくりを通じた交流を通して、新しい知識や技術の習得、スキルアップを目指しています。



寺崎電気産業株式会社 システム事業
産業エネルギーシステム部 勤務
小石原 あすかさん
理工学部電気電子工学科 2022年3月卒業
[業務内容]
顧客との仕様打合せから、専用ツールを使った図面の設計までを行う。

大学時代に学んだ基礎知識が今でも基本。 仕事に前向きに取り組み、成長していきたい。

陸用配電盤の設計を担当し、autoCADというPCツールを使った配電盤の製作図面設計を行っています。配電盤は建物に設置されている「電気を分配するための設備」で、私たちが使っている電気を裏で支える重要な役割を担っており、だからこそやりがいもあります。大学時代に、主に電気回路やプログラミング言語などの基礎知識から応用まで学びましたが、特に電気回路の基礎知識が現在の設計業務に活かされていると感じます。会社の実務では何事も基礎知識が重要となり、時々大学で使用した講義資料を見返す日もあります。仕事を続けていくと内容の難易度が上がり、時には辛いと感じることもありますが、「自分から進んでほしい」とい仕事を引き受け、辛いことを楽しめるようになったら、周囲の人よりも成長できる」とアドバイスしてくれる上司のように、辛いことを楽しむことができる社会人になることが私の目標です。



06 工学部で行われている さまざまな研究テーマ

9つの多彩なコースを持つ工学部では、それぞれのコースによって研究内容も多種多様。どのような内容があるのかをしっかりと事前に確認して、自分が一番興味を持っている内容を選ぶことができるのも魅力のひとつです。工学部の教授たちが現在取り組んでいる研究テーマの一部を紹介します。

カメラとAIで力加減を判断する「スマートハンド」

工学部 数理・情報部門
福田 修 教授



事故や病気で腕を失った人にとって、「義手」は重要な存在です。しかし、現在の義手は力加減がうまくいかないなどの課題があります。そこで、義手に「頭脳」を持たせる「スマートハンド」の研究を始めました。カメラ映像をAIにディープラーニングさせる「物体認識」の技術が急速に進歩しており、今後IoT技術で義手とAIをつなげば、やがて本物の手と同じく的確に動かせる義手を実現するでしょう。

建築×まちづくりデザインで喜ばれる「まち」をつくる

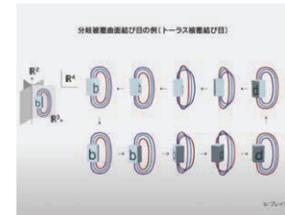
工学部 都市工学部門
三島 伸雄 教授



「建築デザイン学」では、新しい建物を造ったり街並みの一部を変えることで「まちを元気にする」手法を研究しています。観光地再生の成功例として、佐賀県鹿島市の「肥前浜宿」があります。古い酒蔵を生かしてイベント会場にするなど酒蔵を中心としたまちづくりを推進し、多くの観光客が訪れるようになりました。まちのよさや住民のニーズなどを総合的に判断しながら、まちづくりを行っていく研究です。

理論を組み立て、曲面結び目の性質を探究する

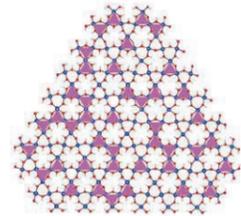
工学部 数理・情報部門
中村 伊南沙 教授



私は数学、その中でも特に「やわらかい幾何学」とも呼ばれる「位相幾何学(トポロジー)」を専門としています。トポロジーの中でも、4次元空間内の閉曲面「曲面結び目」を研究しています。数学の研究では、新しい数学的研究対象を構成したり、研究対象の性質を抽出できるような理論を構築したりします。3次元空間内にある閉じたひもを「結び目」と呼びますが、「結び目理論」では結び目を数学の対象として扱い、数学的理論を用いてその性質を調べます。曲面結び目は3次元空間内の結び目の高次元版です。曲面結び目について、グラフを用いた表示方法やその同値変形、また、「不変量」という数学的量の構成方法や計算方法などについて、研究に取り組んでいます。

工学の基礎を創る物性物理学研究

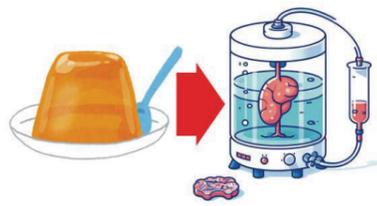
工学部 物理学部門
鄭 旭光 教授



超伝導体、半導体、磁性体など現在の社会に欠かすことのできない基盤材料・工学応用の礎となる物性物理学の研究をしています。キーワードの一つは相転移です。物質の相転移は、自然界のさまざまな変化の基礎として重要な現象で、例えば、水が温度変化によって氷や水蒸気になるのも相転移の一つです。私達の直近の研究では、量子磁性体の磁気転移において、相転移現象に普遍的なパーコレーション理論(浸透理論)を初めて実験的に実証することに成功しました。

「ゼリー」で挑む! 医療革命と食糧問題の解決

工学部 化学部門
成田 貴行 准教授



生体内で最も豊富なタンパク質であるコラーゲンをを用いた新しい材料の開発を行っています。特に注目しているのは、コラーゲンの特性を活かした様々な形状のゲル材料(ゼリー)の創製です。独自に開発した技術により中空構造を持つコラーゲンゲルの作製に成功しました。この技術は、損傷した神経の再生や人工血管の開発への応用が期待されています。さらに、培養肉生産における足場材料としての活用も視野に入れており、医療分野だけでなく、持続可能な食糧生産システムの構築にも貢献することを目指しています。

半導体・AI・デジタルを支える「プラズマ」

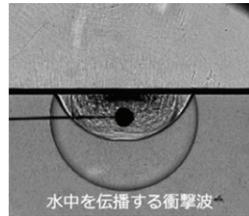
工学部 電気電子工学部門
大津 康徳 教授



「プラズマ」はAIによるDX化を進めるために必須であるGPU等の半導体製造や次世代エネルギー源など、様々なテクノロジーの発展に貢献しています。「プラズマ」とは、固体、液体、気体に次ぐ第4の物質状態で、電子、イオン、気体から構成され、星や炎がこの状態です。電気電子工学を利用して「プラズマ」を作ることができます。集積回路のナノメートルレベルの微細加工を実現しています。このようなプラズマの新しい装置の研究・開発を行っています。

「衝撃波」を利用した先進的な治療法をめざす医工学研究

工学部 機械工学部門
橋本 時忠 准教授



音速を超えて伝わる波、「衝撃波」は数マイクロ秒という極短時間だけ非常に高い圧力を局部的に作用させられるため、これを医療に応用すれば正常な部位には影響を与えずに患部だけを治療することができます。この衝撃波の応用範囲は広く、薬物治療の様な副作用がなく疼痛の軽減や組織の速やかな修復が期待できるため、衝撃波治療法の確立は大きな社会的意義があるでしょう。現在、衝撃波の性質を利用して針を使わず痛みを最小限に抑えることができる注射器の研究を進めています。

工学部

数理サイエンスコース



詳細情報はこちら



現代数学の基本を学び、論理的思考力、数理科学的考察力を身に付ける

数理サイエンスコースは、あらゆる科学技術の基礎となる数学ならびに数理科学を専門的に学修するコースです。2年次は必修科目において、数理科学のどの分野においても必要となる専門用語・表現方法と基礎的概念を修得します。3年次選択科目では、代数学、幾何学、解析学の各分野について理解を深化させると共に、演習科目により問題解決能力を養います。ほかに、教職や金融・保険といったキャリアパスを想定した場合に必要な確率・統計の科目も取り入れられています。4年次の卒業研究において、3年次までに学修した数学の分野の中から特に興味を覚えたものを選んで、特定のテーマについて少数形式で探求します。

教員紹介【数理・情報部門】

- | | | | |
|--------------------------|-------------------|-------------------|--------------------|
| 半田 賢司 教授
確率論 | 中村 伊南沙 教授
幾何学 | 日比野 雄嗣 准教授
確率論 | 木下 武彦 准教授
数値解析 |
| 岩崎 淳 准教授
確率論・情報セキュリティ | 加藤 孝盛 准教授
数学解析 | 猿子 幸弘 講師
幾何学 | 戸次 鵬人 助教
代数学・数論 |
| 柳田 幸輝 特任助教
幾何学 | | | |

主な進路(大学院課程修了生を含む)

損保ジャパン、佐賀銀行、唐津信用金庫、フコク生命、ららい生命保険、IT関連企業、金融関連企業、教育関連企業、公務員、大学院進学、中学校・高等学校教諭

カリキュラム一覧

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」		
	共通基礎科目「情報リテラシー」	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)		
専門教育科目	インターフェース科目			
	●理工特別セミナー(半導体概論)	●理工学サブフィールド ●AI-データサイエンス総合A/B	●数理・情報インターンシップS/L	
	●微分積分学Ia ●線形代数学Ia ●物理学概説 ●化学概説 ●生物学概説 ●データサイエンスI ●微分積分学IIa	●コンピュータプログラミング ●データサイエンスII		
●線形代数学IIa ●微分積分学演習 ●線形代数学演習	●線形代数学III ●解析学基礎I ●線形代数学III演習 ●解析学基礎I演習 ●集合・位相I ●集合・位相II演習 ●代数学基礎 ●解析学基礎II ●代数学基礎演習	●解析学基礎II演習 ●集合・位相II演習	●代数学I ●代数学演習 ●幾何学I ●複素関数論I演習 ●解析学演習 ●複素関数論I ●微分方程式論I ●代数学II	●幾何学II ●解析学II ●複素関数論II ●微分方程式論II ●幾何学演習 ●複素関数論演習 ●微分方程式論演習 ●確率解析学 ●数理統計学演習
			●連続最適化概論 ●数理科学英語	●卒業研究

※カリキュラム改定のため、開講科目、配当年次等が変更になる場合があります。

授業紹介

複素関数論I



複素関数の初等関数、微分法、積分法について学びます。関数を実数から複素数に広げるといふ一見平凡な拡張から、驚くほど美しく調和に満ちた世界を体験できます。

集合・位相I



集合の定義から始め、集合演算、写像や同値関係、濃度、順序集合などについて説明。発展的課題として、選択公理、整列可能定理、ツォルンの補題にも触れます。

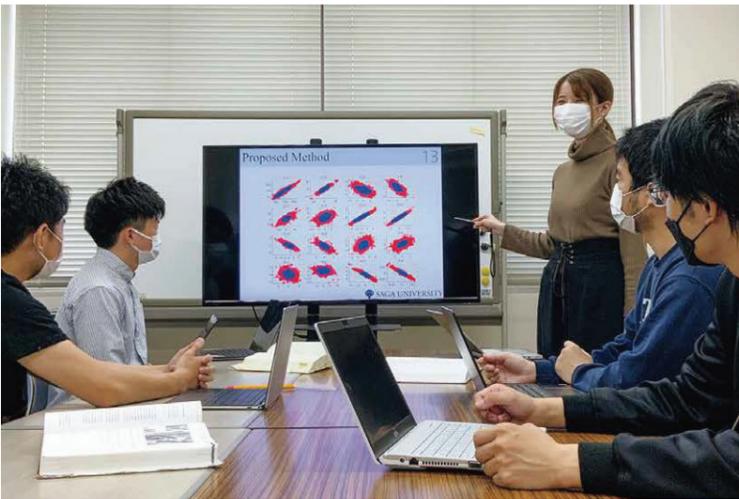
幾何学II



局所的にユークリッド空間と同一化して微分や積分ができる空間である多様体の定義や、逆関数定理などを理解し、応用・計算できることを目指します。



詳細情報はこちら



データから新たな価値を創造する データサイエンティスト

データサイエンスコースでは、データ駆動型社会の中でDX推進の中核を担う人材として必要となる数理・データサイエンス・AIについて深く、かつ広く学びます。

その基本となる数学、プログラミングなどの知識や技術を体系的に習得すると共に数理統計学、データサイエンス、機械学習、AIなどを講義と演習によって実践的に学びます。

これらの教育を通じて、数理・データサイエンス・AI分野の専門的な素養を持ち、多様なデータから知見を得て課題を解決するデータサイエンティストとして理学や工学、ビジネスなどの社会の広い分野で活躍できる人材を養成します。

教員紹介 [数理・情報部門]

- | | | | | |
|--------------------------|-------------------------------|-------------------------|-------------------------------|------------------------------|
| 石本 志高 教授
情報・生物・物理融合研究 | 岡崎 泰久 教授
教育工学 | 奥村 浩 教授
環境動態解析 | 中村 伊南沙 教授
応用学 | 中山 功一 教授
知能情報学 |
| 花田 英輔 教授
医療情報学、病院設備学 | 半田 賢司 教授
確率論 | 福田 修 教授
知覚情報処理 | 堀 良彰 教授
情報ネットワーク・情報セキュリティ | 松前 進 教授
並列分散処理 |
| 皆本 晃弥 教授
応用数学・数値解析 | 岩崎 淳 准教授
確率論・情報セキュリティ | 上田 俊 准教授
ゲーム理論、人工知能 | 大谷 誠 准教授
情報ネットワーク・情報セキュリティ | 掛下 哲郎 准教授
情報システム、ソフトウェア工学 |
| 加藤 孝盛 准教授
数学解析 | 木下 武彦 准教授
数値解析 | 木村 拓馬 准教授
数値計算法・数理計画 | 高崎 光浩 准教授
ヘルスデータサイエンス | 日永田 泰啓 准教授
計算科学 |
| 日比野 雄嗣 准教授
確率論 | 廣友 雅徳 准教授
符号・符号理論、情報セキュリティ | 山口 暢彦 准教授
情報学基礎理論 | ヨー ウェンリアング 准教授
ソフトウェア | 大月 美佳 講師
ソフトウェア |
| 猿子 幸弘 講師
幾何学 | 戸次 颯人 助教
代数学、数論 | 前田 明子 助教
情報ネットワーク | 米満 潔 特任講師
教育工学 | 柳田 幸輝 特任助教
幾何学 |

想定される進路

パナソニック(株)、NEC、ヤンマーホールディングス(株)、富士通、日立Astemo、IT関連企業、AI関連企業、DX関連企業、公務員、大学院進学、中学校・高等学校教諭

※現時点では、卒業生がいないため、同じ情報分野の進路を記載しています。

カリキュラム一覧

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」		
	共通基礎科目「情報リテラシー」	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)	インターフェース科目	
専門教育科目	●理工特別セミナー(半導体概論)	●AIデータサイエンス総合A/B ●理工学サブフィールド	●理工キャリア教育プログラムS, L	
	●微分積分学Ia/IIa ●線形代数学Ia ●コンピュータプログラミング ●データサイエンスI/II ●物理学概説 ●化学概説 ●生物学概説			
専門教育科目	●プログラミング概論I/演習I ●技術文書作成 ●情報数理 ●線形代数学IIa ●計算機アーキテクチャ	●データ構造とアルゴリズムI/II ●データベース ●応用学I/II ●数理統計学/演習 ●情報システム実験 ●ソフトウェア工学 ●人工知能概論/実験 ●連続最適化概論 ●プログラミング概論II/演習II/概論III ●センサプログラミング実験	●情報理論 ●解析学基礎I/II/I/演習/II演習 ●代数学基礎I/II/I/演習/II演習 ●集合・位相I/II/I/演習/II演習 ●オペレーティングシステム ●数値解析 ●自主演習	●データサイエンスコアキウム ●情報社会とセキュリティ ●データサイエンス演習 ●実践データサイエンス ●機械学習 ●ヒューマンデータ分析 ●技術英語 ●数理科学英語 ●並列分散処理 ●マルチメディア情報処理 ●ソフトウェア協同開発実験

※カリキュラム改定中のため、開講科目、配当年次等が変更になる場合があります。

授業紹介

実践データサイエンス



データサイエンスの目的は、データから情報や法則を抽出し、価値の創造や問題の解決に結びつけることです。データサイエンスを支える手法を理論的・実践的に学びます。

データサイエンス演習



実践データサイエンスで扱った例題や課題を、実際にプログラミングしてデータ分析を行うことで技能を習得します。

数理統計学



1年次「データサイエンスI」で学んだ統計的考え方や手法を、ここでは微分積分学・線形代数学といった強固な数学的基盤に立ち、さらに進んだ形で修得します。



詳細情報はこちら



人工知能、画像・音声情報技術、進化する ネットワークとソフトウェアで新しい社会を切り開く

知能情報システムコースでは、急速に進化しつつあるコンピューターによる人工知能処理を支える情報システム構築技術や、現代社会を支えるネットワークおよびソフトウェアの基盤技術について深く、かつ広く学びます。

情報システム構築の基本となるプログラミングなどの知識や技術を体系的に習得すると共に、画像や音声の生成・認識、ディープラーニング、機械学習、ゲーム理論、マンマシンインターフェース、脳科学応用、データサイエンス、情報ネットワーク構築、大規模ソフトウェアの協同開発、インターネット運用管理、情報セキュリティ、認証技術、品質管理手法などに関する技術を講義と演習によって実践的に学びます。

これらの教育を通じて、人工知能、データサイエンス、情報ネットワーク、情報システムに関するエンジニアとして、社会の幅広い活動に関わる人材を育成するコースです。

教員紹介 [数理・情報部門]

- | | | | | |
|-------------------------------|------------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------------|
| 石本 志高 教授
情報・生物・物理融合研究 | 岡崎 泰久 教授
教育工学 | 奥村 浩 教授
環境動態解析 | 中山 功一 教授
知能情報学 | 花田 英輔 教授
医療情報学、病院設備学 |
| 福田 修 教授
知覚情報処理 | 堀 良彰 教授
情報ネットワーク・情報セキュリティ | 松前 進 教授
並列分散処理 | 皆本 晃弥 教授
応用数学・数値解析 | 大谷 誠 准教授
情報ネットワーク・情報セキュリティ |
| 上田 俊 准教授
ゲーム理論、人工知能 | 掛下 哲郎 准教授
情報システム、ソフトウェア工学 | 木村 拓馬 准教授
数値計算法・数理計画 | 高崎 光浩 准教授
ヘルスデータサイエンス | 日永田 泰啓 准教授
計算科学 |
| 廣友 雅徳 准教授
符号・符号理論、情報セキュリティ | 山口 暢彦 准教授
情報学基礎理論 | ヨー ウェンリアング 准教授
ソフトウェア | 大月 美佳 講師
ソフトウェア | 前田 明子 助教
情報ネットワーク |
| 米満 潔 特任講師
教育工学 | | | | |

主な進路(大学院課程修了生を含む)

NTT西日本、NEC、九州電力(株)、エコー電子工業(株)、(株)システムソフト、(株)デンソーテクノ、IT関連企業、AI関連企業、公務員、起業・開業、大学院進学、中学校・高等学校教諭

カリキュラム一覧

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」		
	共通基礎科目「情報リテラシー」	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)	インターフェース科目	
専門教育科目	●理工特別セミナー(半導体概論)	●AIデータサイエンス総合A/B ●理工学サブフィールド	●理工キャリア教育プログラムS, L	
	●微分積分学IaまたはIb ●線形代数学IaまたはIb ●微分積分学IIaまたはIIb ●コンピュータプログラミング ●データサイエンスI/II ●物理学概説 ●化学概説 ●生物学概説			
専門教育科目	●プログラミング概論I/演習I ●技術文書作成 ●情報数理 ●線形代数学IIa ●計算機アーキテクチャ	●プログラミング概論II/演習II/概論III ●センサプログラミング実験 ●データ構造とアルゴリズムI/II ●データベース ●応用数学I/II ●情報システム実験 ●ソフトウェア工学 ●人工知能概論/実験 ●オペレーティングシステム	●情報理論 ●数値解析 ●自主演習	●情報社会とセキュリティ ●情報ネットワーク/実験 ●並列分散処理 ●オブジェクト指向プログラミング ●マルチメディア情報処理 ●信号処理 ●実践データサイエンス ●卒業研究準備演習 ●ソフトウェア協同開発実験

※カリキュラム改定中のため、開講科目、配当年次等が変更になる場合があります。

授業紹介

プログラミング概論I



プログラミングの心構えと基礎手順から始め、基本データ型・変数・入出力・制御構造・ルーチン等へと進めていき、知識と技術を修得します。

人工知能実験



人間の知能をコンピューターで構成することを目的とした人工知能について、講義と実験により理解を深めていきます。

音声情報処理



いろいろな音を聞きながら、音声解析や音声認識の基礎となる信号処理技術を学びます。数式の手計算やコンピューターを使った演習を通して実践力を身に付けます。



詳細情報はこちら



分子を見る、知る、創る

化学コースでは、理工学部発足当初からの「理工融合」の理念に基づき、基礎化学から応用化学までの幅広い知識を身につけることで、化学はもとより、製薬、食品、エネルギー、環境といった社会の幅広い分野で活躍できる人材を育成することを目的としています。

このような人材に必要な知識を体系的に身につけていくために、専門科目の講義を、無機化学、有機化学、物理化学、分析化学、化学工学の5つの分野で構成・配置しています。

また、プロフェッショナルとして課題を発見し、解決する能力、および課題解決につながる協調性と指導力を養うための実験科目も段階的に配置しています。

主な進路(大学院課程修了生を含む)

三菱マテリアル、AGC、横浜ゴム、京セラ、LIXIL、パナソニック、出光興産、メニコン、住友金属鉱山、東洋紡、SUMCO、化学系企業、食品系企業、化学プラント系企業、公務員、中学校・高等学校教諭、大学院進学

教員紹介[化学部門]

海野 雅司 教授 物理化学	大渡 啓介 教授 環境材料・リサイクル	川喜田 英孝 教授 化学工学	高橋 利幸 教授 分析化学	竹下 道範 教授 有機機能物質化学
富永 昌人 教授 電気化学	矢田 光徳 教授 セラミックス	山田 泰教 教授 無機化学	兒玉 宏樹 准教授 環境化学	坂口 幸一 准教授 無機材料・物性
成田 貴行 准教授 ナノマイクロシステム	藤澤 知績 准教授 物理化学	森貞 真太郎 准教授 化学工学	磯野 健一 助教 分析化学	小山田 重蔵 助教 有機化学
米田 宏 助教 無機化学				

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」			
	共通基礎科目「情報リテラシー」	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
専門教育科目	学部共通	インターフェース科目			
	学部共通	●理工特別セミナー(半導体概論)	●AIデータサイエンス総合A/B ●理工学サブフィールド	●理工キャリア教育プログラムS、L	
	専門科目	●微分積分学IaまたはIb ●線形代数IaまたはIb ●物理学概説 ●化学概説 ●生物概説 ●データサイエンスI/II ●微分積分学IIaまたはIIb	●コンピュータプログラミング		
専門科目	●基礎化学A ●基礎化学B ●基礎化学C ●基礎化学D	●無機化学I ●有機化学I ●化学熱力学 ●基礎分析化学 ●化学数学 ●化学実験I ●無機化学II ●高分子化学 ●量子化学	●分析化学 ●基礎化学工学 ●化学実験II	●セラミックス科学 ●有機化学II ●応用物理化学 ●機能分析化学 ●反応器設計論 ●化学実験III ●化学リテラシー(2年次・3年次) ●錯体化学 ●生物化学	●有機構造化学 ●物性物理化学 ●材料物性化学 ●溶液化学 ●移動現象論 ●応用化学工学 ●錯体化学 ●生物化学
専門科目				●卒業研究A/B ●化学者倫理 ●化学技術英語A/B	

※カリキュラム改定中のため、開講科目、配当年次等が変更になる場合があります。

授業紹介

基礎化学工学



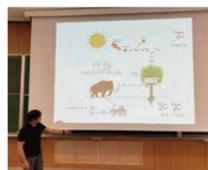
化学工学の基礎として重要な概念である物質収支とエネルギー収支、液体の流れ(流動)および粉粒体操作について理解を深めていきます。

セラミックス科学



セラミックスの製造方法について学ぶとともに、セラミックスの原子レベルおよびマイクロメートルレベルでの構造とそれらに基づく性質や機能について学びます。

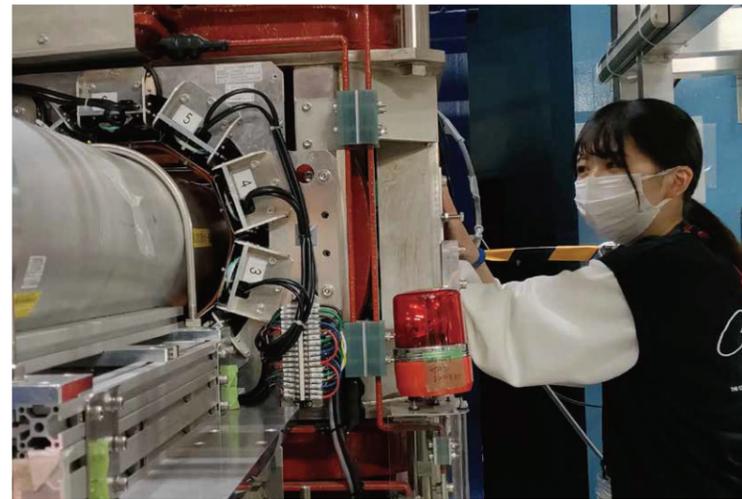
化学熱力学



生命現象の理解に不可欠な化学反応時のエネルギーの変化や平衡を理解するための基本原理について講義します。演習も取り入れてアクティブラーニングも行います。



詳細情報はこちら



自然現象の科学的な解明から、科学技術を支える物理学

物理学は、自然界のしくみを理解し、さまざまな自然現象を科学的に解明することを目指す学問です。その対象は、宇宙、地球、多様な物質、原子、原子核、素粒子とすべての領域に及びます。ニュートンやアインシュタインらが導いた物理法則を基礎として、現在もわくわくするような研究が続いています。また、研究成果は科学技術を支える基盤として役立っています。

物理学コースでは、実験と数学を通して、重力場や電場・磁場による力や、熱や光のはたらきを知り、自然界のしくみを論理的に説明する方法を習得します。さらに量子論や相対論など、現代物理学の基礎となる考え方を学びます。

物理学コースでの学習や研究活動からは、知識とともに、高い考察力と豊かな発想力を身につけることができます。考える力は理工系全般に有効であり、就職後の活動を下支えしてくれるものになります。

主な進路(大学院課程修了生を含む)

インターネットイニシアティブ、極東産機株式会社、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、佐賀電算センター、IT関連企業、電機メーカーなど、中学校・高等学校教諭、公務員、大学院進学

教員紹介[物理学部門]

船久保 公一 教授 宇宙論	河野 宏明 教授 素粒子・原子核	鄭 旭光 教授 物性物理学	青木 一 教授 素粒子・原子核
真木 一 教授 物性物理学	橋 基 教授 天体核理論	高橋 智 教授 宇宙論	石渡 洋一 准教授 物性物理学
房安 貴弘 准教授 素粒子・原子核	山内 一宏 准教授 物性物理学	菊地 真吏子 准教授 素粒子・原子核	

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」			
	共通基礎科目「情報リテラシー」	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
専門教育科目	学部共通	インターフェース科目			
	学部共通	●理工特別セミナー(半導体概論)	●AIデータサイエンス総合A/B ●理工学サブフィールド	●理工キャリア教育プログラムS、L	
	専門科目	●微分積分学IaまたはIb ●線形代数IaまたはIb ●物理学概説 ●化学概説 ●生物概説 ●データサイエンスI/II	●コンピュータプログラミング		
専門科目	●微分積分学IIa/IIb ●基礎力学 ●コンピュータプログラミング ●データサイエンスII ●線形代数II ●基礎物理学	●物理学A ●物理学B ●物理学C ●解析力学I ●熱力学 ●流体力学 ●解析力学II ●電磁気学I ●基礎統計学I ●物理学実験A	●物理学D ●計算機物理学 ●電磁気学II ●サイエンスリテラシー-I	●量子力学I ●基礎統計学II ●宇宙物理学 ●固体物理学 ●国体論 ●物理学実験B ●放射線物理学 ●量子力学II ●統計学 ●電磁気学III	●相対論 ●物性物理学 ●電磁気学IV ●サイエンスリテラシー-II
専門科目				●卒業研究 ●科学英語	

※カリキュラム改定中のため、開講科目、配当年次等が変更になる場合があります。

授業紹介

宇宙物理学



ビッグバン宇宙論の観測的根拠が何か、また、最新の観測から密度パラメータが決定される過程や元素合成の理論の概要などについて理解します。

物理学実験A



力学、熱力学、電磁気学、原子物理学、固体物理学の中の基礎的で重要な実験を行い、種々の物理量の測定方法とそこにあるアイデアを学びます。

電磁気学II



導体と静電場、定常電流および静磁場について学びます。講義の中で演習問題にも取り組み、電磁気学について理解を深めていきます。



詳細情報はこちら



産業分野の開発・設計・生産 (ものづくり)の基盤となる機械工学

機械工学コースでは、さまざまな産業分野での開発、設計、生産とそれらのシステムにおいて必要となる機械工学分野の専門的素養を持ち、ものづくりに強い機械工学技術者として幅広い分野で活躍できる人材を養成します。

そのために、材料力学、熱力学、流体力学、機械力学をはじめとした機械工学の専門知識はもとより、幅広い教養と関連領域における専門的な基礎知識、さらにはものづくりに関連した応用力や課題解決能力を身に着的教育を体系的に行います。

教員紹介 [機械工学部門]

池上 康之 教授 エネルギー学	佐藤 和也 教授 制御・システム工学	只野 裕一 教授 機械材料・材料力学	萩原 世也 教授 機械材料・材料力学	服部 信祐 教授 機械材料・材料力学	長谷川 裕之 教授 複合材料・表面工学
松尾 繁 教授 流体工学	木上 洋一 教授 流体工学	宮良 明男 教授 熱工学	光武 雄一 教授 熱工学	吉田 茂雄 教授 風車工学	武富 紳也 教授 機械材料・材料力学
カーン タウヒドゥル 准教授 知能機械学	イスラム 准教授 知能機械学	泉 清高 准教授 知能機械学	今井 康貴 准教授 船舶海洋工学	大島 史洋 准教授 設計工学	飯屋 圭史 准教授 熱工学
塩見 憲正 准教授 流体工学	住 隆博 准教授 流体工学	有馬 博史 准教授 熱工学	橋本 時忠 准教授 生体医工学	馬渡 俊文 准教授 設計工学	村上 天元 准教授 流体工学
森田 繁樹 准教授 構造・機械材料	鶴 若菜 准教授 熱工学	石田 賢治 講師 熱工学	佐藤 善紀 助教 設計工学	サンティアゴ ガリシア エドガー 助教 熱工学	
椿 耕太郎 助教 熱工学	林 喜章 助教 リハビリテーション科学	齋田 智香子 助教 機械材料・材料力学			

主な進路 (大学院課程修了生を含む)

三菱電機、三菱重工業、本田技研工業、九州電力、エネルギープラント関連企業、輸送用機械関連企業、電機メーカーなど、公務員、大学院進学

カリキュラム一覧

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」		
	共通基礎科目「情報リテラシー」		基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)	
学部共通	●理工特別セミナー(半導体概論)	●AI・データサイエンス総合A/B ●理工学サブフィールド	●理工キャリア教育プログラムS, L	
	●微分積分学IaまたはIb ●線形代数学IaまたはIb ●物理学概説 ●化学概説または生物学概説 ●データサイエンスI/II ●微分積分学IIaまたはIIb ●コンピュータプログラミング			
専門教育科目	●創造工学入門 ●工業力学 ●機械工作 ●機械数学基礎 ●機械製図基礎	●機械数学応用 ●ペナル解析学 ●機械材料 ●機械工作実習II ●流体工学 ●機械熱力学 ●材料力学 ●機械要素設計図 ●実用英語基礎I ●実用英語基礎II ●機械工作実習I	●科学技術英語 ●機械エネルギー工学実験 ●数値計算法 ●CAD・プログラミング演習 ●流体エネルギー工学 ●伝熱工学 ●固体力学 ●トライブロジ-概論 ●材料強度学 ●計測工学	●ロボット工学 ●生産システム概論 ●工学者の倫理 ●機械システム工学実験 ●創造工学演習 ●圧縮性流体力学 ●資源エネルギー概論 ●応用熱力学 ●材料強度学 ●マニファクチャリングプロセス
		●現代制御 ●機械実学PBL ●機械工学インターンシップ		●卒業研究

※カリキュラム改定中のため、開講科目、配当年次等が変更になる場合があります。

授業紹介

数値計算法



解析的解法に並ぶ主要な計算方法である電子計算機を用いた数値解法(数値計算)など、各種数学的解法の数値的な計算法について講義します。

固体力学



さまざまな機械の設計や性能評価において不可欠な、固体材料の変形挙動を理解するための力学を修得すると共に、その具体的な活用方法も学びます。

現代制御



ロボットなどに代表される現代のより複雑な機械システムの制御に用いる現代制御理論における重要な、各種光デバイスの構造、物性について学びます。



詳細情報はこちら



超スマート社会に向けて限りなく広がる電気電子工学のフィールド

電気電子工学コースでは、電気電子工学に関する高度な専門知識と技術に加え、広い視野と的確な判断力を備え、他者と協力しながら地域社会、国際社会、産業界などで活躍できる人材の育成を目指します。

そのため、電磁気学、電気回路、電子回路といった基礎科目に加え、半導体、プログラミング、システム制御、パワーエレクトロニクスなどの応用分野についても幅広く学修します。

さらに、電気電子工学分野のプロフェッショナルとして求められる、課題を発見・解決する力に加えて、協調性やリーダーシップも養成します。演習や実験を通じて、チームでの作業や問題解決型学習に取り組み、主体的な行動力や他者との円滑なコミュニケーション能力を身につけます。

教員紹介 [電気電子工学部門]

伊藤 秀昭 教授 人工知能	大石 敏之 教授 電子デバイス	大津 康徳 教授 プラズマエレクトロニクス	郭 其新 教授 電子・電気材料工学	木本 晃 教授 計測工学	後藤 聡 教授 制御・システム工学
杉 剛直 教授 生体医工学	田中 徹 教授 電子・電気材料工学	村松 和弘 教授 電力工学	猪原 哲 准教授 電力工学	江口 正徳 准教授 半導体デバイス	田中 高行 准教授 電子デバイス
堂 蘭 浩 准教授 ソフトコンピューティング	西山 英輔 准教授 通信・ネットワーク工学	原 重臣 准教授 電力工学	福本 尚生 准教授 電力工学	松田 吉隆 准教授 制御・システム工学	三沢 達也 准教授 プラズマエレクトロニクス
今村 真幸 助教 表面界面ダイナミクス	王 瑞敏 助教 生体医工学	齋藤 勝彦 助教 電子・電気材料工学	サハ・ニロイ・チャンドラ 助教 半導体工学		

主な進路 (大学院課程修了生を含む)

九州電力、東京電力、NTT西日本、戸上電機製作所、ソニーセミコンダクタマニファクチャリング、東京エレクトロン、日本電気、SUMCO、Cygames、エネルギー関連企業、情報通信関連企業、電気電子関連企業、公務員、大学院進学など

カリキュラム一覧

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」		
	共通基礎科目「情報リテラシー」		基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)	
学部共通	●理工特別セミナー(半導体概論)	●AI・データサイエンス総合A/B ●理工学サブフィールド	●理工キャリア教育プログラムS, L	
	●微分積分学Ib ●線形代数学Ib ●物理学概説 ●化学概説 ●生物学概説 ●データサイエンスI/II	●微分積分学IIb ●コンピュータプログラミング		
専門教育科目	●電気回路I ●電気系基礎数学 ●電気系基礎物理 ●コンピュータリテラシー	●電気回路II ●工学系電磁気学I ●微分方程式 ●基礎電子回路 ●電気電子工学実験I ●複素関数論 ●電気回路III ●工学系電磁気学II ●半導体デバイス工学	●応用電子回路 ●プログラミング論 ●電気電子工学実験II ●電気電子材料学 ●論理回路 ●電気系基礎力学 ●電子計測	●工学系電磁気学III ●パワーエレクトロニクス ●システム制御学 ●電気電子工学実験III ●電気機器学 ●プラズマエレクトロニクス ●電気設計学 ●オプトエレクトロニクス ●エネルギーシステム工学 ●技術者倫理
				●卒業研究

※カリキュラム改定中のため、開講科目、配当年次等が変更になる場合があります。

授業紹介

オプトエレクトロニクス



光デバイスで使用される半導体の光物性の基礎を学んだ後、半導体による発光・受光の基本原理、各種光デバイスの構造、物性について学びます。

システム制御学



生活や産業などで使われる様々な機器・システムを自動制御するための設計法、また基礎となる数学や具体的な社会実装例について学びます。

電気電子工学実験I~IV



講義で学んだ理論や原理を実験して確認します。基礎的な実験や測定器の使用法、マイコンを用いた応用的な実験などチーム作業を中心に行います。



詳細情報はこちら



これからの安全・安心で快適な都市の基盤づくりを学びませんか？

都市基盤工学コースでは、安全・安心で豊かな地域社会の構築に貢献できる技術者の養成を目指します。そのために必要な数理的能力やコミュニケーション能力のほか、建設構造学、建設地盤工学、環境システム工学、および都市・社会システム学などの都市基盤工学分野の専門知識を体系的に学びます。また、人口減少・少子高齢化の状況下における持続社会の実現、気候変動等による災害外力の増大への対策、社会基盤施設の老朽化とその維持管理、環境に配慮した社会づくりなど、現代社会が直面する課題を都市基盤工学が有する専門技術によって解決できる能力を育成するための教育研究を行います。

教員紹介 [都市工学部門]

- | | | | |
|---------------------------------|----------------------|------------------------------|------------------|
| 伊藤 幸広 教授
建設材料学 | 大串 浩一郎 教授
水工学 | 押川 英夫 教授
水工学 | 帯屋 洋之 教授
構造工学 |
| 日野 剛徳 教授
地盤工学 | 山西 博幸 教授
土木環境システム | 猪八重 拓郎 准教授
土木計画学 | |
| ウォンタナーストーン・ナルモン 准教授
土木環境システム | | モハマド・ニザム・ビン・ザカリヤ 准教授
構造工学 | |
| 李 海峰 准教授
建築環境・設備 | 根上 武仁 講師
地盤工学 | 三島 悠一郎 講師
土木環境システム | |

主な進路 (大学院課程修了生を含む)

三井住友建設(株)、前田建設工業(株)、松尾建設(株)、(株)建設技術研究所、西日本旅客鉄道(株)などのゼネコン(土木施工)・総合建設コンサルタント・土木工学関連企業、公務員、大学院進学など

カリキュラム一覧

	1年次	2年次	3年次	4年次		
教養教育科目	大学入門科目					
	共通基礎科目「英語」					
専門教育科目	共通基礎科目「情報リテラシー」					
	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)					
専門教育科目	インターフェース科目					
	<ul style="list-style-type: none"> 理工特別セミナー(半導体概論) 微分積分学IaまたはIb 線形代数IaまたはIb 物理学概説 化学概説または生物学概説 データサイエンスI/II 微分積分学IIaまたはIIb コンピュータプログラミング 	<ul style="list-style-type: none"> AI-データサイエンス総合A/B 理工学サブフィールド 	<ul style="list-style-type: none"> 理工キャリア教育プログラムS, L 			
専門教育科目	<ul style="list-style-type: none"> 建設力学基礎 建設材料学 空間設計基礎 測量学および実習 現代建築とデザイン 建築環境デザイン学入門 	<ul style="list-style-type: none"> 工業数学I 構造力学Iおよび演習 地盤工学I 水理学および演習 都市計画 鉄筋コンクリート工学 技術者倫理 建設技術総合演習(通年) 建築環境工学I 基礎設計製図演習 	<ul style="list-style-type: none"> 構造力学IIおよび演習 地盤工学II 水理学II 水環境システム工学 建設生産システム分析 環境衛生工学 産業物質資源循環工学 居住環境計画 建築空間史A 	<ul style="list-style-type: none"> 都市基盤工学実験 構造-材料実験演習 地盤工学演習 工業数学II 環境衛生工学 教育構造学 都市工学インターンシップ 地域・建築保全再生学 	<ul style="list-style-type: none"> 建築環境デザインユニット演習 地盤工学 構造力学 流域水工学 都市防災工学 建設プロジェクト演習 建築法制度とデザイン 構造解析学 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究
	卒業研究					

※カリキュラム改定中のため、開講科目、配当年次等が変更になる場合があります。

授業紹介

建設プロジェクト演習



受講生が自ら課題を設定し、調査を通じて解決策を提案するプロジェクト型講義です。実践を通じて知識を深め、課題解決能力を養います。

都市基盤工学ユニット演習



都市基盤工学関連に必要な知識と分析能力を身に付けるため、構造系、地盤系、水環境系、都市・環境系より分野を選択し実際の調査・設計への適用を学びます。

構造力学演習



土木・建築技術者にとって必要不可欠な構造力学の知識と運用能力を身に付けるため、講義と演習の反復によって基礎の基礎から徹底的に鍛え上げます。



詳細情報はこちら



地域の気候・風土・歴史・文化をふまえて、建築と都市の環境をデザインする

建築環境デザインコースでは、建築およびその周辺環境のあり方を創造的に提示することで社会の広い分野で活躍できる人材の養成を目指します。そのため基礎学力の向上とコミュニケーション能力、美的感性を養うと同時に、建築デザイン学・建築環境工学などの建築環境デザイン分野の専門知識について体系的に学びます。また、超人口減少社会などに伴って需要が増えつつある空き家・空き地の利活用、都市空間の改善のほか、歴史的環境や自然環境の再生、気候変動に対する環境保全・防災などの現代社会の課題に対応した建築や都市のあり方について理解を深めるとともに、持続可能な地域再生につながる建築都市空間の計画設計に関する教育研究を行います。

教員紹介 [都市工学部門]

- | | | | |
|---------------------|------------------------|-----------------------|------------------------------|
| 小島 昌一 教授
建築環境・設備 | 後藤 隆太郎 教授
建築計画、集落計画 | 三島 伸雄 教授
都市計画・建築計画 | 中大窪 千晶 准教授
建築環境・設備 |
| 萬玉 直子 准教授
建築デザイン | 宮原 真美子 准教授
建築計画 | 淵上 貴由樹 助教
建築史・意匠 | デルベル・モハメド・ラミ 助教
建築計画 |
| 伊藤 幸広 教授
建設材料学 | 帯屋 洋之 教授
構造工学 | 猪八重 拓郎 准教授
土木計画学 | モハマド・ニザム・ビン・ザカリヤ 准教授
構造工学 |
| 李 海峰 准教授
建築環境・設備 | | | |

主な進路 (大学院課程修了生を含む)

(株)大林組、(株)竹中工務店、大和ハウス工業(株)、高砂熱学工業(株)などの建築設計事務所・ゼネコン(建築施工)・ハウスメーカー・建築設備関連企業、公務員、大学院進学など

カリキュラム一覧

	1年次	2年次	3年次	4年次		
教養教育科目	大学入門科目					
	共通基礎科目「英語」					
専門教育科目	共通基礎科目「情報リテラシー」					
	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)					
専門教育科目	インターフェース科目					
	<ul style="list-style-type: none"> 理工特別セミナー(半導体概論) 微分積分学IaまたはIb 線形代数IaまたはIb 物理学概説 化学概説または生物学概説 データサイエンスI/II 微分積分学IIaまたはIIb コンピュータプログラミング 	<ul style="list-style-type: none"> AI-データサイエンス総合A/B 理工学サブフィールド 	<ul style="list-style-type: none"> 理工キャリア教育プログラムS, L 			
専門教育科目	<ul style="list-style-type: none"> 建設力学基礎 空間設計基礎 建設材料学 現代建築とデザイン 測量学および実習 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎設計製図演習 建築環境工学I 構造力学演習Iおよび演習 都市計画 技術者倫理 水理学Iおよび演習 工業数学I 鉄筋コンクリート工学 建設技術総合演習(通年) 	<ul style="list-style-type: none"> 建築都市デザイン演習I 居住環境計画 建築空間史A 建築環境工学II 建設生産システム分析 産業物質資源循環工学 構造力学IIおよび演習 環境衛生工学 鉄筋コンクリート構造設計 	<ul style="list-style-type: none"> 地域・建築保全再生学 建築都市デザイン演習II 地域施設計画 建築空間史B 建築環境工学演習II 構造-材料実験演習 工業数学II 建築法制度とデザイン 構造力学 鉄骨構造学 	<ul style="list-style-type: none"> 都市解析演習 環境衛生工学 都市工学インターンシップ 建築環境デザインユニット演習 都市基盤工学ユニット演習 構造解析学 建築法制度とデザイン 構造力学 都市防災工学 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究
	卒業研究					

※カリキュラム改定中のため、開講科目、配当年次等が変更になる場合があります。

授業紹介

建築環境デザインユニット演習



建築都市空間の計画・デザイン能力を高めるために、実在する敷地を対象地とし、周辺環境も含めた建築設計を実践的に学びます。

都市解析演習



地理情報システム(GIS)の基本操作と各種地理情報の検索・収集について学び、総合課題でさまざまな都市解析を行って学びを深めます。

建築環境工学演習II



快適な空間を維持するために必要な空調設備を中心に、給排水衛生設備、建築電気設備等の建築設備設計の実務に関する基礎的事項を学びます。

暮らしを豊かにする

地域創生の

チカラを身につける。

Faculty of Agriculture

農学部

生物資源科学科

- ▶ 生物科学コース
- ▶ 食資源環境科学コース
- ▶ 生命機能科学コース
- ▶ 国際・地域マネジメントコース

生物科学コース
塚元 あすか 長崎県 杏岐高等学校出身

〈学部の特徴〉

21世紀は、人類が大量生産・大量消費・大量廃棄型社会から循環型社会へと大転換する時代です。「食料」「生命」「環境」「情報」「エネルギー」および「地域社会」等どれをとっても、今ほど人類がその重要性を強く意識した時代はないでしょう。そして、これらの課題こそ農学が得意とするところであり、時代は農学の発展を必要としています。農学は、理系から文系にわたる分野を含む、基礎から応用に及ぶ総合科学です。農学部には、「食料」「生命」「環境」「情報」「エネルギー」および「地域社会」を対象とするさまざまな教育研究分野が揃っています。本学部だけでミニ総合大学といっても過言ではありません。入学すれば皆さんの希望する分野がきっと見つかるでしょう。

■ 教育目的

農学部では、農学および関連する学問領域において、多様な社会的要請に応える深い専門性と幅広い素養を身に付け、国内外での農学および関連産業の発展に貢献する人材を養成することを目的とします。

アドミッション
ポリシーはこちら



■ 在学生インタビュー



食品や化粧品の開発に携わり 人を元気づけ、笑顔にする仕事がしたい。

農業だけでなく、食品、化粧品、薬などの幅広い分野を学べることから農学部を希望しました。実際に入学してから、興味を持った分野のコースを選択できる点にも魅力を感じました。私は生命機能科学コースを選択。食品化学、食品衛生学、分子生物学、栄養化学などを学び、食品衛生管理者と食品衛生監視員の資格取得も可能です。また、たくさんの友だちと出会ったことで自分自身の成長も感じています。入学時には夢や目標が定まっていなかったのですが、2年間の講義を通して食品や化粧品の開発に興味を持つようになり、研究職を目指したいと考えようになりました。そのためにも、まずは大学院への進学が目標です。

生命機能科学コース
副島 加蓮 長崎県 佐世保北高等学校出身

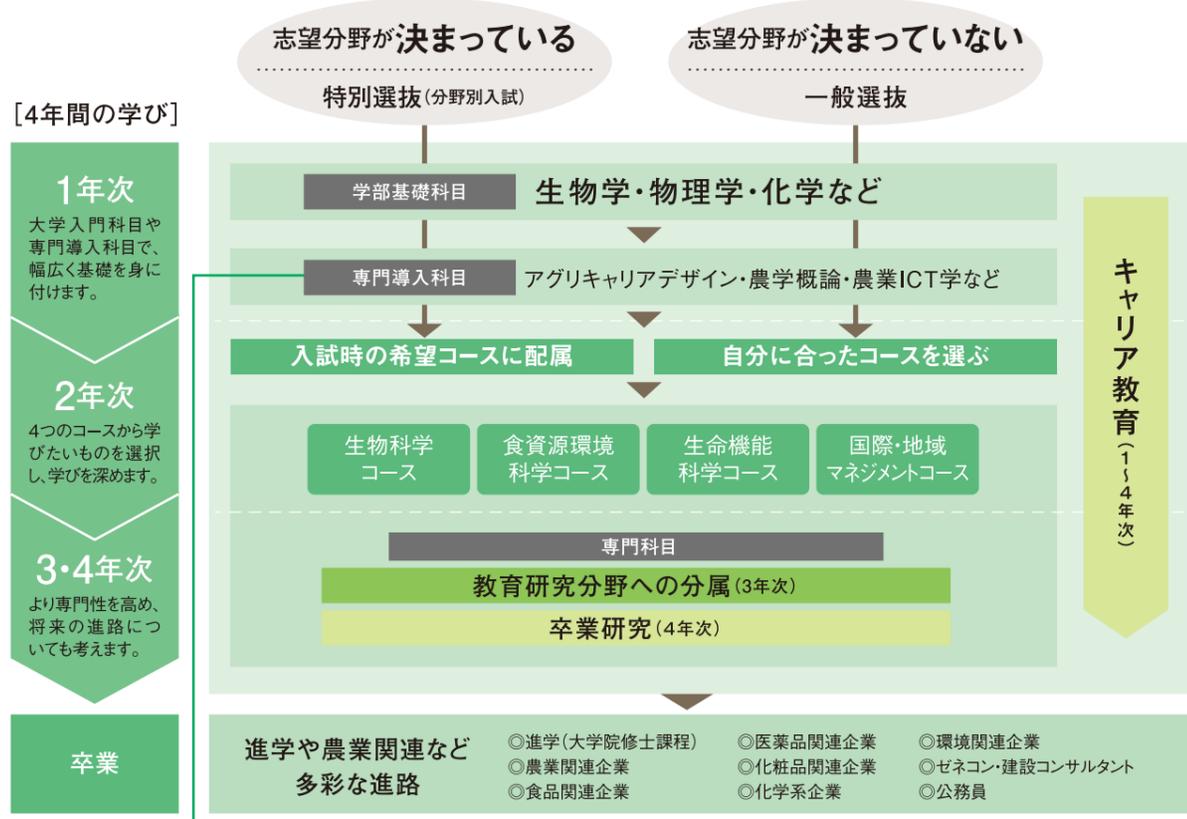
インタビュー動画も
ご覧いただけます



充実の設備で実践学習 体験し、学び、身につける

01 1年次に各専門科目の基礎を学びながら 自分の希望コースをじっくり選択

農学部には「食料」や「生命」「環境」「情報」「エネルギー」および「地域社会」など、それぞれ特色が異なるさまざまな研究分野があります。そこで、まず1年次に農学の基礎科目である生物学、物理学、化学を必修とし、深い専門性を身に付ける素地を構築。専門導入科目で農学に関する基礎知識を幅広く十分に修得したうえで、2年次の専門コース選択へと進みます。



KEY POINT
専門導入科目
 1年次の後学期から始まるカリキュラム。前学期で基礎を十分に修得したうえで、各専門科目の導入部分に触れていきます。2年次から始まる専門コースの教育に必要な幅広い素養を身に付けるとともに、各コースでどのようなことが学べるのかをあらかじめ知ることによって、コース選択の際に確かなマッチングが行えるようになります。

02 佐賀県を代表する「ノリ」「大豆」や「米」を 研究する地域特化型農水産研究

佐賀県域の農水産物生産や利用技術等をより高度にしていこうとする試みが、地域特化型農水産研究開発です。さまざまな問題を抱える地域の農・水産業の課題解決・発展を図ることを目的としています。佐賀県の主力農産物のひとつである米や大豆についての研究を進め、佐賀大学発の農産物ブランド化戦略を行っているほか、水産学では水産物の高品質・安定生産を目指して、ノリや二枚貝等の遺伝子解析や代謝解析を実施。佐賀県のノリを中心とした水産物を振興するため、ノリ研究に特化した人材の育成・輩出も行っています。佐賀県が誇る農水産物をさまざまな角度から研究することで、地域の発展に寄与します。



03 「米」や「大豆」の品種改良の取り組み 自分たちでオリジナル品種の開発も

多様化する消費者ニーズに対応するために、米や大豆などのオリジナル品種の育成を目指して、学生自ら育種技術の開発や栽培技術の開発に取り組めます。附属アグリ創生教育研究センターで、実際にフィールド研究や遺伝子解析を応用した先端的な研究を行うことで、実践的な力も身に付けることができます。



農学部開発のオリジナル品種・商品

計画・実行・評価・改善を
繰り返して育てる「オリジナルダイズ」

遺伝資源を活用した画期的品種の育成を目指し、機能性ダイズ品種の開発に着手。栽培試験やデータ解析、植物工場におけるコストと生産物品質の検証、その後さらに改善を繰り返して、独自性が高い高付加価値なブランド品種育成に取り組んでいます。



佐賀大学ブランドとして
親しまれている清酒「悠々知酔」

毎年、地元の酒造会社と協力して行う佐賀大学ブランドの清酒。原料の米選びから酒造会社との打ち合わせまで農学部の生徒が主体となって行います。「The SAGA認定酒」として一般の方にも販売されており、毎年多くの人々から好評をいただいています。



04 広いフィールドから 最新鋭の植物工場まで完備

生物資源教育研究センター / アグリファシリティ部門



久保泉
キャンパス

圃場を利用して作物や果樹の栽培研究を実践的に学習。広いフィールドを使っでの農業学習のほか、食品加工などのプログラムにも取り組めます。



唐津
キャンパス

種々の天然資源に含まれる機能性成分を研究。唐津キャンパスでは、様々な天然資源から、人間の健康に資する成分の解析を進めています。



本庄
キャンパス

最新の施設生産技術を学ぶ植物工場。農業新時代に対応するために開設された太陽光型植物工場。先端農業に触れられる実習施設です。

■ 教員紹介

- 後藤 文之 教授 施設園芸学
- 上埜 喜八 准教授 作物生産学
- 江原 史雄 准教授 動物行動管理学
- 川添 嘉徳 准教授 ケミカルバイオロジー
- 福田 伸二 准教授 アグリ資源開発学
- 松本 雄一 准教授 機能性植物資源学



株式会社オプティム
PTSサービス開発部・
PTSサービス開発ユニット
當間さん
生物資源科学科 2023年3月卒業
[業務内容]
Webエンジニアとしてシステム設計やプログラミングに携わります。

学生時代に学んだ技術も経験も活かしている。 農業分野のDX化に貢献できる人材を目指して。

現在私はITエンジニアとして、農業をドローンで適期に散布するためのシステム開発に携わっています。このシステムは防除作業を効率化し、農業散布の効果を最大限にすることを目的としています。学生時代にプログラミングに触れた経験は、入社後のシステム開発業務をスムーズに始める上で非常に役立ちましたし、研究活動の経験、卒論をまとめる過程で培った論理的な思考力は、現在の仕事の大きな支えとなっています。さらに、大学生活で一番印象に残っているサークル活動で培った協調性や問題解決能力もまた、現在の業務に非常に役立っています。現在携わっている農業分野ではDX化が進んでいますが、まだまだ多くの課題があります。私はこれからも現場の声に耳を傾けながら、技術を通じて社会の課題解決に貢献できる人材になりたいと考えています。





詳細情報はこちら



生物資源を活用し、 新たな農産物・品種を開発

地域の特色ある生物資源を活用した高付加価値の新規農産物や新品種の開発、効率的で収益性の高い農産物生産技術の開発、また多様な生物と環境との関わりや、新たな機能性を持つ生物素材の産業利用に関する教育研究を行っています。食用植物や園芸・薬用植物、植物病原菌、共生微生物、ウイルス、昆虫、線虫や哺乳類など多様な生物を取り扱い、生物資源の開発と応用に関する幅広い学問分野をカバーしています。フィールドワークや豊富な実験が組み込まれたカリキュラムで学ぶことにより、遺伝子や細胞レベルから、個体レベル、さらには生物間相互作用を基本とする生態系レベルまで、幅広い内容の専門知識と先端技術を修得することができます。

主な進路

〈就職先〉
公務員(福岡労働局、九州経済産業局、佐賀県庁、福岡県庁、熊本県庁、兵庫県庁、鹿児島市役所)、あじかん、(株)えひめ飲料、ジェイエイ北九州、日本香堂、いなほ食品、九州シー・アイシー、(独)農研機構、第一三共ケミカルファーマ、新日本科学、久原本家 他

〈進学先〉
大学院進学(佐賀大学大学院など)



詳細情報はこちら



地球規模の課題に向き合い、 解決へと導く実践力を養う

環境保全・エネルギー・農業生産システムに関する先端技術の開発と利用は、地球規模に値する重大かつ重要な課題です。食資源環境科学コースは、これらの課題を解決するための教育、研究を行うことで、地域社会からの需要に応える農業の技術革新を先導し、地域の農業基盤を根底から支えることを目標としています。そのために農業機械・植物工場・コンピュータや通信等のICT技術や農業工学、また食品研究から土壌や環境水の分析化学等、さまざまな農業生産に関する先端技術を幅広く学ぶ機会を提供し、地域の農業現場をしっかりとリードする実践力を確実に養成していきます。なお、このコースは農学部における高等学校理科教員免許の主コースとなっています。

主な進路

〈就職先〉
公務員(九州農政局、佐賀県庁、長崎県庁、福岡県庁、山口県庁、鳥栖市役所、教諭(中学・高校)) / 民間((株)三祐コンサルタンツ、サンスイコンサルタント(株)、(株)竹中土木、井関農機(株)、(株)OPTIM)

〈進学先〉
大学院進学(佐賀大学大学院、九州大学大学院など)

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	大学入門科目			
	共通基礎科目「英語」	共通基礎科目「英語」			
	共通基礎科目「情報リテラシー」	共通基礎科目「情報リテラシー」			
	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
		インターフェース科目			
学部基礎科目	●生物学	●基礎数学			
	●物理学	●基礎統計学			
	●化学				
専門教育科目	●アグリキャリアデザイン	●生物学	●生物統計学		
	●農学概論	●生物化学	●農業経済学		
	●農学ICT学	●栽培学	●食品科学		
		●土壌学			
専門教育科目	●生物学概論I-II	●食作物学	●植物代謝解析学実験I-II	●作物学実験I-II	●卒業研究
	●応用動物昆虫学	●植物育種学	●果樹園芸学実験I-II	●遺伝資源フィールド科学実験I-II	●生物科学演習I-II
	●植物生理学	●植物病理学	●熱帯作物改良学実験I-II	●科学英語	
	●遺伝学	●畜産学	●蔬菜花卉園芸学実験I-II	●食品化学	
	●園芸学	●行動生態学	●植物分子育種学実験I-II	●動物飼養管理	
	●生物学実験	●植物栄養学	●動物資源開発学実験I-II	●農業気象学	
	●フィールド科学基礎実習I-II	●熱帯作物学	●植物病理学実験I-II	●農薬シスエスエス/シエム/シエム	
	●群集生態学	●蔬菜花卉園芸学	●線虫学実験I-II	●分子遺伝学	
	●昆虫学	●応用生物学実験	●昆虫学実験I-II	●有機化学	
	●線虫学	●応用化学実験 など	●生態学実験I-II	●微生物学 など	

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	大学入門科目			
	共通基礎科目「英語」	共通基礎科目「英語」			
	共通基礎科目「情報リテラシー」	共通基礎科目「情報リテラシー」			
	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
		インターフェース科目			
学部基礎科目	●生物学	●基礎数学			
	●物理学	●基礎統計学			
	●化学				
専門教育科目	●アグリキャリアデザイン	●生物学	●生物統計学		
	●農学概論	●生物化学	●農業経済学		
	●農学ICT学	●栽培学	●食品科学		
		●土壌学			
専門教育科目	●環境基礎解析学I-II	●環境水理学II	●昆虫学	●卒業研究	
	●応用力学	●環境水理学I	●園芸学	●食資源環境科学演習	
	●応用力学演習	●環境水理学演習II	●地球環境学	●農業工学総合演習	
	●生産情報処理学	●環境水理学演習I	●有機化学		
	●農業水理学	●農業生産機械学	●分析化学		
	●農業食品流通貯蔵学	●農産物貯蔵学	●物理化学		
	●フィールド科学基礎実習I-II	●食養化学	●地盤環境学II		
	●栽培環境制御学	●食品化学	●農科環境計画学		
	●生化学	●植物栄養学	●食資源科学演習		
	●遺伝学		●実験水気環境学		
			●海洋環境学		
			●生物有機化学		
			●インターシップ S-L など		

授業紹介

応用動物昆虫学



昆虫、線虫、ダニなどの発育と個体数を制御して被害を軽減する方法を理解するための基礎として、これらの動物の生理・生態について学びます。

果樹園芸学

果樹を含む園芸作物全般の生理現象について講義し、果樹の品種、分類、遺伝・育種、栽培生理、健康機能性成分について理解を深めます。

動物繁殖生理学

生命の連続性を理解するために哺乳動物における生殖現象の基礎を学び、当該分野において開発された技術の社会での活用について理解します。

教員紹介

- | | | | |
|----------------------|-----------------------------|----------------------|---------------------|
| 一色 司郎 教授
蔬菜花卉園芸学 | 草場 基章 教授
植物病理学 | 古藤田 信博 教授
果樹園芸学 | 後藤 文之 教授
施設園芸学 |
| 鈴木 章弘 教授
作物生態生理学 | 辻田 有紀 教授
蔬菜花卉園芸学 | 鄭 紹輝 教授
熱帯作物改良学 | 徳田 誠 教授
システム生態学 |
| 山中 賢一 教授
動物資源開発学 | 吉賀 豊司 教授
線虫学 | 上基 喜八 准教授
作物生産学 | 江原 史雄 准教授
動物行動管理 |
| 西田 翔 准教授
植物栄養学 | 福田 伸二 准教授
アグリ資源開発学 | 藤田 大輔 准教授
熱帯作物改良学 | 松本 雄一 准教授
機能性植物学 |
| 渡邊 啓史 准教授
植物遺伝育種学 | カミスイルサイド アイマン 助教
システム生態学 | | 下村 彩 助教
作物生態生理学 |

授業紹介

農産食品流通貯蔵学



青果物に含まれる栄養成分の種類と性質を知り、その品質維持を図るために必要な選別、洗浄、包装、貯蔵、輸送技術などについて学びます。

干潟環境学

有明海の干潟をフィールドケースに、干潟を取り巻く沿岸域の水環境や干潟の生態系と物質循環について学び、干潟の保全とワイズユースについて理解を深めます。

応用力学・同演習

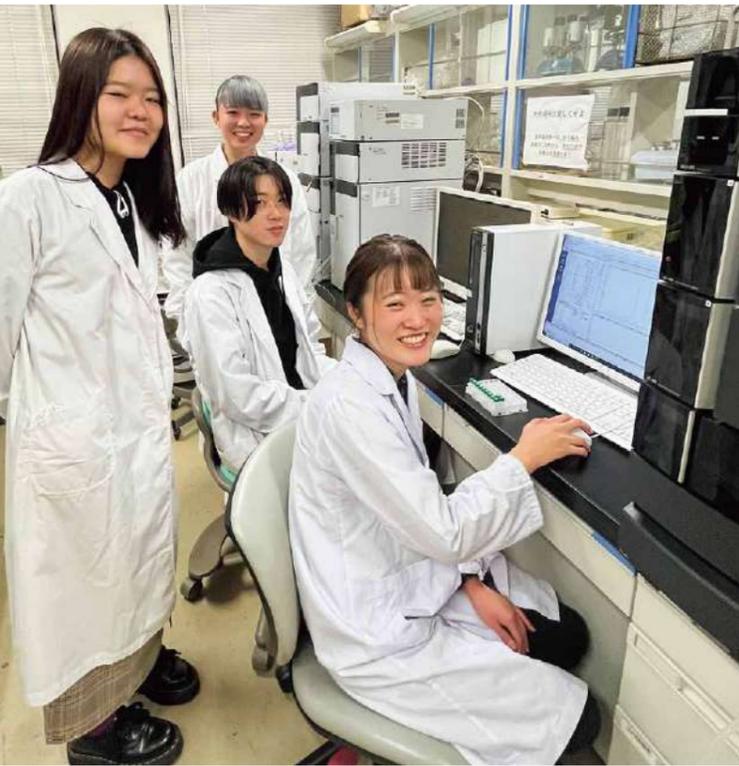
農業のための土地・水の管理や環境保全(防災など)において、重要な施設・構造物や装置があります。これらの設計・改修に必要な知識について学びます。

教員紹介

- | | | |
|----------------------|-----------------------------|------------------------|
| 近藤 文義 教授
環境地盤学 | 田中 宗浩 教授
農業環境・情報工学 | 弓削 ござえ 教授
灌漑科学 |
| 阿南 光政 准教授
水資源環境学 | 稲葉 繁樹 准教授
農業(農産)機械学・情報科学 | 上野 大介 准教授
におい・環境化学 |
| 郡山 益実 准教授
浅海干潟環境学 | 出村 幹英 准教授
微生物学 | 徳本 家康 准教授
農業環境・情報工学 |
| 速水 祐一 准教授
沿岸海洋学 | 宮本 英揮 准教授
地域環境工学・計画学 | |



詳細情報はこちら



生命科学を理解し、科学的に思考できる人材を育成

生化学や分子生物学を基礎として、微生物からヒトにわたる幅広い生物の生命現象のしくみや機能の解明を行うとともに、それらを活用した食品機能の追求と開発、食品の安全性、バイオマスの利用について教育と研究を行うコースです。多様な生物の生命現象を分子レベルで解明するとともに、生物資源を持つユニークな機能を開発・利用することを目的に教育と研究を行います。生体における遺伝子発現や物質代謝とそれらの調節機構、食品の生体調節機能・栄養機能・物性や安全性について、基礎から専門に至る積み上げ方式で教育を行います。また、多様な生物の生命現象の解明、バイオテクノロジーを駆使した生物機能の改良と有用物質生産システムの開発、生物資源の生理機能や特性の化学的・栄養生理学的解析に基づく機能性食品の開発、食品の品質評価に関する研究を行っています。これらを通して生命科学、食糧科学について基本的な理解を深め、社会で活躍できる思考力と実践力を有する人材の育成を目指しています。

主な進路

〈就職先〉

公務員(県庁、農業試験研究センター、市町村役場、教諭(中学・高校)) / 民間(山崎製パン(株)、東洋水産(株)、(株)不二家、(株)久原本家、キッセイ薬品工業(株)、積水メディカル(株)、アステラスファーマテック(株)など) / 教員(大学) / 法人団体(JA、化学物質評価機構など)



詳細情報はこちら



地域を知り、体験し、人々と出会い成長する

国際・地域マネジメントコースは、地域の農業と環境に関わるグローバルな知識と確かな理解に基づいて、農林漁業やその関連産業の持続的な成長に貢献できる人材の育成を目指しています。「地域」は、ごく身近な近所付き合いから市町、県、全国…に至るまで、様々な範囲で捉えることができます。そして、「地域」にはそれぞれ個性があります。そのため、「地域」の問題を考えるには、まずその「地域」のことをよく知ることが大切です。そこで、私たちは実際に「地域」を訪問し、自分の目でよく見て学びます。学ぶ内容は、自然環境・社会・経済・文化など幅広く、そこで暮らす人々との交流を通じて学ぶことを特に大事にしています。このような考えから、本コースでは、国内外でのフィールドワークを重視した特徴ある教育プログラムを用意しています。

主な進路

〈就職先〉

公務員、団体職員(JAなど)、教諭(中学・高校) / 民間(アグリビジネス関連企業、金融機関(銀行など)、報道機関(新聞・放送)、農業(農業法人・自営)、NPO・NGO団体)

〈進学先〉

大学院進学(佐賀大学大学院など)

カリキュラム一覧

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目			
	共通基礎科目「英語」			
	共通基礎科目「情報リテラシー」			
	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
	インターフェース科目			
学部基礎科目	●生物学 ●物理学 ●化学	●基礎数学 ●基礎統計学		
	●アグリキャリアデザイン ●農学概論 ●農業ICT学	●生物化学 ●栽培学汎論 ●土壌学	●生物統計学 ●農業経済学 ●食品科学	
	●物理化学 ●有機化学 ●分析化学 ●生物有機化学 ●生化学 ●酵素化学 ●微生物学 ●食品衛生学 ●栄養化学 ●食品化学	●分子生物学 ●化学実験I・II	●食糧安全学 ●食品工学 ●食品機能化学 ●応用微生物学 ●食糧流通貯蔵学 ●水圏生物学 ●分子細胞生物学 ●生物資源化学 ●遺伝子工学 ●基礎放射線科学	●藻類学 ●生命機能科学概説 ●生化学実験 ●微生物学実験 ●インターンシップS-L ●基礎演習 ●生命機能科学演習I ●専門外書講読
専門科目				
専門科目など				

カリキュラム一覧

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目			
	共通基礎科目「英語」			
	共通基礎科目「情報リテラシー」			
	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
	インターフェース科目			
学部基礎科目	●生物学 ●物理学 ●化学	●基礎数学 ●基礎統計学		
	●アグリキャリアデザイン ●農学概論 ●農業ICT学	●生物化学 ●栽培学汎論 ●土壌学	●生物統計学 ●農業経済学 ●食品科学	
	●物理化学 ●有機化学 ●分析化学 ●生物有機化学 ●生化学 ●酵素化学 ●微生物学 ●食品衛生学 ●栄養化学 ●食品化学	●分子生物学 ●化学実験I・II	●食糧安全学 ●食品工学 ●食品機能化学 ●応用微生物学 ●食糧流通貯蔵学 ●水圏生物学 ●分子細胞生物学 ●生物資源化学 ●遺伝子工学 ●基礎放射線科学	●藻類学 ●生命機能科学概説 ●生化学実験 ●微生物学実験 ●インターンシップS-L ●基礎演習 ●生命機能科学演習I ●専門外書講読
専門科目				
専門科目				

授業紹介

栄養化学



食品成分の栄養機能性から最近の分子栄養学まで講義し、栄養素がどのように代謝され、どのような役割を果たしているのの基礎知識を修得します。

化学実験II

食品に含まれる各種成分の分離、分析、定義を行う実験手法、器具の操作方法について学び、科学的な思考を行う能力および観察力を身に付けます。

分子生物学

生命現象に欠かせないタンパク質、核酸(DNA、RNA)の構造と機能、遺伝子の発現、細胞の制御機構について講義し、学びを深めます。

教員紹介

- | | | |
|--------------------|--------------------|-------------------------|
| 後藤 正利 教授
応用微生物学 | 小林 元太 教授
応用微生物学 | 宗 伸明 教授
分析化学 |
| 辻田 忠志 教授
生化学 | 永尾 晃治 教授
食品科学 | 永野 幸生 教授
応用生物化学 |
| 野間 誠司 教授
食品科学 | 演洋 一郎 教授
水圏生命科学 | 堀谷 正樹 教授
生体関連化学 |
| 光武 進 教授
応用生物化学 | 井上 奈穂 准教授
食品科学 | 川添 嘉徳 准教授
ケミカルバイオロジー |
| 木村 圭 准教授
水圏生命科学 | 龍田 勝輔 准教授
昆虫科学 | 関 清彦 講師
応用生物化学 |
| 折田 亮 助教
水圏生命科学 | 吉田 和広 助教
水圏生命科学 | |

授業紹介

国際地域調査法



農業や農村が抱える諸問題に取り組むために必要な調査技法や理論を学び、後期からの授業や卒業論文で実際のフィールドワークに応用していきます。

農村社会学

地域社会の基礎構造について学び、フィールドワークの際に、その背景となる地域コミュニティの情報を多面的に捉える視点と方法を修得します。

農村と産業演習

農業経営の管理や成長に関わる多岐にわたる課題の中から具体的な問題を設定し、その解決に向け、グループワークによって情報の収集と分析、考察を行います。

教員紹介

- | | |
|------------------------|------------------------------|
| 辻 一成 教授
農業経済学・農業経営学 | 藤村 美穂 教授
環境社会学・農村社会学 |
| 中井 信介 准教授
文化人類学・地理学 | チャン ティウトウイ 助教
農業経済学・経済統計学 |



大学院

- 学校教育学研究科
- 地域デザイン研究科
- 先進健康科学研究科
- 医学系研究科
- 理工学研究科
- 農学研究科
- 鹿児島大学大学院連合農学研究科



もっと深く、さらに専門的に。 自らの可能性と未来につながる学びを大学院で。

大学院は専門領域でのスペシャリストを養成する課程で、学生が自ら積極的に学び探究する姿勢が求められます。佐賀大学では、学部での学びを深め、さらに発展させるために、設備や専門的な教員を充実させ、しっかりと研究に集中できる環境づくりを行っています。専門領域が好きな学生や学びたい学生には絶好のチャンスであり、また、大学院で培った高度な研究能力や論理的思考力や研究成果は、学生が目指す将来の職業や進路に役立ちます。

「学士」「修士」「博士」の違い

博士 Doctor	3年間	大学院
修士 Master	2年間	
学士 Bachelor	4年間	

POINT

専門性の高い 職業に就きやすくなる

特に理系の技術職や研究職には、修士以上の学位が求められる場合があります。文系でも専門性を活かす仕事に就くことが可能です。

整った環境で 活動研究に没頭できる

文系理系に関わらず、整った環境や専門性の高い教員のもとで研究に没頭できます。同じ分野に専念する人と交流することで、より専門的な視点や思考を持つきっかけにもなります。

初任給が学部卒より 高い傾向がある

大学院での学びを通して培った専門性や論理的思考力や分析能力などが評価され、職種や業種によっては、学部卒業者より初任給が高く設定されている傾向があります。

理工学研究科と 農学研究科の高い進学率

佐賀大学でも、知識・技術を深めたいと考える学生が毎年大学院に進学しています。特に理工学部で約5割、農学部で約3割の学生が進学し、積極的に研究に取り組んでいます。

学校教育学研究科 [専門職学位課程]

学校教育学研究科は、教育委員会・学校と大学の連携・協働により「学び続ける教師」を育成するため、教員養成教育の改善・充実を図るべく、高度専門職業人養成として教員養成に特化した教職大学院(専門職学位課程)です。「教育実践探究専攻」の中に、授業実践探究コース、子ども支援探究コース、教育経営探究コースの3つのコースがあります。それぞれのコースは、学力問題、多様な教育ニーズ、地域社会の変貌に応じた新たな学校づくりに対応したものです。現職教員、新規大学卒業者、社会人を対象に、教員としての資質・能力を総合的に高いレベルで育成し、各コースに応じて、特定の資質・能力を高め、地域の学校教育が抱えている課題を解決し、学校変革に貢献できる教員を育成することを目的としています。

先進健康科学研究科 [修士課程]

先進健康科学研究科は、健康科学分野における新時代の産業需要に対応する技術革新と、医療および看護を含む臨床現場での先端技術の総合的応用を目指しています。本研究科は、「先進健康科学専攻」を置いています。「先進健康科学専攻」は、生体医工学コース、健康機能分子科学コース、医科学コースおよび総合看護科学コースの4コースで構成され、他に例を見ない理工医農が有機的に連携する教育研究組織です。そこでは、健康科学領域における実践的な異分野融合体制により、最先端の専門知識と医療技術が幅広く提供され、従来踏み込めなかった未開拓領域における教育研究が可能になっています。その結果、専門分野に特化したプロフェッショナルな研究者に加えて、「橋渡し」機能も担える健康科学系の研究開発マネジメント人材や、幅広い専門知識と先端技術に対応できる新しいタイプの高度医療・看護人材を養成する「先進」性が期待されます。

理工学研究科 [博士前期課程]

「数学コース」「物理学コース」「データサイエンスコース」「知能情報工学コース」「機能材料化学コース」「機械工学コース」「電気電子工学コース」「都市基盤工学コース」「建築環境デザインコース」の9コースで構成され、創造性豊かな高度な人材を養成することをめざしています。専門分野ごとのコース制を採用することで、教育実施体制を柔軟に構築し、教育や研究指導において専門分野間の連携を容易に図ることができる環境を作り、専門分野の枠を超えた内容を自らのキャリアデザインに基づき自主的に学ぶことができます。

農学研究科 [修士課程]

農学研究科は、農学の専門分野における知識と技術を修得し、分野の枠を超えた知識及び考え方を取り入れた、創造性豊かな優れた研究者や技術者等の高度な人材を養成することを目的とします。本研究科は、「生物資源科学専攻」を置いています。「生物資源科学専攻」は、生物科学コース、食資源環境科学コース、生命機能科学コース、国際・地域マネジメントコースの4コースがあります。

地域デザイン研究科 [修士課程]

地域デザイン研究科は、芸術、フィールドデザイン、経済・経営の三方向からのアプローチにより、地域創生をリードできる高度な知識と実践的リサーチ能力を持つ職業人の養成を目的としています。「地域デザイン専攻」の中に、芸術デザインコースと地域マネジメントコースの2つのコースを置いています。フィールドデザインは、芸術と経済・経営という異分野を媒介し両者を総合する分野であるため、いずれのコースにも不可欠なものです。なお、本研究科において「フィールドデザイン」とは、従来の自然環境的、あるいは工学的なフィールドデザインではなく、芸術、文化財保護、都市地理学、都市デザインなどの知識とスキルを使って地域にあるさまざまな資源に芸術文化と経済・経営の光をあて、新たな資源の活用方法を見だし、地域の間(フィールド)をデザインしていくものです。

医学系研究科 [博士課程]

社会に応える研究者および高度専門職者を育成し、学術研究を遂行することにより、医学・医療の発展と地域包括医療の向上に寄与することを目指しています。「博士課程医科学専攻」は、独創的研究活動を遂行できる研究能力と、その基礎となる豊かな学識と豊かな技術を有し、教育・研究・医療の各分野で指導的役割を担う人材を育成します。

理工学研究科 [博士後期課程]

理学および工学を主体とした融合領域を含む学問領域において、高度な専門的知識と論理的思考力を持ち、社会のグローバル化に対応でき、実践力に富む優れた人材を育成します。博士後期課程には「理工学専攻」があり、数理・情報サイエンスコース、機械・電気エネルギー工学コース、社会基盤・建築デザインコース、バイオ・マテリアルエンジニアリングコースの4コースに分かれます。

鹿児島大学大学院連合農学研究科 [博士課程]

鹿児島大学大学院連合農学研究科は、佐賀大学の農学研究科、鹿児島大学の農林水産学研究所、琉球大学の農学研究科の3つの研究科の修士課程を母体として編成され、これらの研究科の綿密な連携のもとに運営されている新しいスタイルの博士課程大学院です。学生の研究指導は、学生1名について複数の大学から指導教員3名が担当することになっており、この点が連合大学院の大きな特徴と言えます。



ウェルビーイング創造センターキャリア支援部門の取り組み



ウェルビーイング創造センターキャリア支援部門では、キャリア教育および学生の皆さんの就職活動を支援するための様々なメニューを、学年や必要に応じて企画・実施しています。公務員・教員採用の対策講座や、面接対策講座(4年次)など実践的な取り組みも多数実施。また、不安や悩みを解消するために、相談員を常時配置して就職相談も行っています。誰でも利用できるもので、ぜひ気軽に利用してください。

相談窓口

就職相談員

キャリアコンサルタント、社会保険労務士、教職経験を持った本学OB等を就職相談員として配置し、進路相談や履歴書の添削、面接指導など、就職に関する相談を随時受け付けています。

就職担当教員[各学部]

学部によって学生の就職希望もさまざまであることから、各学部に就職担当の教員を配置し、学生の専門性に応じた指導を行っています。



豊富な情報提供

キャリアタスUC

キャリアタスUCは就職活動を強力にサポートするシステムです。企業から大学に寄せられる求人を見ることが出来ます。本システムは学外からアクセスできるだけでなく、新しい求人情報をサイト上で一目で確認できるほか、サイト上でエントリーもできます。また、ウェルビーイング創造センターキャリア支援部門のホームページにも学内ガイダンスや合同・個別会社説明会およびインターンシップに関する最新の情報が提供されています。

さまざまな資料の閲覧

企業から送られてきた多くの求人票がファイリングされていますので、いつでもチェックすることができます。また、求人票だけでなく、さまざまな業界に関する資料や書籍、企業セミナーやイベントのお知らせなど、ウェルビーイング創造センターキャリア支援部門に来ると、就職活動について何でも知ることができます。



学内実施の会社説明会

学内で実施する会社説明会には、各企業が単独で実施する「個別会社説明会」と複数の企業が合同で実施する「合同会社説明会」があります。学生は学内にいながら自分のペースで企業の人事担当者から話を聞くことができます。2024年度は、個別会社説明会に23社、合同会社説明会に249社の参加がありました。

就職支援プログラム

学生の志望に応じたさまざまな支援プログラムが実施されています。

民間志望

- キャリアデザイン講座 ●職業適性診断
- SPI対策講座 ●面接指導
- グループディスカッション対策
- インターンシップガイダンスなど

教員志望

- 教員試験対策講座
- 願書・自己PRの書き方

公務員志望

- 公務員セミナー ●公務員就職ガイダンス
- 公務員試験対策講座 など

キャリア教育

年間スケジュール

1年生	2年生	3年生					4年生							
		4~3月	4~3月	4~8月	9~10月	11~12月	1~2月	3月	4~5月	6~7月	8月	9月	10~12月	1~3月
大学入門科目														
キャリアデザイン科目														
				インターンシップ										
				就職ガイダンスに参加する										
				自己解析を行う										
				業界研究(職種研究)・企業研究を行う										
								エントリーシート提出						
								会社説明会に参加する						
								採用試験(筆記試験・面接など)を受ける						
								内定					内定	

本格的な就職活動は3年生の3月から。それまでにインターンシップや自己分析・企業研究などを行います。

大学入門科目

新入生に必要な学習及び生活に関するガイダンスに加えて、卒業生による講演などキャリアデザイン、就職意識の啓発、将来の仕事について考える機会として、正課の必修科目にキャリア教育が組み込まれています。

インターンシップ

インターンシップとは「就業体験」とも呼ばれ、学生が企業などで一定期間、仕事をしながら研修することを示します。本学でも各学部の担当教員の協力で受け入れ企業の開拓を行っています。学部によっては、インターンシップが一部単位として認められるところもあります。

SUPPORT

キャリア・アクセラレーションプログラム 実践的プログラムで社会人基礎力を高める

佐賀大学ウェルビーイング創造センターキャリア支援部門が2021年度から取り組んでいる、正課外のキャリア教育プログラムです。参加企業から提供された実践的なプログラムに参加し、「語り合う」「一緒に創る」「経験する」といった体験を通して大学生らしいキャンパスライフの機会を提供するとともに、キャリアデザインを加速・促進します。4年間で累計105社9団体により131コースが提供され、のべ530名の学生が参加しました。



キャリアデザイン(基本教養科目)

佐賀県内外の企業等で実際に働く社会人のゲスト講師による講演や、グループワークなどを通して、キャリアデザインの必要性やキャリアオーナーシップを涵養するための授業です。



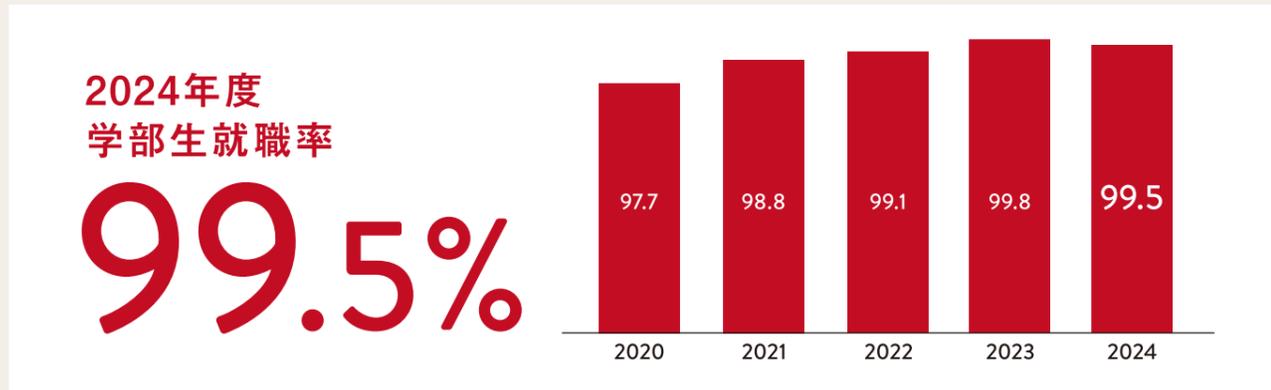
ライフデザインとセルフ・リーダーシップ(基本教養科目)

「夢」「恋愛」「友情」などのライフイベントについて、講義形式で学びながら自分自身で考え、自分の意見をほかの人に共有しながら、自身の将来を考えることを目標としている授業です。





佐賀から全国へ、たくさんの学生たちが
さまざまな分野で活躍しています！



大学(学部)卒業後の進路選択には、企業の就職、公務員や教員の採用試験、大学院への進学、海外留学などがあります。学生の多くが就職を希望する学部や、大学院進学を目指す学生が多い学部など、学部によって様々です。就職に関しては毎年、就職希望者のほとんどが就職を決めて全国各地で活躍しています。

■ 近年の学部別就職率

学部	2020	2021	2022	2023	2024
教育学部	100.0	100.0	100.0	100.0	99.1
芸術地域デザイン学部	89.8	95.7	92.9	100.0	100.0
経済学部	96.1	97.9	99.6	100.0	98.3
医学部	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
理工学部	99.2	100.0	100.0	99.6	100.0
農学部	98.2	98.1	100.0	98.8	100.0

■ 卒業・修了者の進路 (2024年度) 学科・課程ごとの卒業・修了者の進路・就職先は、各学科・課程の紹介ページをご覧ください。

学部	卒業者	就職希望者		進学者	その他
		就職者	未就職者		
教育学部	126	108	1	11	6
芸術地域デザイン学部	109	82	0	17	10
経済学部	267	236	4	5	22
医学部	162	158	0	0	4
理工学部	467	225	0	222	20
農学部	159	98	0	57	4
合計	1290	907	5	312	66

大学院	修了者	就職希望者		進学者	その他
		就職者	未就職者		
学校教育学研究科	16	6	0	0	10
地域デザイン研究科	18	11	0	0	7
医学系研究科(博士)	13	0	0	0	13
医学系研究科(修士)	0	0	0	0	0
理工学研究科(修士)	0	0	0	0	0
理工学研究科(博士前期)	179	161	0	8	10
理工学研究科(博士後期)	14	8	1	0	5
先進健康科学研究科	48	36	0	5	7
工学系研究科(博士後期)	0	0	0	0	0
農学研究科	38	28	0	6	4
合計	326	250	1	19	56

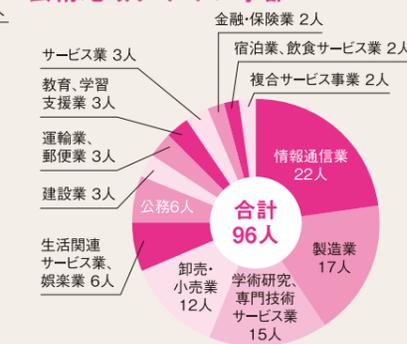
※「その他」は社会人、帰国した留学生、公務員・教員の再受験希望者、進学準備中の者、専門学校等への入学者、科目等履修生・研究生、家事手伝い・主婦、就職意思がない者(一時的な仕事に就いた者を含む)を計上。
※改組に伴い、修了者数が逓減している研究科については、個人が特定される恐れがあることから就職状況の内訳は公表しておりません。

産業別就職状況 (2023年度)

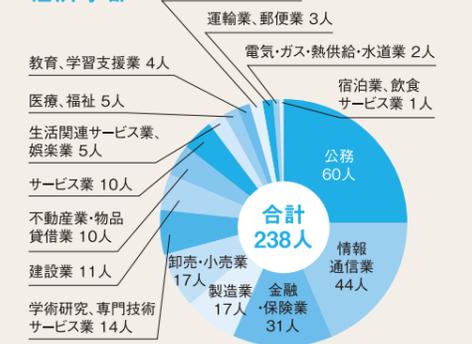
教育学部



芸術地域デザイン学部



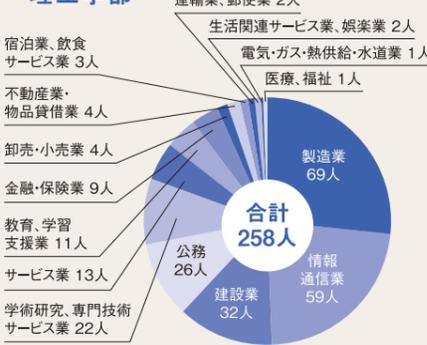
経済学部



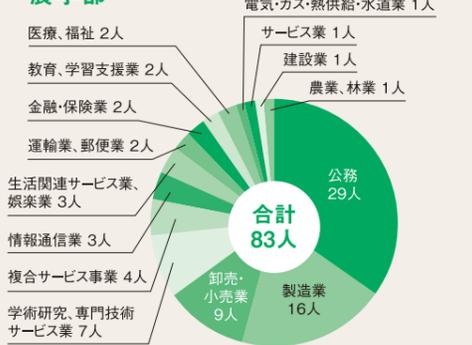
医学部



理工学部



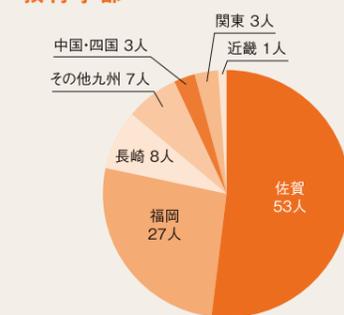
農学部



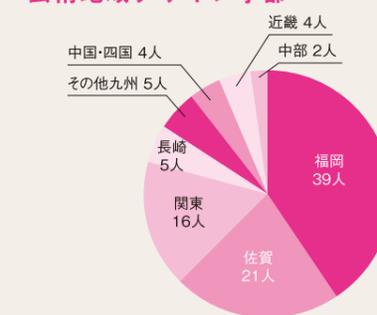
※2024年5月現在の集計結果

地域別就職状況 (2023年度)

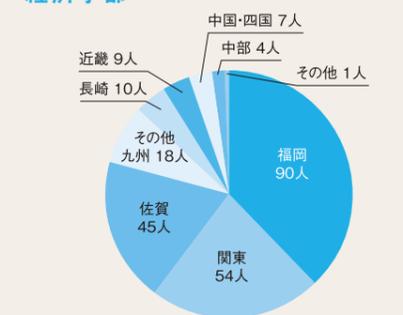
教育学部



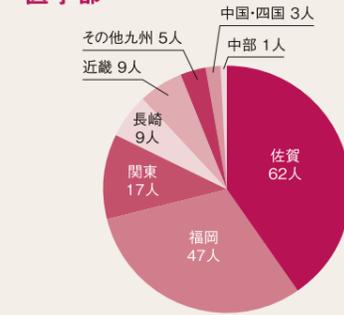
芸術地域デザイン学部



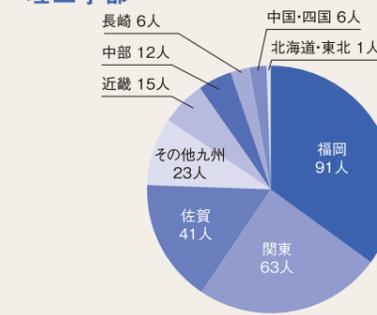
経済学部



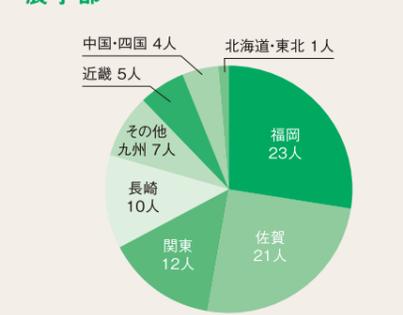
医学部



理工学部



農学部



※「理工学部」は、学部・学科改組前のデータを含む。

大学生活をより充実させるために、まずはお金のことを知しましょう。

大学に通ううえで、とても大切なお金のこと。授業料免除制度や奨学金制度についてや自宅通学と一人暮らしの違いについてなど、事前に調べておくことは、これからの大学生活をより充実させるためにとても重要です。

● 学費と奨学金制度

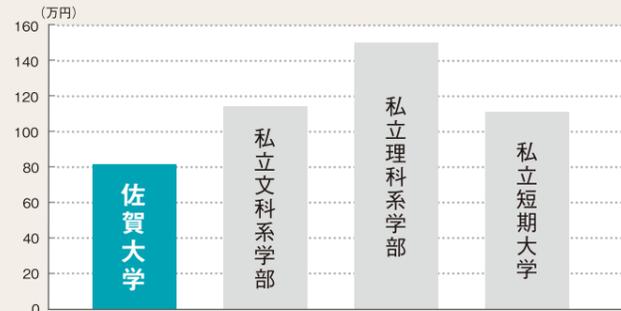
学費の初年度納付金はこれだけ違う

佐賀大学の初年度納付金

817,800円

(入学金:282,000円、授業料:535,800円)

国立大学の学費は、私立大学の平均と比べ、文系で約37万円、理系で約75万円(医歯系は、約407万円)の開きがあります。



(資料)「2021年度 私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額(定員1人あたり)の調査結果」より作成

● 入学料・授業料免除制度 本学では、入学料・授業料の免除について、2つの制度があります。

(1) 高等教育の修学支援新制度による入学料・授業料免除制度

日本人学部生で、日本学生支援機構の給付奨学生として認定を受けている学生は、入学料・授業料について、支援区分毎(第1区分:全額免除、第2区分:3分の2免除、第3区分:3分の1免除)に支援を受けることができます。なお、多子世帯要件該当の場合は、全額免除となります。

高等教育の修学支援新制度による入学料・授業料免除者数

2024年度実績

区分	入学料免除	授業料免除	
		前期	後期
第1区分(全額免除)	102	367	366
第2区分(2/3免除)	46	184	167
第3区分(1/3免除)	33	105	117
第4区分(1/4免除)	24	52	61
計	205	708	711

(2) 佐賀大学独自の入学料免除／徴収猶予・授業料免除制度

佐賀大学独自の入学料・授業料免除は、原則大学院生を対象とした制度です。入学料徴収猶予に関しては、学部生を含む全学生を対象としています。本制度の申請資格に該当する者を対象として、本人の申請に基づき選考を行い、入学料免除・授業料免除(全額免除、半額免除)又は入学料徴収猶予を行います。

● 奨学金制度

新しい修学支援制度

住民税非課税世帯・準ずる世帯・多子世帯の学生に対して、(1)+(2)の支援

(1) 授業料減額又は免除 54万円(上限額)

(2) 返済不要の給付型奨学金を支給 約80万円(自宅外通学の場合の上限額)

詳しくは、文部科学省ホームページ「高等教育の修学支援新制度」をご確認ください。
<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

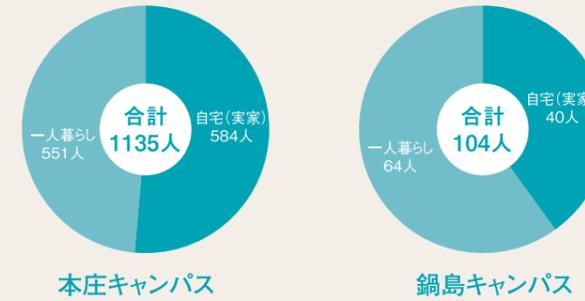
奨学金受給者数

2025年3月実績

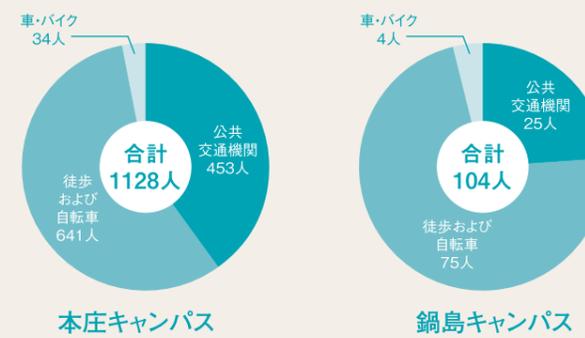
区分	日本学生支援機構			
	第一種	第二種	給付	合計
教育学部	66	126	99	291
芸術地域デザイン学部	80	97	83	260
経済学部	198	273	198	669
医学部	64	130	107	301
理工学部	290	499	348	1,137
農学部	112	154	108	374
合計	810	1,279	943	3,032

● 佐賀大生の生活 (2020年度新入生アンケート調査より)

住まいについて



通学について



通学に必要な費用および各駅の始発と終電

※2025年4月調べ

経路	手段	料金(1か月)	時間	始発[平日]	最終[平日] 佐賀駅発
博多～佐賀	JR(普通)	15,950円	1時間20分	5:13	22:59
	JR(特急)	36,190円	約35分	6:00	23:03
天神～佐賀	バス	26,640円	1時間20分	6:30	21:20
鳥栖～佐賀	JR(普通)	10,630円	27分	6:06	22:59
	JR(特急)	20,240円	16分	6:22	23:03
二日市～佐賀	JR(普通)	12,370円	53分	5:38	22:59
久留米～佐賀	JR(普通)	11,260円	38分	5:53	22:59

※料金は、学割適用価格です。特急はエクスプレスバスを使用した場合の金額です。
 ※上記データは、あくまでも参考データであるため、正確な情報を知りたい場合は、JR等にご確認ください。

一人暮らしについて

アパート等の紹介

佐賀市にはアパート等の斡旋業者がたくさんありますが、佐賀大生生活協同組合でも学生向けアパートの紹介および斡旋を行っております。

実際に決めた部屋代と管理費合計の平均金額

アパート	37,700円
マンション	49,200円

部屋を決めるときに気をつけたことや希望条件

大学に近い	92.1%
部屋代	73.7%
生活に便利	65.8%
間取り	57.9%
ネット回線	55.3%
日当たりや風通し	55.3%

※2020年度保護者に関く新入生調査(大学生協連実施)より

● 生活費

自宅生

収入		支出	
小遣い	7,730円	食費	8,070円
奨学金	16,700円	住居費	960円
アルバイト	32,740円	交通費	6,680円
定職	490円	教養娯楽費	8,910円
その他	1,530円	書籍費	2,080円
		勉学費	2,700円
		日常費	5,180円
		電話代	2,340円
		その他	1,890円
		貯金・繰越	19,730円
収入合計	59,190円	支出合計	58,540円

一人暮らし

収入		支出	
仕送り	50,690円	食費	22,500円
奨学金	25,100円	住居費	47,140円
アルバイト	29,680円	交通費	1,750円
定職	360円	教養娯楽費	10,290円
その他	4,870円	書籍費	1,290円
		勉学費	2,470円
		日常費	7,570円
		電話代	3,350円
		その他	2,310円
		貯金・繰越	11,460円
収入合計	110,700円	支出合計	110,130円

※2020年学生生活実態調査(大学生協連実施)より

JR佐賀駅から自転車を利用する場合

JRを利用する学生の多くが、JR佐賀駅周辺の市営の駐輪場(有料:1か月1,040円)に自転車を置いて通学に利用しています。自転車は、キャンパス内の移動にも便利です。

JR佐賀駅からバスを利用する場合

佐賀駅から各キャンパスまではバスも利用できます。本庄キャンパスまでは約15分(200円)、鍋島キャンパスまでは約26分(320円)かかります。ただし、渋滞で遅れたり、雨の日には利用者が多くなることがあります。

学生寮[楠葉寮]について

詳しくはこちら



項目	概要
収容定員	男子100名 女子50名(空き部屋に応じて入寮者を募集)
費用	月額5,300円(共益費込)。光熱水料で7,000円程度(変動)を自己負担
部屋の形態	洋式個室(約6畳)。各部屋には、ベッド、整理箱、机、椅子、本棚が設置 風呂およびトイレは共同。各階に、補食室、洗面所、洗濯室、トイレあり
入寮期間	原則として2年間
入寮条件	健康かつ自宅からの片道通学時間が公共交通機関で90分以上かかる人 上記該当者で家庭状況および経済状況を勘案して入寮者を決定
場所	本庄キャンパス内

悩みや不安があるときは、まずは相談。さまざまな窓口をご用意しています。

大学生活は、自分の勉強したいこと、やりたいことを自由に行うことができます。その反面、自分の居場所が見つからなかったり、自分のやりたいことと現実のギャップに悩んだりすることがあるかもしれません。そんなときは、一人で悩まずに相談窓口にご相談ください。

主な相談内容

■ 学生生活について

授業がわからない、ゼミで浮いている、サークルになじめない、ハラスメントを受けている、相談するところがない。

■ 人間関係について

友人との関係がうまくいかない、恋愛のことで悩んでいる、コミュニケーションができない。

■ 生活環境について

アルバイトがうまくいかない、経済的に困っている、家族との関係がうまくいかない。

■ その他

詐欺にあった、交通事故にあった、不審者に付きまとわれている。性別違和のことについて。

■ 進路について

就職活動をどうすればよいかわからない、自分の進路を決めきれない、社会に出るのが不安。

相談項目

■ 学生なんでも相談窓口

キャンパスライフにおけるあらゆる疑問や悩み、困っていることの内容に応じて、より適切な解決法や相談員(学内外の関係者)を紹介しします。

■ チューター(担任)制度

修学、進路選択、心身の健康などの問題について相談役となり、学生が充実したキャンパスライフを送るための支援を目的とした、各学部教員によるチューター(担任)制度があります。アドバイスが必要な場合は、気軽に相談してみてください。

■ 学生カウンセラー相談窓口

学生の皆さんの心や身体の相談や悩み、困っていることなどを直接、カウンセラー(臨床心理士)に相談できます。

■ ウェルビーイング創造センター 学修支援部門

悩みを抱えている、障害や病気を持つ等の修学に困難を抱えた学生の大学生活を専門のスタッフが集中的にサポートしています。安心して充実した大学生活を送れるように、悩みや問題を解決していくために一緒に考えます。

■ 身体・精神面の健康上の相談

保健管理センターの学生相談室は「学生の身体・精神面の健康上の問題」について個人的に相談できます。

■ キャンパス・ソーシャルワーカー制度

何らかの理由で大学の講義等に出席できない学生及び特別な支援が必要な学生を支援するために様々な悩みを聞き、チューターやゼミの先生に橋渡しています。その後も担当の先生と連携しながら一緒に問題解決できるようサポートします。

PEER SUPPORT

学生アドバイザー

■ 新入生アドバイザー

新入生が入学して感じる疑問について、新入生アドバイザーが相談に応じます。「履修の仕方がわからない」「おもしろい授業を教えてほしい」「建物がわからない」など気軽に相談することができます。

■ 学習アドバイザー

授業でわからなかった点、自学自習のポイント、学習方法に関する悩みや疑問など学習上のさまざまな悩みや疑問について学習アドバイザー(大学院生)が相談に応じます。

■ ノートテイク

支援を希望する聴覚障害学生等に対し、ノートテイク等のサポートを準備します。



大学内で福利厚生面でサポートする佐賀大学生生活協同組合

佐賀大学には、大学生協があります。1963年に当時の佐賀大学の学生と教職員が学内の福利厚生の充実のため設立しました。大学生協は、食堂・購買・書籍等の取り扱いのほか、アパートの斡旋や管理、受託共済業務を行っています。近年は、TOEIC®などの学びや公務員試験対策、教員採用試験対策の就職支援の事業にも力を入れています。合格者によるサポーター制度などにより合格者も増加しています。食事面では、栄養バランスが偏りがちな大学生にきちんと食べて学んでいただきたい目的で「ミールカード」システムを導入して好評をいただいています。自動車学校の組合員割引などのサービスも充実しています。佐賀大学のIC学生証生協電子マネーで食事や買い物ができます。

学びのサポート

学内でTOEIC®学習スタート講座を実施するなど英語に関するサポートをしています。就職支援事業として、大学公認の公務員試験対策講座や教員採用試験対策講座などを実施しています。合格を決めた先輩たちが後輩へアドバイスをするサポーター制度が確立し継続しています。



公務員試験対策講座



先輩サポーターとの勉強会の様子



専門書・就活書の品揃え(大学会館店)



TOEIC®学習スタート講座



経済学部 経済法学科
豊田 直大
内定先:法務省(国家総合職)

入学時のお部屋探しから、日々の食事、公務員試験対策講座まで生協にお世話になりました!

入学前の住まい探しや共済加入から、日々の食事まで大学生協には大学生活のすべての場面で世話になりました。住まいや共済、学内講座等はすべての窓口が学内にあるため、不安な事や困りごとをすぐに解決してくれました。特にお世話になった公務員試験対策講座では合格された先輩が窓口で常駐しており、わからない問題や不安な事の相談にすぐに乗ってくれたことで充実した学びにつながりました。また、書籍も10%ポイント還元されるため教科書購入の際にはとても助かりました。組合員に特化しているからこそ、すべての学生生活シーンにおいて必要なサービスが受けられます。皆さんも生協を活用して、学生生活を楽しんでください!

食のサポート

佐賀大生の「食」は大学生協食堂とミールカードにおまかせください。

大学生協では、バランスが取れて安全で安心な食事を3食ご利用いただけます。ミールカードは、大学生協オリジナル「食堂年間利用定期券」です。

ミールカード6つのポイント

食費を1年分確保できるから
手持ちがなくても大丈夫!

豊富なメニューで
健康的な食事をサポート!

ライフスタイルに合わせて
3つのプランをご用意!

ご利用履歴がアプリで確認できる!

お会計はキャッシュレス!
大学生協アプリや学生証でお会計が可能!

お急ぎの方向けに
テイクアウトメニューも充実!



サバの味噌煮 253円
さっぱり揚げ出し茄子 99円
冷奴 55円
ライス小 143円
豚汁 132円



坦々麺 506円



ネギトロ丼 561円

※上記価格は、2025年4月時点での価格です。※上記価格は、消費税10%を含みます。



CAMPUS LIFE

さあ、一緒に楽しもう! 「だからこそ」がいっぱいの佐賀大キャンパスライフ

大学生活ってどんな感じ?先輩たちはどんな毎日を送ってるの?
あなたの毎日がもっと楽しくなる、佐賀大学でのキャンパスライフをご紹介します。

Sadai
PHOTO
GALLERY

Webサイトでも
ご覧いただけます



CAMPUS CALENDAR

年間を通して、楽しいイベントが盛り沢山!

- 4**
April
- ・入学式
 - ・新入学生健康診断
 - ・学部オリエンテーション
 - ・学生会紹介
 - ・サークル紹介
 - ・前学期開講
 - ・在学生定期健康診断



- 5**
May
- 6**
June
- ・入学者選抜要項 発表<下旬>



- 7**
July
- ・前学期定期試験



- 8**
August
- ・総合型選抜I
教育学部/芸術地域デザイン学部
学生募集要項 発表<上旬>
 - ・夏季休業

- 9**
September
- ・学校推薦型選抜・帰国生徒選抜
学生募集要項 発表<中旬>
 - ・総合型選抜I
学生募集要項 発表<中旬>
 - ・総合型選抜II
学生募集要項 発表<中旬>



- 10**
October
- ・後学期開講
 - ・解剖体慰霊式<医学部>
 - ・大学祭<本庄キャンパス>



- 11**
November
- 12**
December
- ・一般選抜
学生募集要項 発表<上旬>
 - ・冬季休業



- 1**
January
- ・大学入学共通テスト

- 2**
February
- ・後学期定期試験
 - ・一般選抜<前期日程>



- 3**
March
- ・一般選抜<後期日程>
 - ・学位記授与式



時間を上手にやりくりして 勉強も生活も充実!

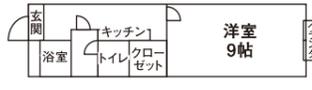
芸術地域デザイン学部芸術地域デザイン学科地域デザインコース
松丸 奏 福岡県 近畿大学附属福岡高等学校出身

自宅周辺が静かで、大学にもバイト先にも近いのでとても生活しやすいです。自分のやりたいことはいつでもできる反面、料理や掃除といった家事が欠かせないので、時間をうまく使えるようになりました。平日は主にゼミとアルバイトですが、休日は趣味や遊びに時間を使っています。将来は、文化財保護の仕事に携わりたいので、キュレーション分野の勉強も頑張っています。

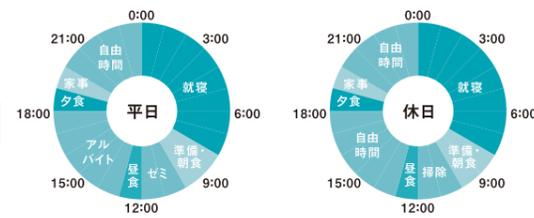
Q. 1か月の生活費は平均いくらぐらい?

[収入]		[支出]	
アルバイト	60,000円	家賃	30,000円
仕送り	70,000円	光熱費	10,000円
		食費	15,000円
		日用品	5,000円
		交際費	15,000円
		雑費	15,000円
		貯金	40,000円
合計	約130,000円	合計	130,000円

Q. お部屋の間取りはどんな感じ?



Q. 平日と休日の過ごし方は?



一人暮らしを楽しみながら 助産師を目指しています。

医学部看護学科
三上 実由樹 鹿児島県 加治木高等学校出身

はじめての一人暮らしだったので最初は苦労しましたが、少しずつ楽しいと感じるようになりました。最近は、友だちを自宅に呼んで遊んだり一緒に勉強したりと、満喫しています。自宅が大学に近く、朝の準備に余裕があるのが最大の魅力です、平日でも課題や復習の時間が十分に取れるのが有難いです。卒業後は大学院に進学し、助産師になって地域の母子や家庭を支援したいと考えています。



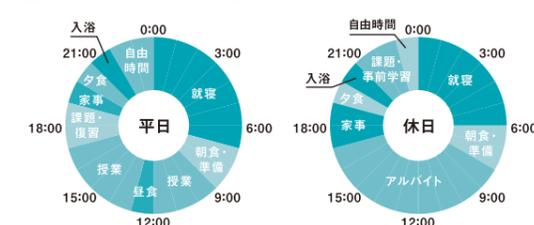
Q. 1か月の生活費は平均いくらぐらい?

[収入]		[支出]	
奨学金	100,000円	家賃	30,000円
アルバイト	30,000円	光熱費	10,000円
仕送り	10,000円	食費	15,000円
		日用品	7,000円
		交際費	20,000円
		貯金	58,000円
合計	約140,000円	合計	140,000円

Q. お部屋の間取りはどんな感じ?



Q. 平日と休日の過ごし方は?



▶本庄キャンパス

●統括団体(2団体)

学友会(文化協議会・体育協議会・ボランティア協議会)／大学祭中央実行委員会

●文化系団体(21団体)

アカペラサークルScore!!
アニメーション研究会
囲碁・将棋部
演劇サークルdrama!!
FMメディア研究会
管弦楽団
クラシックギター・ハーモニー
Green-Nexus
K-net
軽音楽サークルCLOVER
混声合唱団コーロカンフォーラ

コンピュータ研究会
茶道部
写真部
佐賀大学JAZZ研究会
吹奏楽団
フォークソング研究会
文芸部
ボーイ撮り
漫画研究会
航空研究会

●体育系団体(34団体)

合気道部／アイスホッケー部
アメリカンフットボール部
エアライフル射撃部
空手道部／S.U.Dfamily
弓道部／剣道部
硬式野球部／サイクリング部
硬式庭球部／男子サッカー部
女子サッカー部／自動車部／柔道部
準硬式野球部／少林寺拳法部
水泳部／スキー部／ソフトテニス部
卓球部／探検部／トライアスロン部
熱気球部／男子バスケットボール部
女子バスケットボール部
バドミントン部／男子バレーボール部
女子バレーボール部
男子ハンドボール部
Fantasists(フットサル部)
ラグビー部／嵐舞／陸上競技部

●ボランティア団体(8団体)

有明会
ぞうさんのwa
佐賀県学生献血推進協議会(ちっち)
Sharearth
ルート佐大
佐賀学生スーパーネット
佐賀環境フォーラム環境教育班えこいくるびなす

▶鍋島キャンパス

●学生自治団体等(4団体)

学生自治会／学生団体統括委員会／医学科国試対策委員会／看護学科国試対策委員会

●文化系団体(21団体)

混声合唱部
現代音楽倶楽部
音楽鑑賞部
美術部
軽音楽部
茶道部
天文部
室内楽部
漢方研究会
SILS(ACLSサークル)
写真部

IFMSA-Saga(国際医学生連盟佐賀支部)
USGOS(ウスゴス)
Happiness
ほびろほびろ
勉部
MUTSUGOROU E.P.
演劇部
SCS(学生地域交流の会)
佐賀大学医学部学生広報シナプス
臨床推論サークル

●体育系団体(21団体)

硬式テニス部
漕艇部
卓球部
準硬式野球部
空手部
バスケットボール部
剣道部
サッカー部
ラグビー部
バドミントン部
水泳部

バレーボール部
ヨット部
弓道部
陸上競技部
ビリヤード部
チアリーディング部
フットサル部
ソフトボール部
ダンス部
ピクニックボール部

2026年度 総合型選抜I・II 出願資格・選抜方法

2026年度 入学者選抜概要

学部・学科・コース等	方式	募集人員	共テ	出願資格および出願要件	提出書類	試験			その他要件等		
						試験方法	出願期間	試験日		合格者発表日	
教育学部 共同教員養成課程	小中連携教育コース 小学校教育主専攻	総合型 選抜I	10	×	(1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校若しくは中等教育学校を2024年4月以降に卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を2024年4月以降に修了した者及び2026年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2024年4月以降にこれに該当する者及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 英語、音楽、体育、家庭のいずれかの分野に関して特に意欲・関心が高く、その分野に関する知識と技能が特に優れている者 (3) 入学後、初等教育を中心に学修を行う意欲を有し、将来、小学校等の教員になることを強く志望する者 (4) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志望理由書、 活動実績報告書	小論文、 面接(口頭試問を含む)、 志望分野に関する適性検査	9/11 ～9/18	10/10 音楽分野、 体育分野は 10/10・11	11/4	・適性検査内容 英語分野:タブレット端末を用いた試験により、英語4技能を総合的に測定、実用英語技能検定(2級以上)(2050～)、TEAP(220～)、GTEC(4技能)(900～)、TOEFL iBT(45～)取得者はリーディングを満点扱いとします。有効となる検定試験は、2024年4月1日以降に受験した検定試験に限ります。(配点 リーディング50点、スピーキング100点、活動実績報告書50点) 音楽分野:専攻楽器(または声楽)の個別レッスン2回、ソルフェージュの個別レッスン1回 体育分野:器械運動(マット運動)、ダンス、ゴール型球技(バスケットボール)、ネット型球技(バレーボール)、 ベースボール型球技(ソフトボール)、武道(柔道か剣道より選択)の6種目における技能 家庭分野:与えられたテーマについてのプレゼンテーション資料の作成、個別発表及び質疑応答 ・入学志願者が多く、適性検査を適切に行うことが困難な場合は、書類(調査書、志望理由書及び活動実績報告書)により、第1次選考を行う
	小中連携教育コース 中学校教育主専攻	総合型 選抜I	8	×	(1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校若しくは中等教育学校を2024年4月以降に卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を2024年4月以降に修了した者及び2026年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2024年4月以降にこれに該当する者及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 英語、音楽、保健体育、家庭、技術のいずれかの分野に関して特に意欲・関心が高く、その分野に関する知識と技能が特に優れている者 (3) 入学後、中等教育を中心に学修を行う意欲を有し、将来、中学校等の教員になることを強く志望する者 (4) 合格した場合は、確実に入学できる者						・適性検査内容 英語分野:タブレット端末を用いた試験により、英語4技能を総合的に測定、実用英語技能検定(2級以上)(2050～)、TEAP(220～)、GTEC(4技能)(900～)、TOEFL iBT(45～)取得者はリーディングを満点扱いとします。有効となる検定試験は、2024年4月1日以降に受験した検定試験に限ります。(配点 リーディング50点、スピーキング100点、活動実績報告書50点) 音楽分野:専攻楽器(または声楽)の個別レッスン2回、ソルフェージュの個別レッスン1回 保健体育分野:器械運動(マット運動)、ダンス、ゴール型球技(バスケットボール)、ネット型球技(バレーボール)、 ベースボール型球技(ソフトボール)、武道(柔道か剣道より選択)の6種目における技能 家庭分野:与えられたテーマについてのプレゼンテーション資料の作成、個別発表及び質疑応答 技術分野:与えられたテーマについてレゴブロックを用いて作品をつくり、プレゼンテーション及び質疑応答 ・入学志願者が多く、適性検査を適切に行うことが困難な場合は、書類(調査書、志望理由書及び活動実績報告書)により、第1次選考を行う
	小中連携教育コース 小学校教育主専攻 理数分野	総合型 選抜II	2	6-8	(1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校若しくは中等教育学校を2024年4月以降に卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を2024年4月以降に修了した者及び2026年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2024年4月以降にこれに該当する者及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 理数分野に関して特に意欲・関心が高く、その分野に関する知識と技能が特に優れている者 (3) 入学後、初等教育を中心に学修を行う意欲を有し、将来、小学校(理科、数学の専科)等の教員になることを強く志望する者 (4) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志望理由書、 活動実績報告書	大学入学共通テストの 成績、書類審査	1/19 ～1/29	-	2/10	
	小中連携教育コース 中学校教育主専攻 理数分野	総合型 選抜II	2	6-8	(1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校若しくは中等教育学校を2024年4月以降に卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を2024年4月以降に修了した者及び2026年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2024年4月以降にこれに該当する者及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 理数分野に関して特に意欲・関心が高く、その分野に関する知識と技能が特に優れている者 (3) 入学後、中等教育を中心に学修を行う意欲を有し、将来、中学校(理科、数学)等の教員になることを強く志望する者 (4) 合格した場合は、確実に入学できる者						
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース 美術・工芸分野	総合型 選抜I	10	×	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ① 高等学校若しくは中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を2026年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2025年4月以降にこれに該当する者及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 芸術表現コースでの勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志望理由書、 ポートフォリオ	志望分野に関する 適性検査、面接		10/11		・適性検査内容 模擬授業を受講後に作品制作を行います。 ・入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合は、書類(調査書、志望理由書及びポートフォリオ)による第1次選考を行う場合がある
	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース 有田セラミック分野	総合型 選抜I	7	×	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ① 高等学校若しくは中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を2026年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2025年4月以降にこれに該当する者及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 芸術表現コースでの勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者				10/10		・適性検査内容 模擬授業を受講後に作品制作を行います。 ・入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合は、書類(調査書、志望理由書及びポートフォリオ)による第1次選考を行う場合がある
	芸術地域デザイン学科 地域デザインコース	総合型 選抜I	15	×	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2026年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 地域デザインコースでの勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志望理由書、 活動実績報告書 (加点的)(任意)	小論文、適性検査、 面接	9/11 ～9/18	10/11	11/4	・適性検査内容 与えられたテーマについてのプレゼンテーション資料の作成、個別発表及び質疑応答 ・活動実績報告書(加点的)について 申請する活動・実績は、高等学校入学以降に取り組んだ主体的な活動や実績であれば何でも構いません。地域デザインコースの学びを理解し、入学後に何を生かせるかなどをしっかりと考えた上で積極的にアピールしてください。申請内容を補充する根拠となる資料等も重要です。アドミッション・ポリシーで示す「地域社会が抱える問題に関心があ、芸術を通じて地域社会を機能的に繋げていける企画力、発想力、表現力」、[主体的にものごとに取り組むことができる積極的な行動力]、「高等学校入学以降の主体的な実績・活動」について総合的に評価いたします。活動・実績の具体例として、地域創生などに関わる主体的な活動、課外活動(部活動や生徒会活動など)における実績や取り組み、研究活動(高大連携活動(SSH、SGH等を含む)、総合的な探究の時間等での活動実績)、資格・検定試験などの外部試験等の実績、海外留学経験、その他主体的な活動などが考えられます。 ・入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合は、書類(調査書、志望理由書及び活動実績報告書(加点的)(申請者のみ))による第1次選考を行う場合がある 申請がなければ当初配分で合否判定を行います。
理工学部 理工学科	数理分野 数理サイエンスコース	総合型 選抜I	2	×	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ① 高等学校若しくは中等教育学校を2024年4月以降に卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を2024年4月以降に修了した者及び2026年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2024年4月以降にこれに該当する者及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 志望分野への志望動機が明確で入学後も学習に対し意欲的に取り組む者 (3) 以下に指定している科目を履修している者 数理分野、情報分野……数学Ⅲ / 化学分野……数学Ⅲ、化学 / その他の分野……数学Ⅲ、物理 (4) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志望理由書、 活動実績報告書	適性検査、面接 (口頭試問を含む)	11/1 ～11/6	11/22	12/2	・適性検査内容 / 数学の知識を活用した問題を出題することにより、知識のみならず論理プロセスも重視した数学に対する適性を評価します(ペーパーテストで実施)。出題範囲は、数学I、数学A、数学II、数学B、数学III、数学Cとします。 ・入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合は、書類(調査書、志望理由書、活動実績報告書)による第1次選考を行う場合があります。
	情報分野 データサイエンスコース 知能情報システムコース		11								・適性検査の内容 / 問題文や資料等から処理手順を読み取り、そのアルゴリズムに関する論理的思考力を評価します。また、数学の知識を活用した問題を出題することにより、数学に対する適性を評価し、資料等を正しく読み解き、論理的に説明する能力も併せて評価します。出題範囲は、情報I、数学I、数学A、数学II、数学B、数学III、数学C(「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面)とします(出題する内容に応じて、ペーパーテスト又は口頭試問により実施)。 ・入学志願者が募集人員の約2.5倍を超えた場合は、書類(調査書、志望理由書、活動実績報告書)による第1次選考を行う場合があります。
	化学分野 化学コース		5								・適性検査内容 / 化学実験などに関する動画や資料(写真や図表など)を題材に、知識のみならず論理プロセスも重視した化学や科学的思考力に対する適性を評価します(タブレット端末で問題を提示し、解答用紙に解答)。
	物理学分野 物理学コース		7								・適性検査内容 / 物理や数学の知識を活用した問題を出題することにより、知識のみならず論理プロセスも重視した物理に対する適性を評価します(ペーパーテストで実施)。
	機械工学分野 機械工学コース		5								・適性検査内容 / 機械工学に関連した事項を題材とした問題を出題することにより、高等学校で学ぶ知識のみならず問題解決能力や論理的思考力を重視した機械工学に対する適性を評価します(ペーパーテストで実施)。
	電気電子工学分野 電気電子工学コース		4								・適性検査内容 / 電気及び力学に関する物理の問題を出題することにより、知識のみならず論理的思考力も重視した上で、電気電子工学に対する適性を評価します(ペーパーテストで実施)。
	都市工学分野 都市基盤工学コース 建築環境デザインコース		4								・適性検査内容 / 数学(数学I、数学A、数学II、数学B、数学III、数学C)と物理(力学・熱力学・エネルギー・波動)に関する融合問題により、知識のみならず論理的思考も重視した数学と物理の養育を評価します(ペーパーテストで実施)。
	数理分野 数理サイエンスコース		2								
	情報分野 データサイエンスコース 知能情報システムコース		9								
	化学分野 化学コース		13								
	物理学分野 物理学コース		3								
	機械工学分野 機械工学コース		10								
	電気電子工学分野 電気電子工学コース		12								
	都市工学分野 都市基盤工学コース 建築環境デザインコース		6								
農学部	情報分野 データサイエンスコース 知能情報システムコース	総合型 選抜II [女子枠]	2	6-8	(1) 次の各号のいずれかに該当する女子 ① 高等学校若しくは中等教育学校を2024年4月以降に卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を2024年4月以降に修了した者及び2026年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2024年4月以降にこれに該当する者及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 志望分野への志望動機が明確で入学後も学習に対し意欲的に取り組む者 (3) 以下に指定している科目を履修している者 情報分野……数学Ⅲ / 化学分野……数学Ⅲ、化学 / その他の分野……数学Ⅲ、物理 (4) 合格した場合は、確実に入学できる者 ※ 同分野に限り、総合型選抜II[一般枠]との併願可	調査書、 志望理由書、 活動実績報告書、 学修計画書	大学入学共通テストの 成績、書類審査	1/19 ～1/29	-	2/10	
	化学分野 化学コース		2								
	物理学分野 物理学コース		2								
	機械工学分野 機械工学コース		2								
	電気電子工学分野 電気電子工学コース		2								
	都市工学分野 都市基盤工学コース 建築環境デザインコース		2								
農学部	生物科学コース	総合型 選抜II	11	6-8	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ① 高等学校若しくは中等教育学校を2024年4月以降に卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を2024年4月以降に修了した者及び2026年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2024年4月以降にこれに該当する者及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 各コースでの勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志望理由書、 活動実績報告書	大学入学共通テストの 成績、書類審査	1/19 ～1/29	-	2/10	
	食資源環境科学コース		5								
	生命機能科学コース		10								
	国際・地域マネジメントコース		5								
	国際・地域マネジメントコース		5								
コスメティックサイエンス学環	総合型 選抜II	7	6-8	(1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校若しくは中等教育学校を2024年4月以降に卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を2024年4月以降に修了した者及び2026年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2024年4月以降にこれに該当する者及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 志望動機が明確で入学後も学習に対し意欲的に取り組む者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志望理由書、 活動実績報告書	大学入学共通テストの 成績、書類審査	1/19 ～1/29	-	2/10		

* [共テ]とは大学入学共通テストを、6-8とは6教科8科目を示す。

入試情報

2025年度 入試実績

学部・学科・課程・コース・専攻	募集人員					志願者数					受験者数					合格者数					入学者数																						
	前期	後期	推薦	推薦	総合	前期	後期	推薦	推薦	総合	前期	後期	推薦	推薦	総合	前期	後期	推薦	推薦	総合	前期	後期	推薦	推薦	総合																		
教育学部 学校教育課程	幼小連携教育コース		15	5	5	—	—	—	—	—	25	41	57	20	—	—	—	118	40	20	20	—	—	—	80	18	8	5	—	—	—	31	16	7	5	—	—	—	28				
	小中連携教育コース	初等教育主専攻	41	12	7	—	—	—	—	—	70	55	146	15	—	—	—	30	—	246	54	42	15	—	—	29	—	140	44	14	8	—	—	10	—	76	43	11	8	—	—	10	
		中等教育主専攻	12	5	—	—	—	—	—	—	8	25	19	38	—	—	—	43	—	100	19	8	—	—	—	41	—	68	16	6	—	—	—	8	—	30	16	6	—	—	—	8	
	小計		68	22	12	0	0	0	0	18	120	115	241	35	0	0	73	0	464	113	70	35	0	0	70	0	288	78	28	13	0	0	18	0	137	75	24	13	0	0	18		
芸術地域デザイン学部	芸術表現コース		27	8	3	—	—	—	—	—	17	—	55	65	62	—	—	—	39	—	166	63	21	—	—	—	39	—	123	33	8	—	—	—	16	—	57	33	8	—	—	—	16
	地域デザインコース		25	15	—	—	—	—	—	—	15	—	55	99	133	—	—	—	58	—	290	97	71	—	—	—	56	—	224	29	19	—	—	—	15	—	63	29	18	—	—	—	15
	小計		52	23	3	0	0	0	32	0	110	164	195	0	0	0	97	0	456	160	92	0	0	0	95	0	347	62	27	0	0	0	31	0	120	62	26	0	0	0	31		
経済学部	経済学科		70	20	20	—	—	—	—	—	110	129	162	51	—	—	—	—	342	126	52	51	—	—	—	—	229	87	20	26	—	—	—	—	133	74	12	26	—	—	—	—	112
	経営学科		30	20	30	—	—	—	—	—	80	54	88	63	—	—	—	—	205	53	29	63	—	—	—	—	145	41	20	35	—	—	—	—	96	37	15	35	—	—	—	—	87
	経済法学科		35	25	10	—	—	—	—	—	70	60	148	26	—	—	—	—	234	59	45	26	—	—	—	—	130	42	34	11	—	—	—	—	87	38	24	11	—	—	—	—	73
	小計		135	65	60	0	0	0	0	0	260	243	398	140	0	0	0	0	781	238	126	140	0	0	0	0	504	170	74	72	0	0	0	0	316	149	51	72	0	0	0	0	272
医学部	医学科		50	4	—	37	10	—	—	—	101	238	170	—	112	30	—	—	550	179	33	—	111	30	—	—	353	54	4	—	37	9	—	—	104	53	4	—	37	9	—	—	103
	看護学科		35	5	20	—	—	—	—	—	60	54	93	76	—	—	—	—	223	54	21	76	—	—	—	—	151	39	5	20	—	—	—	—	64	37	4	20	—	—	—	—	61
	小計		85	9	20	37	10	0	0	0	161	292	263	76	112	30	0	0	773	233	54	76	111	30	0	0	504	93	9	20	37	9	0	0	168	90	8	20	37	9	0	0	164
理工学部	理工学科		283	93	22	—	—	—	—	—	39	73	510	700	951	42	—	—	107	115	1,915	620	387	42	—	—	107	115	1,271	317	122	20	—	—	32	65	556	305	88	20	—	—	32
	小計		283	93	22	0	0	39	73	510	700	951	42	0	0	107	115	1,915	620	387	42	0	0	107	115	1,271	317	122	20	0	0	32	65	556	305	88	20	0	0	32			
農学部	生物資源科学科		77	32	6	—	—	—	—	—	30	145	205	262	8	—	—	—	81	556	180	106	8	—	—	—	81	375	91	39	6	—	—	—	30	166	86	32	6	0	0	0	30
	小計		77	32	6	0	0	0	0	30	145	205	262	8	0	0	0	81	556	180	106	8	0	0	0	81	375	91	39	6	0	0	0	30	166	86	32	6	0	0	0	30	
合計		686	245	114	37	10	94	93	1,275	1,719	2,310	301	112	30	277	1,964	4,945	1,544	835	301	111	30	272	1,963	3,289	811	299	131	37	9	81	1,463	767	229	131	37	9	81	95				

※私費外国人留学生入試、帰国生徒選抜、社会人選抜は除く。

2025年度 一般選抜における合格者のデータ

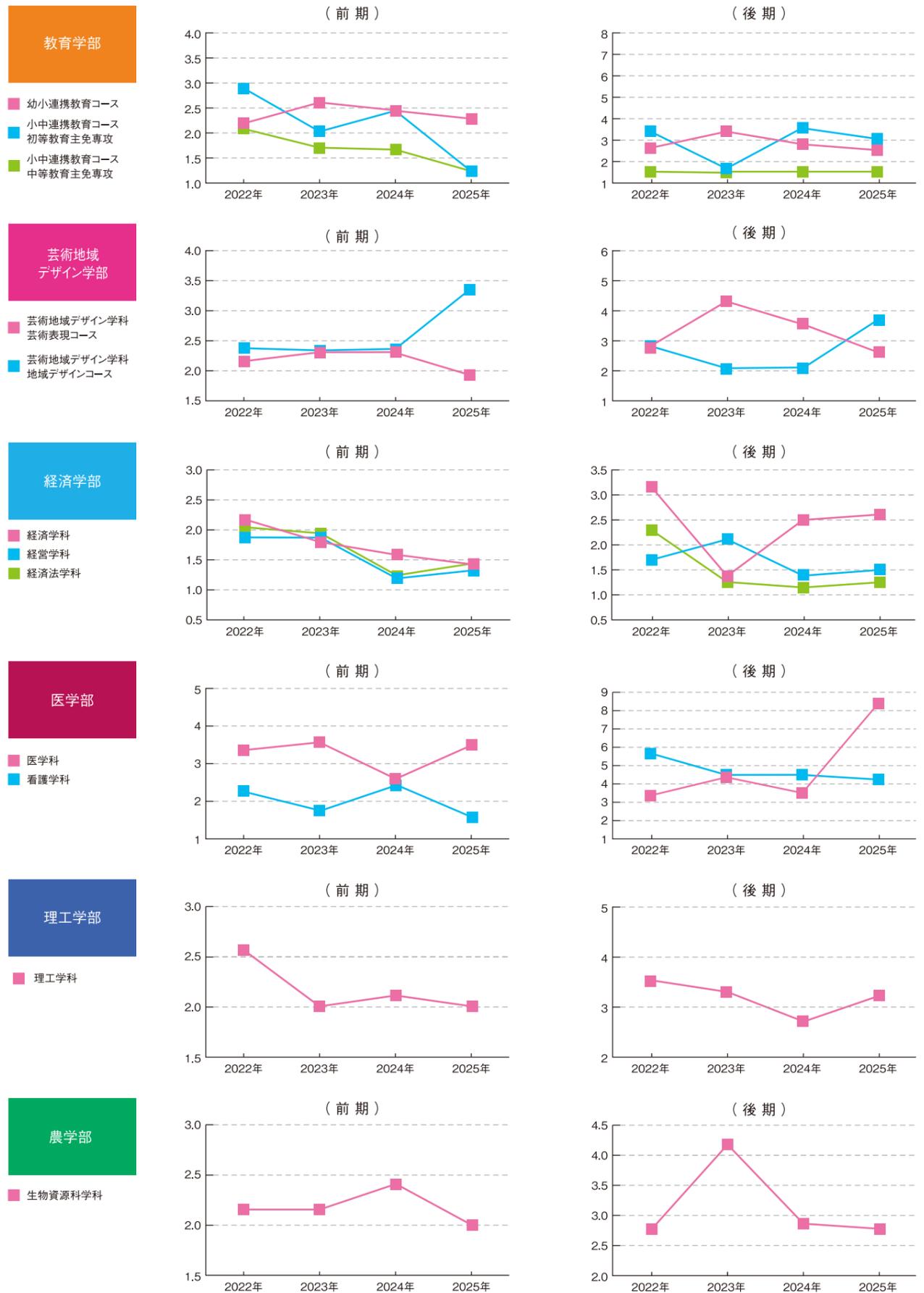
学部・学科・コース等	前期日程				後期日程				
	大学入学共通テスト 個別試験 配点比	大学入学共通テスト 平均点	個別試験平均点	合計最低点	大学入学共通テスト 個別試験 配点比	大学入学共通テスト 平均点	個別試験平均点	合計最低点	
教育学部 学校教育課程	幼小連携教育コース		545.611	264.33	728.100	1030 : 400	—	—	—
	小中連携教育コース	初等教育 主専攻	553.328	236.83	673.500		682.750	247.71	881.000
		中等教育 主専攻	—	—	—		—	—	—
	地域・公民2科目型		606.833	257.20	765.900		—	—	—
芸術地域デザイン学部	芸術表現コース		500 : 500	313.136	362.27	593.000	500 : 300	—	—
	4科目型		600 : 400	—	—	—		—	
	地域デザインコース		700 : 400	520.828	273.66	741.000	600 : 300	467.553	210.68
経済学部	経済学科		—	485.178	58.67	507.700	730 : 100	537.035	72.10
	経営学科		730 : 100	475.002	56.27	501.500		522.290	74.50
	経済法学科		—	476.781	59.88	500.400		512.250	70.71
医学部	医学科		640 : 300	548.419	207.27	729.300	640 : 120	—	—
	看護学科		660 : 160	404.612	114.91	472.370	600 : 120	—	—
理工学部	理工学科		930 : 600	539.853	311.02	750.400	620 : 400	426.993	333.07
農学部	生物資源科学科		630 : 400	382.542	245.87	579.450	580 : 200	411.624	168.62

◎合格者が10人未満のデータについては公表しておりません。

◎医学部(後期日程)については、大学入学共通テスト及び個別試験の最高点・最低点・平均点を公表しておりません。

◎芸術地域デザイン学部芸術表現コース及び医学部以外の合計最低点には特色加点の得点が含まれます。

過去の一般選抜の実質倍率 (受験者数÷合格者数)



2026年度 入試スケジュール

2025年度 学校推薦型選抜入試実績

学部・学科・コース等			対象となる高等学校の科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
教育学部	学校教育課程	幼小連携教育コース 特別支援教育専攻	一般枠 全科	5	20	20	5
		小中連携教育コース 初等教育主専攻	佐賀県枠 全科	7	15	15	8
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科	芸術表現コース	全科	3	0	0	0
経済学部	経済学科		商業系の科・情報系の科 および総合学科	10	13	13	9
	経営学科			20	42	42	24
	経済学科		普通科	10	38	38	17
	経営学科			10	21	21	11
経済法学科			10	26	26	11	
医学部	医学科	学校推薦型選抜II	一般枠 全科	18	58	57	18
			佐賀県枠 全科	18	52	52	18
			長崎県枠 全科	1	2	2	1
	看護学科	学校推薦型選抜I	全科	20	76	76	20
理工学部	理工学科	情報分野	情報系の科・総合学科	8	25	25	9
		化学分野	工業系の科・総合学科	2	1	1	1
		機械工学分野	機械系の科・総合学科	4	6	6	4
		電気電子工学分野	電気・電子・情報系の科・総合学科	4	4	4	4
		都市工学分野	土木・建築系の科・総合学科	4	6	6	2
農学部	生物資源科学科	生物科学コース	専門系の科・総合学科	3	4	4	3
		食資源環境科学コース		2	2	2	2
		生命機能科学コース		1	2	2	1

2025年度 佐賀県推薦入学入試実績

学部・学科	募集人員	第2次選考志願者数	受験者数	第2次選考合格者数
医学部 医学科	10	30	30	9

※第1次選考は、佐賀県が実施。第2次選考は、佐賀大学が実施。(参考)第1次選考志願者数は38人。

2025年度 総合型選抜入試実績

学部	学科・課程・コース・専攻	募集人員		志願者数		受験者数		合格者数		
		総合型選抜I	総合型選抜II	総合型選抜I	総合型選抜II	総合型選抜I	総合型選抜II	総合型選抜I	総合型選抜II	
教育学部 学校教育課程	小中連携教育コース	初等教育主専攻	10	—	30	—	29	—	10	—
		中等教育主専攻	8	—	43	—	41	—	8	—
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科	芸術表現コース	17	—	39	—	39	—	16	—
		地域デザインコース	15	—	58	—	56	—	15	—
理工学部	理工学科	数理分野	2	2	9	5	9	5	2	2
		データサイエンス分野	3	2	5	0	5	0	1	0
		情報分野	8	9	22	19	22	19	5	9
		化学分野	5	15	26	26	26	26	5	16
		物理学分野	7	5	10	6	10	6	6	4
		機械工学分野	5	12	10	15	10	15	5	8
		電気電子工学分野	5	14	11	15	11	15	5	9
農学部	生物資源科学科	都市工学分野	4	14	14	29	14	29	3	17
		生物科学コース	—	10	—	34	—	34	—	10
		食資源環境科学コース	—	5	—	7	—	7	—	5
		生命機能科学コース	—	10	—	33	—	33	—	10
	国際・地域マネジメントコース	—	5	—	7	—	7	—	5	

	総合型選抜 I・II	学校推薦型選抜 I	学校推薦型選抜 II 佐賀県推薦入学	一般選抜(前期)	一般選抜(後期)
	・教育学部 ・芸術地域デザイン学部 ・理工学部・農学部 ・コスメティックサイエンス学環	・教育学部 ・芸術地域デザイン学部 ・経済学部・医学部 看護学科 ・理工学部・農学部	・医学部 医学科	・教育学部 ・芸術地域デザイン学部 ・経済学部・医学部 ・理工学部・農学部 ・コスメティックサイエンス学環	・教育学部 ・芸術地域デザイン学部 ・経済学部・医学部 看護学科 ・理工学部・農学部 ・コスメティックサイエンス学環
9月	総合型選抜 I (出願期間) 教育学部・芸術地域デザイン学部 9/11(木)~18(木)				
10月	教育学部・芸術地域デザイン学部 (試験日) 10/10(金)・11(土)				
11月	(合格者発表)11/4(火) 総合型選抜 I (出願期間) 理工学部 11/1(土)~6(木) (理工学部 試験日) 11/22(土)	(出願期間) 11/1(土)~6(木) (経済学部・理工学部 ・農学部 試験日) 11/21(金) (教育学部・芸術地域デザイン学部・ 医学部 看護学科 試験日) 11/22(土)	学校推薦型選抜 II (出願期間) 11/1(土)~6(木) 佐賀県推薦入学 (出願期間) 11/12(水)~17(月) (試験日) 11/22(土)		
12月	(合格者発表)12/2(火)	(合格者発表)12/2(火)			
1/17(土)・18(日) 大学入学共通テスト					
1月	総合型選抜 II (出願期間) 教育学部・理工学部・農学部・ コスメティックサイエンス学環 1/19(月)~29(木)			(出願期間) 1/26(月)~2/4(水)	(出願期間) 1/26(月)~2/4(水)
2月	(合格者発表)2/10(火)		(合格者発表)2/10(火)	(試験日)2/25(水) (医学部 試験日) 2/25(水)・26(木)	
3月				(合格者発表)3/6(金)	(試験日)3/12(木) (合格者発表)3/21(土)

募集要項等の発表時期

要項の種別	発表時期
入学者選抜要項	6月下旬
総合型選抜I 学生募集要項(教育学部・芸術地域デザイン学部)	8月上旬
総合型選抜I 学生募集要項(理工学部)	9月中旬
総合型選抜II 学生募集要項	
学校推薦型選抜I-II 学生募集要項	

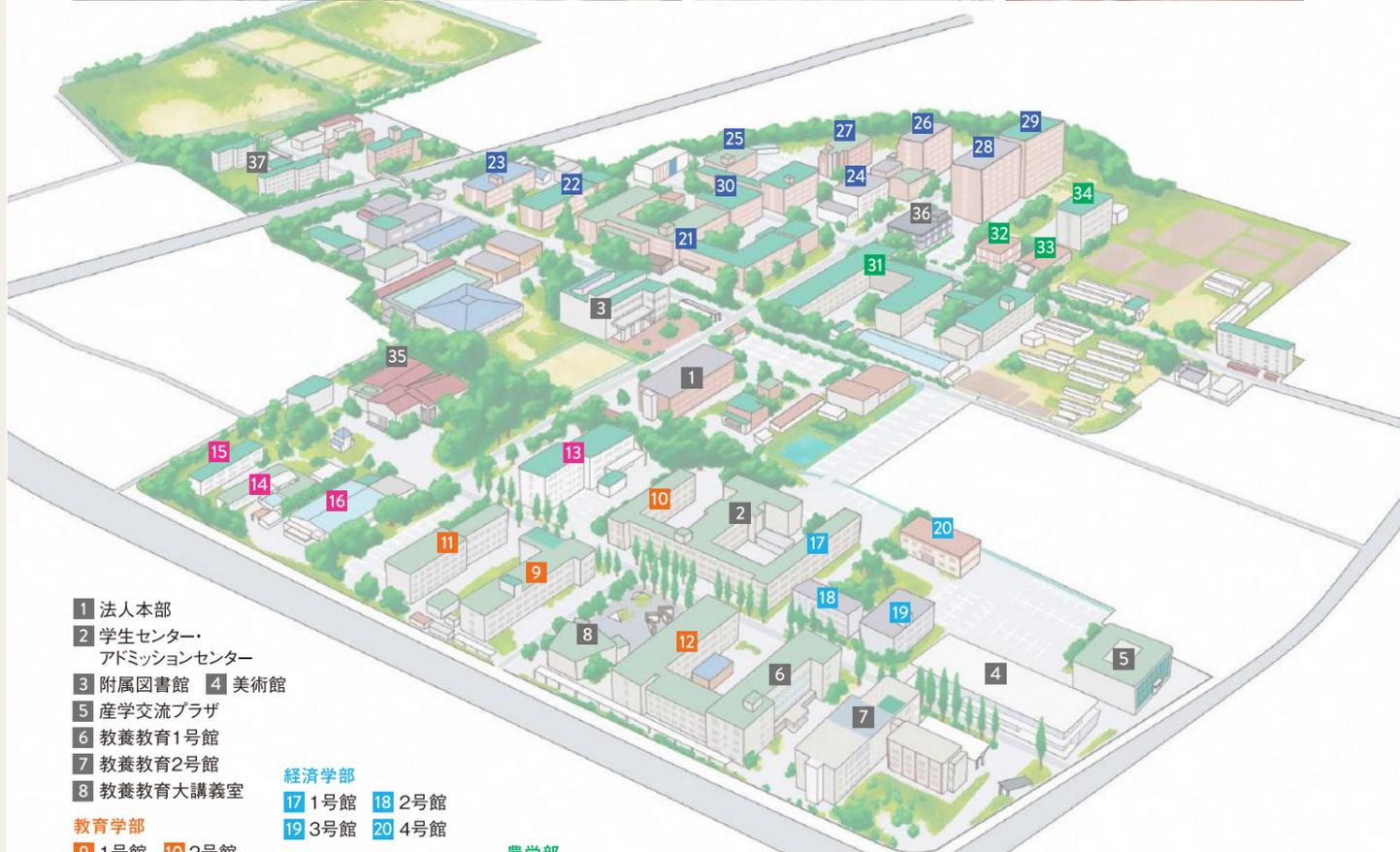
要項の種別	発表時期
学校推薦型選抜I 教育学部 共同教員養成課程 佐賀県枠 学生募集要項	9月中旬
佐賀県推薦入学特別選抜 学生募集要項	
一般選抜 学生募集要項	12月上旬

CAMPUS MAP キャンパスマップ

本庄キャンパス

- 教育学部
- 芸術地域デザイン学部
- 経済学部
- 理工学部
- 農学部
- コスメティックサイエンス学環

国道208号線沿いに位置した暮らしに快適な環境。
佐賀県の歴史や文化にも触れられます。



- 1 法人本部
- 2 学生センター・アドミッションセンター
- 3 附属図書館 4 美術館
- 5 産学交流プラザ
- 6 教養教育1号館
- 7 教養教育2号館
- 8 教養教育大講義室
- 教育学部**
- 9 1号館 10 2号館
- 11 3号館 12 5号館
- 芸術地域デザイン学部**
- 13 1号館 14 2号館
- 15 3号館
- 16 総合研究1号館
- 経済学部**
- 17 1号館 18 2号館
- 19 3号館 20 4号館
- 理工学部**
- 21 1号館 22 2号館
- 23 3号館 24 4号館
- 25 5号館 26 6号館
- 27 7号館 28 8号館
- 29 9号館 30 大学院棟
- 農学部**
- 31 1号館 32 2号館
- 33 3号館 34 4号館
- 35 大学会館・大学生協
- 36 かさざきホール (Mizota kitchen)
- 37 楠葉寮

VRキャンパスツアーはコチラ

文系コース

芸術コース

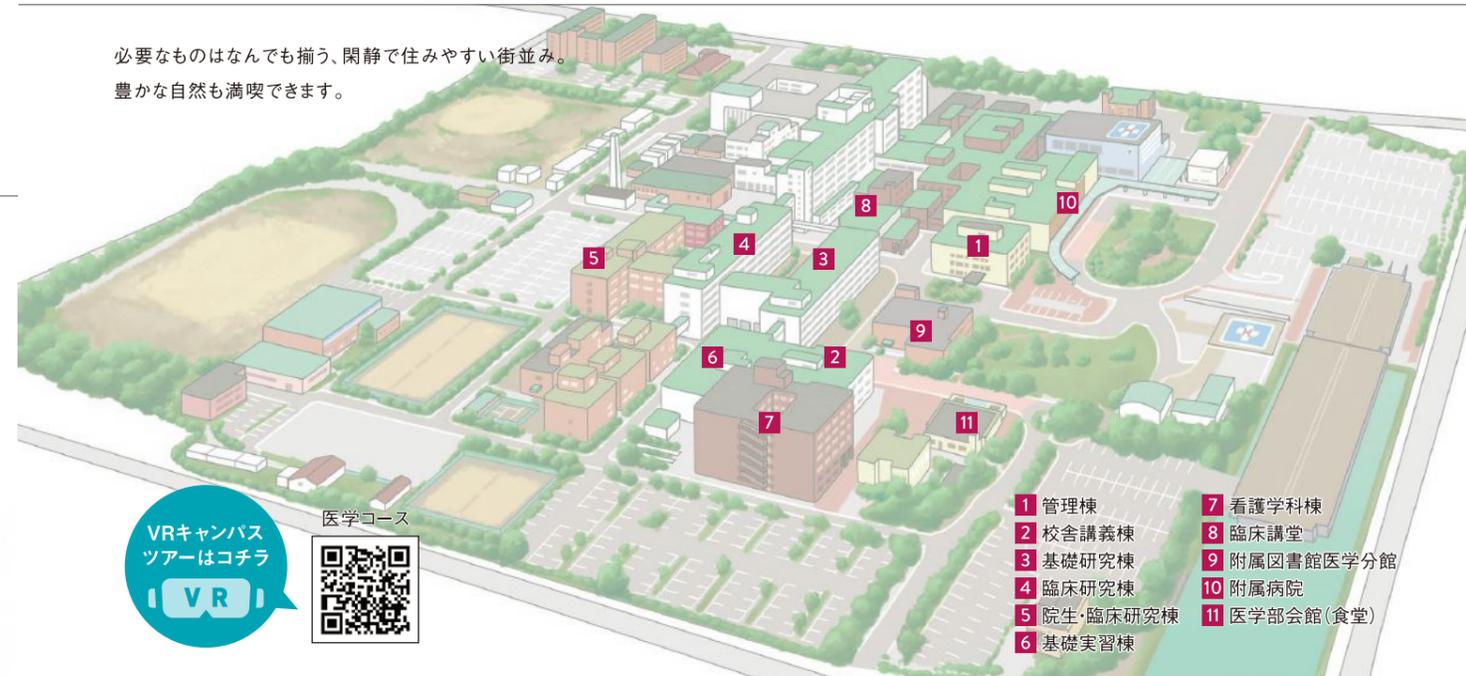
理系コース



鍋島キャンパス

■医学部

必要なものなんでも揃う、閑静で住みやすい街並み。
豊かな自然も満喫できます。



VRキャンパスツアーはコチラ

医学コース

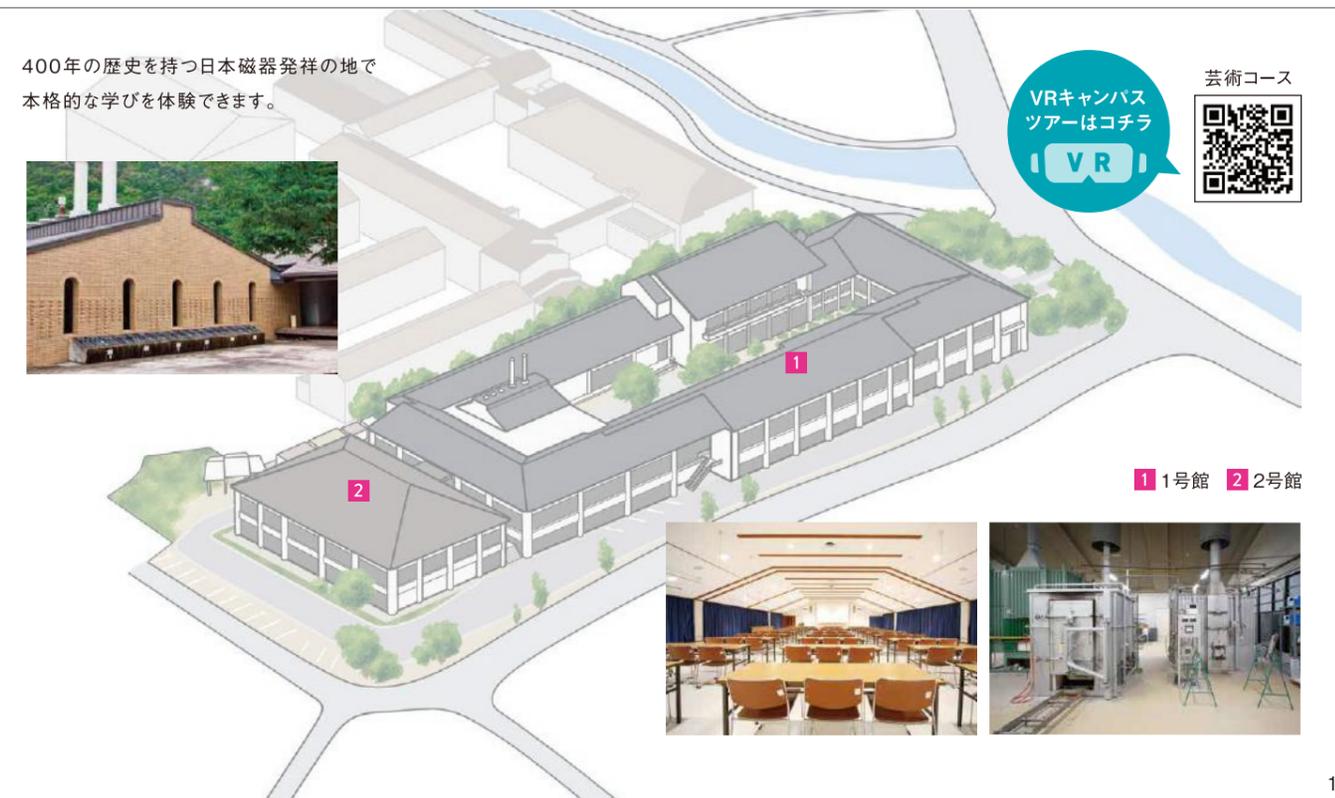
- 1 管理棟
- 2 校舎講義棟
- 3 基礎研究棟
- 4 臨床研究棟
- 5 院生・臨床研究棟
- 6 基礎実習棟
- 7 看護学科棟
- 8 臨床講堂
- 9 附属図書館医学分館
- 10 附属病院
- 11 医学部会館(食堂)



有田キャンパス

■芸術地域デザイン学部

400年の歴史を持つ日本磁器発祥の地で
本格的な学びを体験できます。



VRキャンパスツアーはコチラ

芸術コース

- 1 1号館
- 2 2号館



ロケーション/アクセス

LOCATION / ACCESS

佐賀県の魅力を余すところなく体験できるロケーション

佐賀大学は、歴史と文化と自然の漂う有明海に近い佐賀市内にキャンパスを構えています。アクセスも便利で生活しやすさは抜群。佐賀の魅力をご堪能ください。

本庄キャンパス・鍋島キャンパスMAP



有田キャンパスMAP



本庄キャンパス



鍋島キャンパス



有田キャンパス

アクセス

本庄キャンパス	自転車	JR佐賀駅	電車(特急)	JR博多駅
	約15分		約35分	
	バス	佐賀駅	西鉄高速バス	天神
	約15分	バスセンター	約1時間20分	
鍋島キャンパス	自転車	JR佐賀駅	電車(普通)	JR久留米駅
	約15分		約1時間	
	バス	佐賀駅	西鉄バス	西鉄久留米駅
	約15分	バスセンター	約1時間30分	

鍋島キャンパス	バス	JR佐賀駅	電車(特急)	JR博多駅
	約25分		約35分	
	バス	佐賀駅	西鉄高速バス	天神
	約25分	バスセンター	約1時間20分	
有田キャンパス	バス	JR佐賀駅	電車(普通)	JR久留米駅
	約25分		約1時間	
	バス	佐賀駅	西鉄バス	西鉄久留米駅
	約25分	バスセンター	約1時間30分	



佐賀大学だけの入試POINT

入試3つのポイントについて詳しくはこちら



POINT 1

自分の強みをアピールして加点!
特色加点制度 一般選抜

「特色加点制度」とは、高校時代に取り組んできた活動や経験を大学入試後にどう活かせるのか、「学びに向かう態度」を評価する佐賀大学独自の制度です。大学入学共通テスト、個別学力検査などの合計点とは別に、これまでの主体的な活動や実績をアドミッション・ポリシーの観点から評価します。志願者の申請が必要なので積極的に活用しましょう。

〈申請できる活動実績の例〉

- 研究活動 ● 課外活動 ● 学校行事 ● 社会活動 ● 資格・検定取得
- 海外留学経験 ● 大会・コンテスト ● その他主体的な活動

〈導入学部〉・教育学部・芸術地域デザイン学部(地域デザインコース)
・経済学部・理工学部・農学部・コスメティックサイエンス学環

POINT 2

検定試験のスコアを大学入学共通テストに換算!
英語外部検定試験の利用 一般選抜

英語外部検定試験の結果を一般選抜(前期日程及び後期日程)に利用できます。
(利用できる検定試験(大学入学共通テストの英語は受験必須))

● 実用英語技能検定

英検CSEスコア2.0、英検S-CBT、英検S-Interview、英検(従来型)全て含む1級・準1級・2級のうちいずれかの英検級の受験により発行されたCSEスコアのみ受け付けます

● GTEC(4技能)

CBT, Advanced, Basicタイプのオフィシャルスコアに限りません

● TEAP(4技能)

● TOEFL iBT

〈利用方法〉

・検定試験の成績を換算表に基づき、大学入学共通テスト(英語)の得点に換算し、大学入学共通テスト(英語)の成績とみなして合否判定に利用します。
・検定試験の換算点が、大学入学共通テスト(英語)の得点より高い場合に、検定試験の換算点を採用します。
・大学入学共通テストの英語(リーディング及びリスニングの合計200点)が100点を下回る場合には、換算表の基準を満たしていても検定試験の換算は行いません。

POINT 3

タブレットを使って動画などの問題を解く!
CBT試験 特別選抜

「佐賀大学版CBT(Computer Based Testing)」とは、ペーパーテストでは評価することが難しい「能力・資質」について、デジタル技術を活用して評価します。

TYPE 1

基礎学力・学習力テスト

タブレット上で基礎的な問題を出題し解答します。すべての問題を解き終わった後、自動採点を行い、間違えた問題については正答と解説文が提示されます。更に類題の「再チャレンジ問題」に進み正答すれば、「学習力」が備わっていると評価します。

〈入試制度〉基礎学力・学習力テスト

〈導入学部〉経済学部(学校推薦型選抜I)、理工学部(学校推薦型選抜I)、農学部(学校推薦型選抜I)

TYPE 2

思考力・判断力・表現力を問うテスト

動画を活用し、ペーパーテストでは評価できない思考力等を評価します。たとえば、化学(実験分野)では実験動画を、人文・社会科学分野では動画や資料等を利用します。

〈入試制度〉思考力・判断力・表現力を問うテスト

〈導入学部〉芸術地域デザイン学部(3年次編入学)、理工学部 化学分野(総合型選抜I)

TYPE 3

英語技能テスト

対話的コミュニケーションだけでなく、映像や資料の読み取りなどを基本とした基本的なプレゼンテーション能力もコミュニケーション能力(SpeakingとListeningのみ)の一部として評価します。ReadingとWritingは筆記試験で評価します。

〈入試制度〉英語技能テスト

〈導入学部〉教育学部 英語分野(総合型選抜I)

TOPICS

佐賀大学 入学前教育アドミッションセンター プログラムがスタートしました!

学校推薦型選抜Iや総合型選抜Iによる年内合格者が入学までの3ヶ月間を有意義に過ごせるよう入学前教育のプログラムを用意しました。学習意欲の意思向上や、大学生活への不安解消に役立つ内容になっています。

▶ 入学前学習テキストによる学習

先輩学生や教員の協力のもとに作成した特別なテキストです。「先輩の時間割」や「先輩のゼミ・研究室」などが紹介され、大学4年間をイメージするとともに、入学前の学習計画表や入学後の目標設定シートなどを作成します。



▶ 「科目等履修生制度」による 教養教育科目の先行履修(希望者のみ)

科目等履修生として受け入れることにより、基本教養科目を先行履修することができます。合格者は大学の単位として認定されます。



▶ 学習クラウドによるオンデマンド学習、提出課題

大学の授業でも使用することがある学習支援クラウドシステムを使用し、動画を視聴したり、自分の意見や考えをアウトプットします。様々なことに挑戦し、充実した学生生活を送る先輩たちの様子がよくわかる内容です。



▶ 対面・オンラインイベント(3回)

12月には入学前交流会で、先輩による学部学科の説明や合格者同士の交流会を開催。2月にはオンラインで入学前学習の中間成果報告会、3月には最終成果報告会を行い、グループディスカッションなどを行います。



SAGA UNIV.

受験生
応援サイト



SAGA UNIVERSITY
国立大学法人

佐賀大学

佐賀大学 学務部入試課

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 TEL.0952-28-8178

contact@mail.admin.saga-u.ac.jp

<https://www.saga-u.ac.jp>

佐賀大

検索

AIが24時間365日いつでも回答!

佐賀大学 AIチャットボット

佐賀大学へ入学を希望する方々の
様々なご質問にAI(人工知能)が
24時間365日いつでもお答えします!!



佐賀大 AIチャットボット

検索